圖書頭
圖書寮主事
記録課長
庶務課長
編修課長
圖書課長

官報
第七千七百二十五號
明治四十二年三月三十日　火曜日
印刷局

○法律

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年三月二十九日

内閣總理大臣兼大藏大臣　侯爵桂太郎

法律第十八號

輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法

第一條　消費稅ヲ課セラレタル砂糖ヲ用井製造シタル菓子又ハ糖果ヲ外國ヘ輸出シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ使用シタル砂糖ニ對シ消費稅ニ相當スル金額以下ノ金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

輸出後一年ヲ經過シタルトキハ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第二條　前條ニ依リ下付金ヲ受ケタル菓子又ハ糖果ニ對シテハ關稅定率法第七條第十五號ヲ適用セス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○豫算

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治四十二年度歳入歳出總豫算追加ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年三月二十九日

内閣總理大臣兼大藏大臣　侯爵桂太郎
内務大臣　法學博士男爵平田東助
農商務大臣　男爵大浦兼武
文部大臣　小松原英太郎

豫算

第一條　明治四十二年度歳入歳出追加額ヲ各百貳萬八千貳百四拾貳圓ト定ム

其款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

第二條　別冊乙號所掲ノ費途ハ各其規畫スル所ニ隨ヒ明治四十二年度以降ノ繼續費ト爲ス

（別冊）

甲號

歳入臨時部	
第三款　地方分擔納付金	金貳拾萬圓
第一項　地方分擔納付金	金貳拾萬圓
第十二款　前年度繰入金	金八拾貳萬八千貳百四拾貳圓
第一項　前年度繰入金	金八拾貳萬八千貳百四拾貳圓
歳入臨時部合計	金百貳萬八千貳百四拾貳圓
歳出臨時部	
内務省所管	
第二款　土木事業費	金貳拾萬圓
第一項　河川改良費	金貳拾萬圓
大藏省所管	
第十六款　記念章調製諸費	金參千七百拾六圓

第7725号　本文

本文

第一項　記念章調製諸費　金參千七百拾六圓
文部省所管
第十九款　臨時外國行諸費　金千八百五拾六圓
第一項　（伊太利地震調査派遣費）　金千八百五拾六圓
農商務省所管
第十二款　日英博覽會費　金八拾貳萬貳千六百七拾圓
第一項　日英博覽會費　金八拾貳萬貳千六百七拾圓
歳出臨時部合計金百貳萬八千貳百四拾貳圓

（別册）

乙號

河川改良費　第一

總額
金八百四拾五萬四千七百四拾圓　款　土木事業費
金八百四拾五萬四千七百四拾圓　項　河川改良費

年額
明治四十二年度
金貳拾萬圓　款　土木事業費
金貳拾萬圓　項　河川改良費
明治四十三年度
金貳拾萬圓　款　土木事業費
金貳拾萬圓　項　河川改良費
明治四十四年度
金貳拾萬圓　款　土木事業費
金貳拾萬圓　項　河川改良費
明治四十五年度
金參拾萬圓　款　土木事業費
金參拾萬圓　項　河川改良費
明治四十六年度
金參拾萬圓　款　土木事業費
金參拾萬圓　項　河川改良費
明治四十七年度
金參拾萬圓　款　土木事業費
金參拾萬圓　項　河川改良費
明治四十八年度
金參拾四萬圓　款　土木事業費
金參拾四萬圓　項　河川改良費
明治四十九年度
金參拾五萬貳千圓　款　土木事業費
金參拾五萬貳千圓　項　河川改良費
明治五十年度
金八拾萬圓　款　土木事業費
金八拾萬圓　項　河川改良費
明治五十一年度
金八拾萬圓　款　土木事業費
金八拾萬圓　項　河川改良費
明治五十二年度
金八拾萬圓　款　土木事業費
金八拾萬圓　項　河川改良費
明治五十三年度
金八拾萬圓　款　土木事業費
金八拾萬圓　項　河川改良費
明治五十四年度
金八拾萬圓　款　土木事業費
金八拾萬圓　項　河川改良費
明治五十五年度
金百貳拾八萬參千九百拾貳圓　款　土木事業費
金百貳拾八萬參千九百拾貳圓　項　河川改良費
明治五十六年度
金九拾七萬八千八百貳拾八圓　款　土木事業費
金九拾七萬八千八百貳拾八圓　項　河川改良費

日英博覽會費　第二

總額
金百八拾萬圓　款　日英博覽會費
金百八拾萬圓　項　日英博覽會費

年額
明治四十二年度
金八拾貳萬貳千六百七拾圓　款　日英博覽會費
金八拾貳萬貳千六百七拾圓　項　日英博覽會費
明治四十三年度
金九拾七萬千八百貳圓　款　日英博覽會費
金九拾七萬千八百貳圓　項　日英博覽會費
明治四十四年度
金五千五百貳拾八圓　款　日英博覽會費
金五千五百貳拾八圓　項　日英博覽會費

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治四十二年度特別會計歳入歳出豫算追加ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年三月二十九日

内閣總理大臣兼大藏大臣　侯爵桂　太郎
内務大臣　法學博士男爵平田東助

特別會計豫算

第一條　明治四十二年度内務省所管臺灣總督府ノ歳入歳出豫算追加額及其款項ノ金額ハ別册甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

第二條　別册乙號所揭ノ費途ハ其規畫スル所ニ隨ヒ明治四十二年度以降ノ繼續費ト爲ス

（別册）

甲號

内務省所管
臺灣總督府
歳入
臨時部
第三款　前年度繰入金　金拾萬圓
第一項　前年度繰入金　金拾萬圓
歳出
臨時部
第九款　日英博覽會出品費　金拾萬圓
第一項　日英博覽會出品費　金拾萬圓

（別册）

乙號

日英博覽會出品費
總額
金拾貳萬圓　款　日英博覽會出品費
金拾貳萬圓　項　日英博覽會出品費

年額
明治四十二年度
金拾萬圓　款　日英博覽會出品費
金拾萬圓　項　日英博覽會出品費
明治四十三年度
金貳萬圓　款　日英博覽會出品費
金貳萬圓　項　日英博覽會出品費

○豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年三月二十九日

内閣總理大臣兼大藏大臣　侯爵桂　太郎
遞信大臣　男爵後藤新平

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

歐洲航路補助、北米航路補助及南米航路補助トシテ遠洋航路補助法ノ規定ニ依リ明治四十三年度ヨリ同四十七年度マテ五箇年度間左ニ揭クル金額以内ヲ支出スルノ契約ヲ明治四十二年度ニ於テ結フコトヲ得

歐洲航路補助
金參百貳拾壹萬八千百九拾參圓　明治四十三年度
金參百拾六萬九千八百參拾七圓　明治四十四年度
金參百貳拾萬七千百九拾八圓　明治四十五年度
金參百貳拾四萬千四百貳拾五圓　明治四十六年度
金參百貳拾九萬六千七百拾八圓　明治四十七年度

北米航路補助
金參百四拾四萬貳千九百七拾七圓　明治四十三年度
金四百四拾七萬百七拾參圓　明治四十四年度
金四百四拾參萬六千參百四拾六圓　明治四十五年度
金四百參拾壹萬八百七拾壹圓　明治四十六年度
金四百拾八萬五千參百九拾七圓　明治四十七年度

第7725号　本文

南米航路補助

金六拾萬千九百七拾八圓	明治四十三年度
金七拾貳萬九千九百拾六圓	明治四十四年度
金七拾貳萬九千九百拾六圓	明治四十五年度
金七拾貳萬五千四百四拾壹圓	明治四十六年度
金五拾七萬六千七百七拾貳圓	明治四十七年度

○勅令

朕明治三十八年勅令第百九十二號廢止ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年三月二十九日

內閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第五十一號

明治三十八年勅令第百九十二號ハ明治四十二年三月三十一日限リ之ヲ廢止ス

朕滿韓在勤文官加俸令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年三月二十九日

內閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第五十二號

滿韓在勤文官加俸令中附則第三項ヲ削ル

附　則

本令ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕地方官官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年三月二十九日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
內　務　大　臣　法學博士男爵平田東助

勅令第五十三號

地方官官制中左ノ通改正ス

第四條中「四千九百五十一人」ヲ「四千九百二十一人」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕島廳ヲ置ク島地指定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年三月二十九日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
內　務　大　臣　法學博士男爵平田東助

勅令第五十四號

島廳ヲ置ク島地左ノ通指定ス

府縣名	島廳名	管轄區域
東京府	小笠原島廳	小笠原島、南鳥島、中ノ鳥島
	八丈島廳	八丈島、小島、靑ヶ島、鳥島
	大島島廳	大島
長崎縣	對馬島廳	對馬島
島根縣	隱岐島廳	隱岐島、竹島
鹿兒島縣	大島島廳	大島郡
沖繩縣	宮古島廳	宮古郡
	八重山島廳	八重山郡

附　則

本令ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十九年勅令第十四號ハ之ヲ廢止ス

朕帝國鐵道會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十二年三月二十九日

內閣總理大臣兼
大　藏　大　臣　侯爵桂太郎

勅令第五十五號

帝國鐵道會計規則

第一章　豫算

第一條　本會計ニ於ケル歲入歲出豫算ハ之ヲ資本、收益及積立金ノ三勘定ニ分チ各勘定中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ

第二條　歲入歲出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

前項ノ豫定計算書ニハ前前年度ニ於ケル貸借對照表、損益計算表竝資本及固定財產價額增減表ヲ添附スヘシ

第三條　歲入歲出ノ豫定計算書ハ科目ヲ分チ歲入ノ性質歲出ノ用途ヲ明示スヘシ

第四條　歲入歲出ノ豫算ハ決定ノ後所管大臣鐵道院總裁ヲシテ之ヲ執行セシムヘシ但シ部長、局長又ハ所長ヲシテ其ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

所管大臣歲出豫算ヲ執行セシメムトスルトキハ仕拂豫算ヲ以テ之ヲ命スヘシ

第五條　積立金勘定ノ支出ヲ爲シタルトキハ鐵道院總裁其ノ計算書ヲ添附シ所管大臣ヲ經テ之ヲ大藏大臣ニ通知スヘシ

大藏大臣前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ會計檢查院ニ通知スヘシ

第六條　積立金勘定ヨリ他勘定ニ於ケル歲出ノ不足ニ對シ補塡ヲ爲シタル場合ニ於テハ會計規則第二十四條ノ規定ヲ準用ス

第二章　收入支出

第七條　本會計ニ於ケル各勘定ノ歲入金、歲出金及歲入歲出外現金ハ交互振替及繰替受拂ヲ爲スコトヲ得

第八條　本會計ニ於テハ資本勘定ニ屬スル現金ノ持越高、當該年度ノ收入濟歲入額及帝國鐵道會計法第十二條ニ依ル借入金ヲ以テ仕拂元受高トシ歲出ヲ支出スルハ此ノ仕拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ス

第九條　鐵道院總裁ハ繰替拂ヲ爲サシムル爲大藏大臣ノ承認ヲ經前條ノ仕拂元受高ヲ超過セサル範圍內ニ於テ之カ資金ヲ出納官吏ニ交付スヘキ旨金庫ニ請求スルコトヲ得

前項ニ依リ交付ヲ受ケタル金額ハ當該年度內ニ於テ之カ戾入ヲ爲スヘシ

第十條　鐵道院總裁、部長、局長又ハ所長ハ歲出ヲ支出スル爲金庫ニ向テ仕拂請求書ヲ發スヘシ

第十一條　仕拂請求書ノ發行及其ノ執行ニ關シテハ第十二條ニ依リ特ニ定ムルモノヲ除クノ外會計規則第四章第一款及第二款ノ規定ヲ準用ス

第十二條　歲入金、歲出金、歲入歲出外現金ノ出納竝其ノ交互振替及繰替受拂ニ關スル手續ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第十三條　帝國鐵道會計法第十一條第二項ニ依ル豫算殘額ノ繰越ニ關シテハ會計規則第六章第一款ノ規定ヲ準用ス

第十四條　每年度所屬歲入歲出金ヲ出納スルハ翌年度五月三十一日限トス但シ左ニ掲クル場合ニ於テハ翌年度六月三十日迄之カ出納ヲ爲スコトヲ得

一　出納官吏ノ領收シタル歲入金ヲ金庫ニ拂込ムトキ
二　繰替拂ヲ爲シタル金額ニ對シ仕拂請求書ヲ發スルトキ
三　他勘定ニ鐵道益金ヲ繰入ルルトキ
四　歲入金ヲ補塡スル爲積立金ヲ支出スルトキ

第十五條　資本勘定中用品及工作收入所屬ニシテ每年度內ニ收入ヲ爲スヘキ權利ヲ得テ每年度出納ノ完結迄ニ收入濟ト爲ラサルモノハ收入未濟トシテ順次翌年度ニ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル年度ノ歲入ニ組入ルヘシ

第十六條　資本勘定中用品及工作費所屬ニシテ每年度內ニ仕拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ每年度出納完結迄ニ支出濟ト爲ラサルモノハ支出未濟トシテ順次翌年度ニ繰越シ現ニ支出ヲ爲シタル年度ノ歲出ニ組入ルヘシ

第十七條　資本勘定中用品及工作收入又ハ用品及工作費ニ屬セサルモノ竝收益勘定所屬ノ歲入歲出ニシテ每年度出納完結迄ニ收入濟又ハ支出濟ト爲ラサルモノハ現ニ其ノ收支ヲ爲シタル年度ノ歲入又ハ歲出トス

第十八條　歲入ヲ徵收スル官吏ハ每月徵收報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ之ヲ鐵道院總裁ニ送付スヘシ

鐵道院總裁ハ前項ノ報告書ニ依リ每月徵收總報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經テ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十九條　金庫出納役ハ毎月仕拂請求書受領濟額報告書ヲ調製シ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三章　計算

第二十條　本會計ノ資本ヲ分テ特有資本借入資本ノ二種トス

公債、借入金又ハ鐵道國有法ニ依リ政府ノ負擔ニ歸シタル債務ニシテ現ニ本會計ノ負擔ニ屬スルモノニ相當スル金額ヲ借入資本トシ其ノ他ノモノヲ特有資本トス

第二十一條　資本勘定ニ於ケル資金ノ收入、收益勘定ニ於テ補充工事ノ爲支出シタル金額及讓渡又ハ寄付ヲ受ケタル物件ノ見積價格ハ翌年度六月三十日ニ於テ前條ノ區別ニ從ヒ之ヲ特有資本又ハ借入資本ニ編入スヘシ

前項ニ依リ借入資本ニ編入スヘキモノニシテ其ノ實收額ト債務額トニ差額アルモノハ債務額ニ依ル但シ其ノ差增額ハ之ヲ特有資本ニ加ヘ差減額ハ之ヲ同資本ヨリ減スヘシ

用品及工作ノ受拂計算上生シタル過不足ニ付テハ翌年度六月三十日ニ於テ其ノ過剩額ハ之ヲ特有資本ニ加ヘ不足額ハ之ヲ同資本ヨリ減スヘシ

第二十二條　左ニ揭クルモノヲ以テ固定財產ノ價格トス

一　鐵道ノ建設改良及補充工事ノ爲支出シタル金額

二　鐵道國有法ニ依リ買收シタル鐵道ニ在リテハ其ノ買收價格

三　讓渡又ハ寄付ヲ受ケタル物件ハ其ノ見積價格

第二十三條　貯藏物品ハ其ノ購入費、製作品、改製品又ハ修理品ハ其ノ材料價額及工作費ヲ以テ原價トス

前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ見積價格ヲ以テ原價ト爲スコトヲ得

第二十四條　前條ノ原價ニ對シ鐵道院總裁ノ規定スル方法ニ依リ取扱諸費及損滅步合ヲ割掛ケタルモノヲ以テ物品ノ賣價トス

第二十五條　固定財產ニシテ讓渡又ハ滅失シタルモノアルトキハ其ノ價額ヲ削除シ之ヲ特有資本ヨリ減スヘシ

第二十六條　貯藏物品毀損變質其ノ他ノ事由ニ因リ價格ヲ減損シタルトキハ其ノ價額ヲ削除スヘシ

貯藏物品不用ニ歸シタルトキハ其ノ價額ヲ削除シテ不用物品ニ組入ルヘシ

第二十七條　本會計ニ屬スル貸借對照並損益計算ノ種目ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第四章　決算

第二十八條　歲入歲出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十九條　鐵道院總裁、部長、局長又ハ所長ハ會計檢查院ニ證明ノ爲每月徵收計算書及支出計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ所管大臣ニ送付シ所管大臣ハ之ヲ會計檢查院ニ送付スヘシ

前項ノ計算書ハ特ニ所管大臣ノ委任ヲ受ケタル官吏ヨリ直ニ會計檢查院ニ送付セシムルコトヲ得

第三十條　出納官吏及出納員ハ會計檢查院ノ檢查判決ヲ受クル爲每月現金出納計算書ヲ調製シ鐵道院總裁、部長、局長又ハ所長ニ送付シ總裁、部長、局長又ハ所長ハ下檢查ヲ執行シ下檢查書ヲ添ヘ之ヲ會計檢查院ニ送付スヘシ但シ出納員ノ出納計算ハ所屬出納官吏ノ出納計算書ニ併算證明スルコトヲ得

第五章　工事ノ請負及物件ノ賣買貸借

第三十一條　左ニ揭クル場合ニ於テハ所管大臣ノ定ムル所ニ從ヒ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　土工、橋梁、隧道、軌道、停車場、倉庫、機械工場、船舶及旅館ニ關スル工事ヲ請負ニ付スルトキ

二　鐵道事業用ノ諸材料、車輛、船舶、器具、機械、機械運轉用品、被服及船舶、旅館ノ營業用ノ物品ヲ賣買スルトキ

三　車輛、船舶、器具、機械、旅館及旅館ニ附帶スル物件ヲ貸借スルトキ

第六章　帳簿

第三十二條　大藏省ハ資本勘定、收益勘定及積立金勘定ニ關スル主計簿ヲ備ヘ歲入ノ豫算額、確定額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額、歲出ノ豫算額、豫算決定後增加額、仕拂元受高、支出濟額、翌年度繰越額、殘額ヲ登記スヘシ

第三十三條　鐵道院ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ資本勘定、收益勘定及積立金勘定ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第三十四條　歲入ヲ徵收スル官吏ハ徵收簿ヲ備ヘ歲入ノ確定額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額ヲ登記スヘシ

第三十五條　金庫出納役ハ支出簿及仕拂元受高差引簿ヲ備ヘ支出簿ニハ歲出ノ仕拂豫算額、仕拂請求書受領濟額ヲ登記シ仕拂元受高差引簿ニハ仕拂元受高、仕拂請求書受領濟額、仕拂額ヲ登記スヘシ

第三十六條　出納官吏ハ現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スヘシ

第七章　雜則

第三十七條　本令ニ依リ調製スヘキ諸書類、帳簿ニ關スル規定及樣式ニ付テハ會計規則第百二十條乃至第百二十二條ノ規定ヲ準用ス

第三十八條　本令ニ規定セサルモノニ付テハ會計規則ニ依ル

附則

本令ハ明治四十二年度ヨリ之ヲ施行ス

帝國鐵道及同用品資金會計規則ハ之ヲ廢止ス但シ明治四十一年度分及韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

朕關稅法ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年三月二十九日

内閣總理大臣兼大藏大臣　侯爵桂太郎
内務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第五十六號

第一條　關稅法ハ船舶ノ出入及貨物ノ輸出ニ關スル規定ヲ除クノ外之ヲ臺灣ニ施行ス

前項ニ依ル關稅法ノ施行ニ關スル事務ハ臺灣總督府稅關ヲシテ之ヲ行ハシム

第二條　關稅法第三十五條ノ關稅通路並第九十九條ニ依リ開港ト爲スヘキ場所及其ノ開港ニ於テ輸入スヘキ貨物ノ種類ハ臺灣ニ於テハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治三十二年勅令第四百五十五號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年三月二十九日

内閣總理大臣兼大藏大臣　侯爵桂太郎
内務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第五十七號

明治三十二年勅令第四百五十五號ニ左ノ一項ヲ加フ

臺灣ニ於テ關稅法ニ關スル犯罪ヲ申告ニ因リ發見シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用ス

附則

本令ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕特許局官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年三月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎
農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第五十八號

特許局官制中左ノ通改正ス

第二條中「二十六人」ヲ「二十五人」ニ、「三十三人」ヲ「三十一人」ニ、「二十四人」ヲ「二十一人」ニ、「六人」ヲ「五人」ニ改ム

附則

本令ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治三十七年勅令第六十二號廢止ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年三月二十九日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎
農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第五十九號

明治三十七年勅令第六十二號ハ明治四十二年三月三十一日限リ之ヲ廢止ス

第7725号 本文

○省令

內務省令第九號

沖繩縣區制第百三十四條、沖繩縣及島嶼町村制第九十八條ニ依ル區町村吏員ノ服務紀律左ノ通定ム

明治四十二年三月三十日　內務大臣　法學博士男爵平田東助

沖繩縣區制第百三十四條、沖繩縣及島嶼町村制第九十八條ニ依ル區町村吏員ノ服務紀律ハ府縣郡吏員服務紀律ノ規定ヲ準用ス

內務省令第十號

沖繩縣區制第百三十四條沖繩縣及島嶼町村制第九十八條ニ依ル區町村吏員ノ賠償責任及身元保證ニ關スル件左ノ通定ム

明治四十二年三月三十日　內務大臣　法學博士男爵平田東助

第一條　區町村吏員其ノ職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタル事アルカ爲區町村ニ對シテ賠償スヘキコトアルトキハ區吏員ニ在テハ縣知事ニ於テ內務大臣、町村吏員ニ在テハ島司郡長ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ決定シ期限ヲ定メテ其ノ賠償ヲ命スヘシ

第二條　縣知事及島司郡長ニ於テ賠償ヲ爲スヘキモノト認メタルトキハ假ニ財產ヲ差押フルコトヲ得

第三條　賠償金ノ徵收ニ關シテハ沖繩縣區制第百七條第四項第五項沖繩縣及島嶼町村制第七十三條第二項第三項ノ例ニ依ル

第四條　區町村收入役其ノ他出納ヲ掌ル吏員ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認ムルトキハ區ニ於テハ區條例町村ニ於テハ町村規則ヲ以テ其ノ種類程度其ノ他身元保證ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

○府令

臺灣總督府令第六號

明治三十八年三月府令第二十號臺灣煙草專賣規則施行規則中左ノ通改正ス

明治四十二年三月二十日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

第十七條ノ二　政府ハ外國製造煙草ヲ煙草仲賣捌人煙草小賣人又ハ消費者ニ直接ニ賣渡スコトアルヘシ

第二十條ノ二　煙草仲賣捌人又ハ煙草小賣人ニシテ現ニ仲賣捌又ハ小賣ヲ爲サス且將來繼續シテ仲賣捌又ハ小賣ヲ爲ササルモノト認ムヘキ場合ニハ管轄地方廳長ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第二十三條第三項中臺灣煙草專賣規則第十七條ノ下ニ「又ハ此ノ規則第二十條ノ二」ヲ加フ

第十號樣式（ブリキ製　縱七寸七分　橫一尺一寸二分）

表面

第　號
煙草
Tobacco.

裏面

タバコ
Tobacco.

○訓令

內務省訓令第四號

北海道廳
府縣

明治十九年五月內務省訓令第一號ハ之ヲ廢止ス

明治四十二年三月三十日　內務大臣　法學博士男爵平田東助

○告示

大藏省告示第四十九號

中央金庫所屬習志野派出所ノ事務ハ本年四月一日以降中央金庫所屬千葉支金庫ヲシテ繼承セシム

明治四十二年三月三十日　大藏大臣　侯爵桂太郎

文部省告示第九十九號

私立修道中學校

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治四十二年三月三十日　文部大臣　小松原英太郎

農商務省告示第百二十四號

大阪大林區署管內高野小林區署位置本年四月一日ヨリ左ノ通變更ス

明治四十二年三月三十日　農商務大臣　男爵大浦兼武

一和歌山縣伊都郡九度山村大字入鄕

農商務省告示第百二十五號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十二年三月三十日　農商務大臣　男爵大浦兼武

字	地番	面積 町段畝歩
栃木縣下都賀郡稲葉村大字福和田		
總宮	五二〇	一三〇六
同南犬飼村大字安塚		
鹿島原	二、〇七六	九三一一
同大字上田		
西林	一、一〇九	一、〇〇一八
同大字中泉		
大宮	八六〇	九二二
大刀	一、九〇四	九〇二
熊野	六五四	三七一〇
同大字助谷		
霞內	五七九	三七二一
西根	九〇三	五七一九
山神	六一二	四四〇四
同桑村大字宮澤		
海道西	一、二七七	一二二五
同	一、三二三	六二五
日光道西	一、一四一	七一一
同大字荒井		
大神耕地	四七四	二七〇一
同大字出井		
淺間下	二七二	九三〇五
元本鄕	一〇二	一三〇三
本鄕北浦	一、五二四	二、七一三三
明光	七五八	一、四四二四
神明	一、九九一	一、四一一三
同家中村大字合戰場		
星宮	五二七イ	二九一三
同吹上村大字宮		
星宮	八〇二	三一二七
同大字川原田		
神ノ宮	一、三九七	五〇一八
同國府村大字總社		
文宿	六〇一 六〇二	七二二
稲荷	二二六八 二二七七	二六一五
同大字大塚		
愛宕	一、二〇〇	五二三三
八龍神	一〇八六イロハ	四三三
同大字國府		
山王	一六三 一六四	二三二〇
同稲葉村大字羽生田		
新部	二、一五四 二、一五五	一一二四
六反田	四三一	六〇五
同大谷村大字大塚		
往還南 一丁田	五七二、五七三イロ、五八一、 三二九、三四一	二九〇七
往還北	三三〇	九一〇五
同大字武井		
宮ノ腰	三二九	一一〇九
大道北	四三九 四四一	五五一三
富士山	四九八	二九二四
宮ノ腰	三一八	九二九
香取西	七八四	一四〇〇
同安蘇郡界村大字馬門		
北野	一九〇九 一九一〇	八二七
同犬伏町大字韮川		
東山	六〇二ロ	一五二二
同大字黒袴		
三面山	五八九	一八〇二
同大字西浦		
梅ノ木澤	一、一四八	七二〇三
同大字富岡		
南屋	二九五	八三二〇
同飛駒村大字上彥間		
馬地谷戸	五七五七	三五一五
同田沼町大字多田		
菊澤	一四六六	一四一八
同新合村大字山形		
宮ノ下	二二〇七、二二〇八 二二〇九、二二一〇	一、〇二〇七
同三好村大字船越		
上ノ宮	六七六	九〇〇
天神山	三〇二九	六一二
宮本	二七八	三二九
同葛生町大字葛生		
富士山	三八二三	八、四六〇〇
同大字會澤		
沖ノ澤	一七五六イ	一九〇六
同常盤村大字仙波		
根本	一〇三イ	六一〇九
同大字鹽代		
宮ノ前	一、五七〇	三五〇〇
石澤入	一一七	六〇三
同	七五	六二二四
同芳賀郡祖母井村大字下延生		
アヤスミ	七一四	一〇〇九
同淸原村大字板戸		
今泉	一二四三	一一一四
同大字刈沼新田		
峰	四三八ロ	四二一四
同大字野高谷		
森	七三八 七四〇	九一九
サル久保	九〇	四二九
同逆川村大字天子		
瀧山	八〇	一、〇〇〇〇
同足利郡三和村大字板倉		
要害山	一五一七	三九一八
同山前村大字山下		
大平	二〇九五	二五一一
小鹿島	三六〇ロ	一四〇〇
同	三六四	三八二三
川端	四三九	三四〇三
同大字大前		
坂森	一、五四七	一〇〇〇
同葉鹿村		
熊野山	二二八一イ	二〇一五
西山	二〇〇八	四七二四
同三重村大字五十部		
中堀	一一九六	三四一六
宮下	二五〇ロ	四〇〇
宮上	二三七ロ	一〇九
同	一九一〇 五三三	一一〇三
同毛野村大字八椚		
西山	五七二 五七四	五四〇八
同大字大沼田		
西根	一三二四	五〇八
同北郷村大字名草		
西根	四七〇九	三三一八
同上都賀郡鹿沼町大字花岡		
富士山	八一	九、一九〇〇
同河內郡篠井村大字石那田		
宮越	一四九一	二、二四二八
同姿川村大字鶴田		
長峰	一七四二	二、三五三三
同上三川町大字上三川		
馬場	五一七六	四五二五
常光坊	三五九九	三八二五

遞信省告示第四百十八號

明治三十七年六月遞信省告示第三百十七號外國電報料金表中左ノ通改正ス

明治四十二年三月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

第一表 Asia(亞細亞地方)ノ部中「Bushire(ブッシャヤー)」ノ項ノ次ニ左ノ通加フ

Cambodia(カムボヂア)　一・八〇〇

同表 Oceania(大洋洲地方)ノ部中「Fanning Island(ファンニング島)（濠洲及英國太平洋線經過）」ノ項ノ下上海線經過料金ヲ「三・〇七〇」ヲ「二・八六一六八」ト改ム

同表 Europe(歐羅巴地方)ノ部各國ノ下「上海線經過」欄中「濠洲及英國太平洋線」ナル欄ノ上ニ左ノ欄ヲ加フ

	ファオ線
Europe(歐羅巴地方)	圓
Austria(澳太利)	二・二九五
Belgium(白耳義)	二・二九五
Bosnia(ボスニア)	二・二九五
Bulgaria(ブルガリア)	二・二九五
Denmark(丁抹)	二・二九五
France(佛蘭西)	二・二九五
Germany(獨逸)	二・二九五
Gibraltar(ジブローター)	二・二九五
Great Britain(大貌列顚)	二・二九五
Greece(希臘)	二・二九五
Holland(荷蘭)	二・二九五
Hungary(匈牙利)	二・二九五
Italy(伊太利)	二・二九五
Luxembourg(ルーキゼンブルグ)	二・二九五
Malta Island(マルタ島)	二・二九五
Montenegro(モンテネグロ)	二・二九五
Norway(那威)	二・二九五
Portugal(葡萄牙)	二・二九五
Roumania(ルーマニア)	二・二六五
Russia in Europe and Caucasus(歐羅巴露西亞及甲加索)	二・二九五
Russia in Europe and Caucasus(Via Madras and Teheran)(マドラス及テヘラン經過)	|
Servia(セルヴィア)	二・二九五
Spain(西班牙)	二・二九五
Sweden(瑞典)	二・二九五
Switzerland(瑞西)	二・二九五
Turkey(土耳其)	二・二九五
Faroe Islands(ファロエ諸島)	二・四九五
Iceland(アイスランド)	二・六三五

同表 Africa(亞非利加地方)ノ部中「Tangier(タンジアー)」ノ項ヲ削リ「Mauritius(Via Europe)(歐羅巴經過)」ノ項ノ次ニ左ノ通加フ

Morocco(モロッコ)		
Tangier(タンジアー)	二・四二〇	二・四二〇
Casablanca(カサブランカ) Mogador(モガドール) Rabat(ラバット)	二・六一〇	二・六一〇

第四表 South America(南亞米利加地方)ノ部中「Peru(ペルー)」「Requena(レケナ)」ノ項ノ次ニアル記事ヲ左ノ通改ム

＊此ノ地ニ宛ツル電報ニシテ「マデーラ、ペルナムビュコ、ビュエノス、エールス、ヴァルパライゾ、リマ」線ヲ經テ傳送スルニハ「Via Madelima」、「佛蘭西、ダカール、ビュエノス、エールス、ヴァルパライゾ、リマ」線ヲ經テ傳送スルニハ「Via Dakalima」及「テネリッフ、ノロンハ、ビュエノス、エールス、ヴァルパライゾ、リマ」線ヲ經テ傳送スルニハ「Via Tenorlima」ナル指定ヲ記入スルヲ要ス

第7725号　本文

第7725号 本文

第五表第一ノ部中「Tangier（タンジアー）」ノ項ヲ削リ「Tunis（チューニス）」ノ項ノ次ニ左ノ通加フ

Morocco（モロッコ）		
Tangier（タンジアー）	二・四二〇	二・四二〇
Casablanca（カサブランカ） Mogador（モガドール） Rabat（ラバト）	二・六二〇	二・六二〇

同表同部中「All places in Africa, except Algeria, Tangier, Tripoli, Tunis and All places Via Europe（亞非利加各地「アルジエリア」「タンジアー」「トリポリ」「チューニス」及歐羅巴經過各地ヲ除ク）」ヲ「All places in Africa, except Algeria, Morocco, Tripoli, Tunis and all places Via Europe（亞非利加各地「アルジエリア」「モロッコ」「トリポリ」「チューニス」及歐羅巴經過各地ヲ除ク）」ト改ム

同表同部中歐羅巴各國ノ下「上海線經過」欄中「濠洲及英國太平洋線」ナル欄ノ上ニ左ノ欄ヲ加フ

	ファオ線[illegible]
Europe（歐羅巴）	
Russia in Europe and Caucasus（歐羅巴露西亞及甲加索）	二・二九五
Russia in Europe and Caucasus（Via Madras and Teheran）（マドラス及テヘラン經過）	—
Other Countries（其他各國）	同上

遞信省告示第四百十九號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十二年三月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	八五・三七五	一圓ニ付一「ダラー」十七「セント」一三〇
	一セント	・八五四	
墨銀	一ダラー	八三・〇八三	一圓ニ付一「ダラー」二十「セント」三六一
	一セント	・八三一	

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

遞信省告示第四百二十號

大阪府淡輪電信取扱所開設期間ハ本年ニ限リ五月一日ヨリ十一月三十日迄トス

明治四十二年三月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

遞信省告示第四百二十一號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十二年三月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
黑川郵便局	岐阜縣加茂郡黑川村

遞信省告示第四百二十二號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十二年三月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
撫養郵便局	德島縣板野郡撫養町

遞信省告示第四百二十三號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十二年三月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
國分郵便局	福岡縣三井郡國分村
門司日出町郵便局	門司市日出町四丁目
津塔世橋郵便局	津市榮町
西尾郵便局	愛知縣幡豆郡西尾町
一色郵便局	愛知縣幡豆郡一色村

遞信省告示第四百二十四號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス

明治四十二年三月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

「三河國南設樂郡新城町」ノ項ノ次ニ

三河國幡豆郡西尾町大字馬場、同菱町、同錦城、同鶴ケ崎、同裏町、同大給、同矢場、同伊文、同和泉、同順海、同中町、同肴町、同橫町、同天王、同瓦町、同本町、同須田、同鹽町、同會生、同満全、同鶴城（字山下ヲ除ク）、同道光寺、同寄住

三河國幡豆郡一色村大字一色、同味濱、同前野

遞信省告示第四百二十五號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十二年三月三十日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域	一通話ノ電話料	一同ノ電話呼出料
「名古屋蟹江間」ノ次ニ		
名古屋西尾間	金二十錢	金十五錢
名古屋一色間	金二十錢	金十五錢
「岡崎新城間」ノ次ニ		
岡崎西尾間	金十錢	金十錢
岡崎一色間	金十五錢	金十錢
「安城知立間」ノ次ニ		
安城西尾間	金十錢	金十錢
安城一色間	金十五錢	金十錢
「刈谷知立間」ノ次ニ		
刈谷西尾間	金十錢	金十錢
刈谷一色間	金十五錢	金十錢
「有松大高間」ノ次ニ		
知立西尾間	金十五錢	金十錢
西尾一色間	金十錢	金十錢

統監府告示第二十號

韓國政府ハ隆熙三年二月二十日農商工部告示第十四號ヲ以テ漁業免許狀、許可狀、鑑札ノ雛形ヲ同日同第十五號ヲ以テ漁業法施行細則ノ規定ニ依リ差出スヘキ願書、申請書、届書ノ書式ヲ告示セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十二年三月十日

統監代理

副統監　子爵曾禰荒助

一　漁業免許狀雛形（第二面及第三面ハ第一面記載ノ事項ヲ補充シ又ハ相續、讓渡、共有、擔保、貸付等ノ事由ヲ記載スル位置ナリ）

九寸五分

折リ目

第一面

花紋

第　　號

漁業免許狀

住所

氏名

一漁業ノ種類

一漁具又ハ漁業ノ名稱

一漁場ノ位置及區域

一採捕物又ハ養殖物ノ種類

一漁業ノ時期

一免許ノ期間

一條件又ハ制限

前記漁業ヲ免許ス

隆熙　年　月　日　部印

農商工部大臣　氏名　大臣之印

第二面

寸五分

第三面

一尺三

第四面

注意

一漁業免許狀ニハ漁場圖ヲ添附ス

一漁業權ノ相續、讓渡、共有、擔保及貸付ハ農商工部ノ登錄ヲ經ルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

一漁業免許狀又ハ漁場圖ヲ亡失、毀損シタルトキハ事由ヲ具シ再下付ヲ申請スヘシ

一漁業權ハ左ノ場合ニ於テ制限又ハ條件ヲ附シ若ハ停止又ハ取消サルルコトアルヘシ

一　農商工部大臣ニ於テ水產動植物ノ蕃殖其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ

二　正當ノ理由ナクシテ漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ一箇年以內ニ漁業ニ著手セス又ハ引續キ二箇年以上休業シタルトキ

三　漁業權ノ制限又ハ條件ニ違反シタルトキ

四　法定又ハ指定ノ期間內ニ漁業稅又ハ罰金ヲ納付セサルトキ

五　其ノ他漁業法又ハ漁業法ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

漁業權ノ貸付ヲ受ケタル者ノ所爲ハ漁業權者ノ所爲ト看做シ前各號ノ規定ヲ漁業權者ニ適用セラルヘシ

一漁業權ノ停止中又ハ免許ノ條件ニ違反シテ漁業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

一使用人、漁夫其ノ他從業者ノ所爲ハ漁業者ノ所爲ト看做シ其ノ罰則ハ之ヲ漁業者ニ適用セラルヘシ

一漁業免許狀無效ニ歸シ又ハ漁業權ヲ拋棄シタルトキ三十日以內ニ免許狀ヲ返納セサル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラルヘシ

折リ目

二　漁業許可狀雛形

表面

（七寸）

漁業許可狀

（花紋）

番號	住所	氏名	漁業ノ種類	漁具又ハ漁業ノ名稱	漁場ノ區域	採捕物ノ種類	漁業ノ時期	有效期間	條件又ハ制限

部隆熙印

年　月　日

農商工部大臣氏名　大臣之印

五寸五分

裏面

注意

一左ノ場合ニ於テハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

一　漁業中漁業許可狀ヲ携帶セサルトキ

二　漁業許可狀ヲ讓渡又ハ貸付シタルトキ

一漁業許可狀ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ再下付ヲ申請スヘシ

一漁業許可ハ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲制限又ハ條件ヲ附シ若ハ停止又ハ取消サルルコトアルヘシ

一許可ノ條件ニ違反シテ漁業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

一使用人漁夫其ノ他ノ從業者ノ所爲ハ漁業者ノ所爲ト看做シ其ノ罰則ハ之ヲ漁業者ニ適用セラルヘシ

一漁業許可狀無效ニ歸シ若ハ漁業ヲ廢止シタルトキ三十日以內ニ許可狀ヲ返納セサル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラルヘシ

三　漁業鑑札雛形

表面

（五寸五分）

第　種屆出漁業鑑札

番號	住所	氏名	漁船乘組人員	有效期間

廳印

年　月　日

官廳名

四寸

裏面

注意

一第一種屆出漁業ノ鑑札ヲ受ケタル者ハ第二種屆出漁業ヲ、第二種屆出漁業ノ鑑札ヲ受ケタル者ハ第三種屆出漁業ヲ爲スコトヲ得ヘシ

一漁業鑑札ヲ有スル者ハ全國ノ沿海河湖等ニ於テ當該漁業ヲ營ムコトヲ得ヘシ

一左ノ場合ニ於テハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

一　漁業中漁業鑑札ヲ携帶セサルトキ

二　漁業鑑札ヲ讓渡又ハ貸付シタルトキ

一漁業鑑札ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ再下付ヲ申請スヘシ

一使用人、漁夫其ノ他ノ從業者ノ所爲ハ漁業者ノ所爲ト看做シ其ノ罰則ハ之ヲ漁業者ニ適用セラルヘシ

一漁業鑑札無效ニ歸シ若ハ漁業ヲ廢止シタルトキ三十日以內ニ鑑札ヲ返納セサル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラルヘシ

書式

（注意）

一　文書綴緘ノ處ニハ適宜契印スヘシ

二　收入印紙ヲ貼附スヘキ書類ニハ欄外見易キ處ニ其ノ貼附價額ヲ明記スヘシ

三　貼附印紙ノ消印ハ當該官廳ニ於テ之ヲ押捺スヘシ

四　附屬書類ニシテ謄本ヲ提出スル場合ハ同時ニ其ノ本書ヲ添附スヘシ

五　漁具ノ名稱ニ主タル採捕物ノ名稱ヲ附記シ得ヘキモノハ其ノ名稱ヲ漁具ノ名稱ニ冠記スヘシ

六　採捕物ノ種類ハ其ノ主要ナル物ヨリ順次記載スヘシ

免許漁業

第一號書式

第何種漁業免許願書

收入印紙

一漁場ノ位置及區域　別紙漁場圖ノ通

一漁具ノ名稱（又ハ漁具ノ名稱及漁法ノ概要）

一採捕物ノ種類（又ハ養殖物ノ種類）

一漁業ノ時期

一免許期間

一一箇年ノ採捕物見込金額

前記ノ通漁業法第二條（又ハ第十六條）ニ依リ第何種漁業ノ免許相受度別紙漁場圖漁具圖（又ハ養殖漁業目論見書）及關係書類相添此段相願候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戶）
出願人　氏　名㊞

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戶）
出願人　氏　名㊞
右代表者　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

附屬書類ノ表示

一漁場圖　一通

一漁具圖　一通

一慣行證憑書又ハ認許書　何通

一何何　何通

以上

第二號書式

第何種漁業時期（又ハ漁場區域）變更願書

收入印紙

何年何月何日免許第何號

一漁業ノ時期（又ハ漁場ノ區域　別紙漁場圖ノ通）

前記ノ通漁業ノ時期（又ハ漁場ノ區域）變更ノ免許相受度別紙免許狀（又ハ漁場圖）相添此段相願候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戶）
出願人　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

附屬書類ノ表示

一免許狀　一通

一何何　何通

以上

第三號書式

第何種漁業免許狀訂正申請書

收入印紙

何年何月何日免許第何號

一漁業權者ノ氏名（又ハ住所）

前記ノ通氏名（又ハ住所）變更候ニ付免許狀訂正相成度別紙免許狀相添此段申請候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戶）
申請人　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

附屬書類ノ表示

一免許狀　一通

以上

第四號書式

第何種漁業免許期間更新申請書

收入印紙

何年何月何日免許第何號

一更新期間

一更新ノ理由

前記ノ通免許期間更新ノ免許相受度別紙免許狀相添此段申請候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戶）
申請人　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

附屬書類ノ表示

一免許狀　一通

以上

第五號書式

第何種漁業免許狀再下付申請書

收入印紙

一何年何月何日免許第何號

前記ノ免許狀亡失（又ハ毀損）致候ニ付再下付相成度（別紙毀損免狀相添）此段申請候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戶）
申請人　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

第7725号　本文

（注意）
免許年月日若ハ免許番號分明ナラサルトキハ其ノ漁業ノ種類又ハ漁具ノ名稱ヲ申請書ニ記載スヘシ

第六號書式

第何種漁業休業認可申請書

收入印紙

何年何月何日免許第何號
一休業期間
一休業ノ事由

前記ノ通漁業休業ノ認可相受度此段申請候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
漁業權者　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

第七號書式

第何種漁業權相續（又ハ讓渡、共有、擔保若ハ貸付）登錄申請書

收入印紙

一何年何月何日免許第何號

前記ノ漁業權何年何月何日相續（又ハ讓渡、共有、擔保若ハ貸付）致候ニ付登錄相成度別紙免許狀及關係書類竝事由書相添此段申請候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
相續人（又ハ當事者）　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

附屬書類ノ表示
一免許狀　一通
一何何　何通
以上　何通

（注意）
一　相續ノ場合ニハ其ノ事實ヲ證スヘキ書類ヲ添附スヘシ
二　讓渡、共有、擔保、貸付ノ場合ニハ各當事者記名連印シ之ニ關スル契約書及其ノ之ヲ要スル事由書等ヲ添附スヘシ

第八號書式

第何種漁業著手（又ハ再度從事）屆

一何年何月何日免許第何號

何年何月何日ヨリ前記漁業ニ著手（又ハ再ヒ漁業ニ從事）候ニ付此段及御屆候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
漁業權者　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

（注意）
再ヒ漁業ニ從事スル場合ニハ休業認可ノ年月日及番號ヲ記載スヘシ

第九號書式

裁決申請書

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
申請者　氏　名
住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
對手方　氏　名

收入印紙

一申請ノ目的
一申請ノ理由

右當事者間ニ於ケル何々漁業ニ關スル爭議御裁決相成度別紙證據書類相添此段申請候也

年　月　日

右
申請者　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

附屬書類ノ表示
一第一號證據書類　何通
一第二號證據書類　何通
一何何　何通
以上　何通

第十號書式

代表者選定（又ハ變更）屆

一代表者（又ハ新代表者）ノ氏名及住所

何年何月何日第何種免許漁業出願（又ハ免許第何號何漁業）ニ付前記ノ者代表者ニ選定（又ハ變更）候ニ付此段及御屆候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
共同出願者（又ハ共同漁業權者）　氏　名㊞
住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
共同出願者（又ハ共同漁業權者）　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

（注意）
共同出願者又ハ共同漁業權者ニ於テ代表者ヲ定メ當該官廳ニ屆出テタル後ハ總テ其ノ代表者ノ氏名ヲ用ユヘシ

許可及屆出漁業

第十一號書式

漁業許可願書

一漁業ノ種類
一漁具ノ名稱又ハ漁法
一漁場區域
一採捕物ノ種類
一漁業ノ時期

一許可狀ノ有效期間

前記ノ通漁業許可相受度此段相願候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
願人　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

（注意）
一　漁業ノ種類ノ箇處ニハ漁業法第九條第一號（又ハ第二號、第三號、第四號若ハ第五號）ノ漁業ト記載スヘシ
二　漁具ノ名稱カ普通稱呼ノモノニ非サルトキハ其ノ漁法ノ概要ヲ併記スヘシ
三　漁場區域ハ其ノ漁業セムトスル水面ニ就キ陸地、島嶼又ハ岬角若ハ水面等ノ重ナル名稱ニ依リ其ノ區域ヲ表示シ得ヘキ大要ヲ記載スヘシ

第十二號書式

漁業屆書

一漁業ノ種類
一漁具ノ名稱又ハ漁法
一漁船ヲ使用スル漁業ニ在リテハ其ノ乘組人員
一鑑札ノ有效期間

前記ノ漁業ニ付鑑札相受度此段及御屆候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
屆出人　氏　名㊞

何府尹（郡守）氏名座下
（何理事廳理事官氏名殿）

（注意）
一　漁業ノ種類ノ箇處ニハ第一種（又ハ第二種若ハ第三種）屆出漁業ト記載スヘシ
二　漁具ノ名稱カ普通稱呼ノモノニ非サルトキハ其ノ漁法ノ概要ヲモ併記シ又ハ漁具ヲ使用セサル漁業ニ在リテハ其ノ漁法ヲ記載スヘシ

第十三號書式

許可漁業漁業時期（又ハ漁場區域）變更願

何年何月何日許可第何號
一漁業時期（又ハ漁業區域）

前記ノ通漁業ノ時期（又ハ漁業區域）變更ノ許可相受度別紙許可狀相添此段相願候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
願人　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

第十四號書式

漁業許可狀（又ハ鑑札）訂正申請書

何年何月何日許可（又ハ下付鑑札）第何號
一漁業者ノ氏名（又ハ住所）

前記ノ通氏名（又ハ住所）變更候ニ付許可狀（又ハ鑑札）訂正相成度別紙許可狀（又ハ鑑札）相添此段申請候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
申請者　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下
（何府尹（郡守）氏名座下）
（何理事廳理事官氏名殿）

第十五號書式

漁業許可狀（又ハ鑑札）再下付申請書

一何年何月何日許可狀（又ハ下付鑑札）第何號

前記ノ許可狀（又ハ鑑札）亡失（又ハ毀損）致候ニ付再下付相成度（別紙毀損免許狀（鑑札）相添）此段申請候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
申請者　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下
（何府尹（郡守）氏名座下）
（何理事廳理事官氏名殿）

（注意）
許可年月日又ハ鑑札番號分明ナラサルトキハ其ノ漁業ノ種類又ハ名稱ヲ申請書ニ記載スヘシ

第十六號書式

代表者選定（又ハ變更）屆

一代表者（又ハ新代表者）ノ氏名及住所

何年何月何日漁業法第九條第何號漁業出願（又ハ何年何月何日許可第何號漁業）ニ付前記ノ者代表者ニ選定（又ハ變更）候ニ付此段及御屆候也

年　月　日

住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
共同出願者（又ハ共同漁業者）　氏　名㊞
住所（何道何府郡何面何洞（里）何戸）
共同出願者（又ハ共同漁業者）　氏　名㊞

農商工部大臣氏名閣下

（注意）
共同出願者又ハ共同漁業者ニ於テ代表者ヲ定メ當該官廳ニ屆出テタル後ハ總テ代表者ノ氏名ヲ用ユヘシ

統監府告示第二十一號

明治四十二年三月十一日ヨリ左記郵便局ニ特設電話交換業務ヲ開始シ同局電話加入者ノ電線託送電報ヲモ取扱ハシム

明治四十二年三月十日

統監代理
副統監　子爵曾禰荒助

局名	位置
全州郵便局	全羅北道全州郡全州邑

第7725号　本文

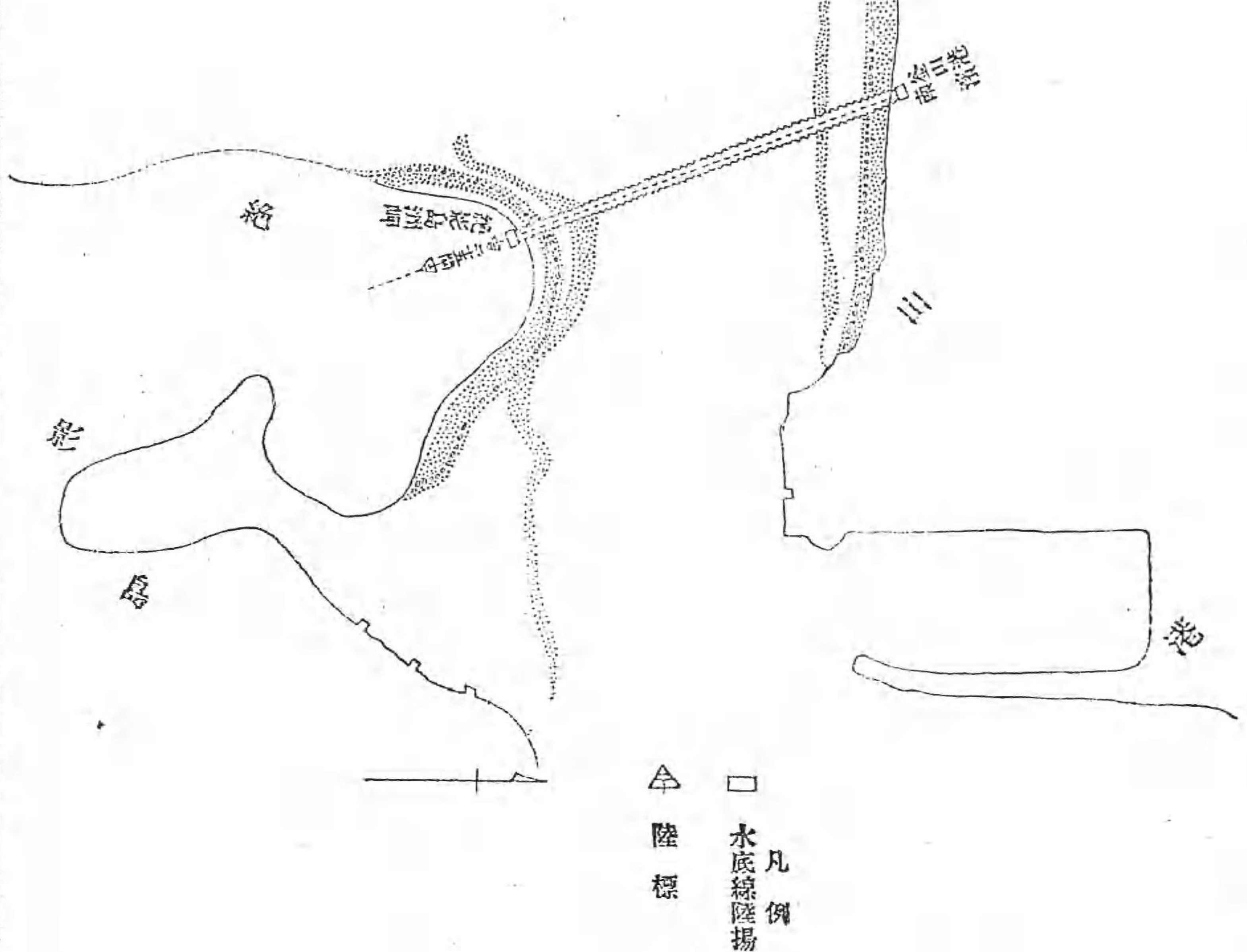
統監府告示第二十二號

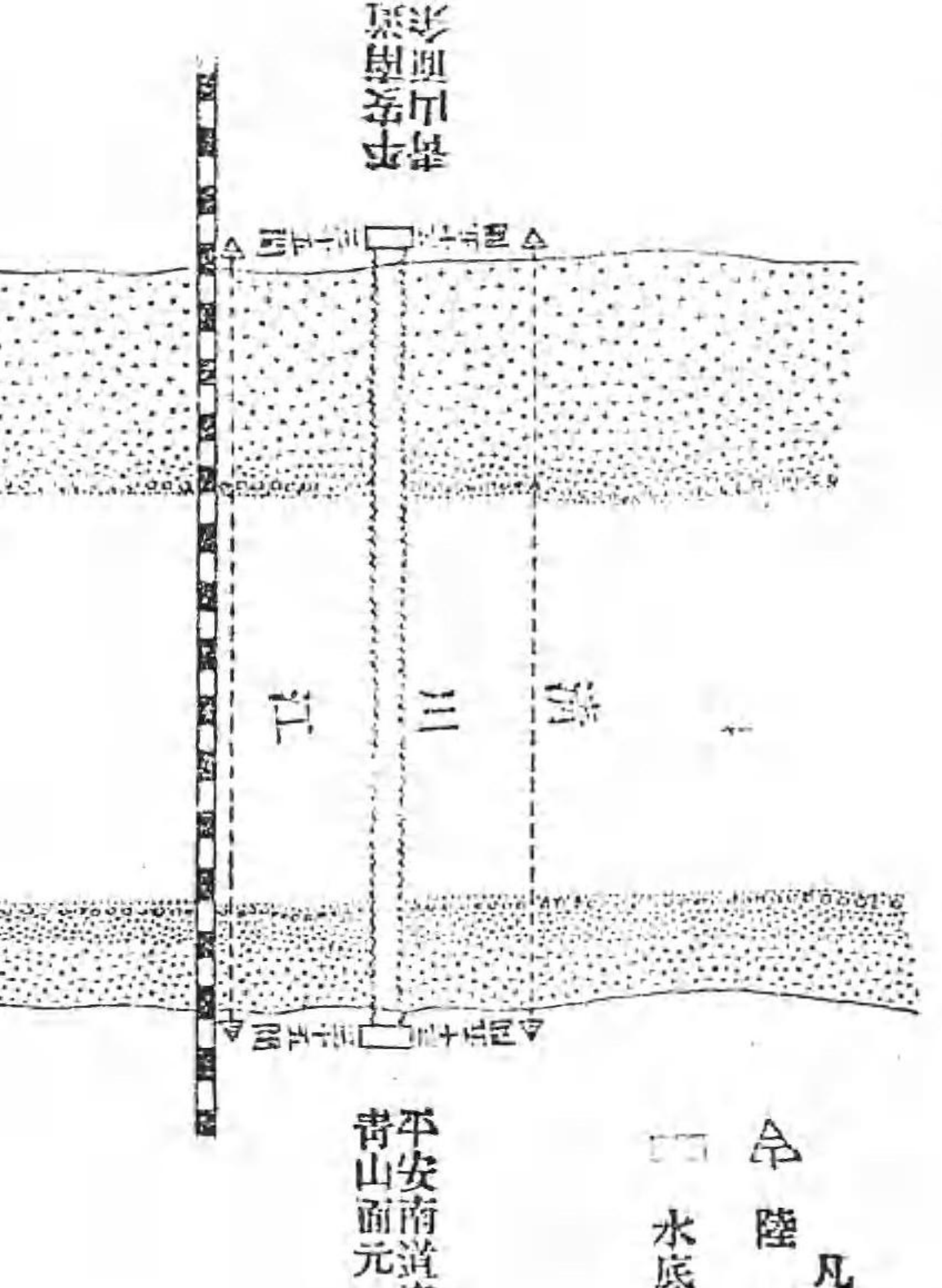
釜山絶影島間外一箇所ヘ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ該線路區域ヲ左ノ通定ム

明治四十二年三月十日
統監代理
副統監　子爵曾禰荒助

一韓國釜山港南濱陸揚柱ヨリ同絶影島州岬陸揚柱間ハ絶影島陸揚地ニ建設セル二本ノ陸標ヲ以テ指示スル直線ノ左右各三十間以內

一韓國平安南道安州郡青山面元一里陸揚柱ヨリ同國同道同郡同面余北里陸揚柱間ハ兩陸揚柱ノ左右ニ建設セル各二本ノ陸標ヲ以テ指示スル二條ノ直線以內





統監府告示第二十三號

韓國政府ハ隆熙三年三月十一日勅令第二十五號ヲ以テ漁業ニ關スル手數料ノ件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十二年三月十七日
統監代理
副統監　子爵曾禰荒助

第一條　漁業ニ關シ左ノ請願又ハ申請ヲ爲サムトスル者ハ手數料トシテ各左ニ定ムル金額ヲ納付スヘシ

一漁業法第二條ニ依ル漁業免許ノ請願
　一件毎ニ　金二圓
一同法第三條ニ依ル免許期間更定ノ申請
　一件毎ニ　金二圓
一漁業權ノ相續、讓渡、共有、擔保又ハ貸付登錄ノ申請
　一件毎ニ　金二圓
一漁業法第八條ニ依ル裁決ノ申請
　一件毎ニ　金五圓
一免許漁業ノ漁場區域ノ增減又ハ漁業時期變更ノ請願
　一件毎ニ　金一圓
一漁業免許狀ノ訂正又ハ再下付ノ申請
　一件毎ニ　金五十錢
一免許漁業休業認可ノ申請
　一件毎ニ　金二圓

一免許漁業登錄簿ノ閲覽又ハ謄本、抄本下付ノ申請
　一件毎ニ　金五十錢

第二條　隆熙二年勅令第三十九號ニ依リ政府管理ニ屬スル漁場ノ漁業請願ニ對シ免許ヲ與フルトキハ前條手數料ノ外特別手數料ヲ納付セシム特別手數料ノ金額ハ漁場ノ位置、漁業ノ組織及漁獲見積金額ニ依リ漁業法施行前ニ於ケル各年漁業權ノ競賣價額ヲ參酌シ二千圓以下ノ範圍內ニ於テ農商工部大臣之ヲ定ム

第三條　手數料ハ請願又ハ申請ノ際請願書、申請書ニ收入印紙ヲ貼附シ特別手數料ハ免許ノ際農商工部大臣ノ發スル納入告知書ニ收入印紙ヲ貼附シテ納付スヘシ但シ特別手數料ノ納付ハ國庫金ヲ取扱フ銀行又ハ郵便局ノ爲替證書ヲ以テ代用スルコトヲ得

附　則

本令ハ漁業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

統監府告示第二十四號

韓國政府ハ隆熙三年三月十五日勅令第二十七號ヲ以テ國有土石採取規則中改正ニ關スル件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十二年三月十七日
統監代理
副統監　子爵曾禰荒助

隆熙二年勅令第五十八號國有土石採取規則中第三條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但シ農商工部大臣ハ危害ナク又景致ヲ損傷セサルモノト認ムル場合ニハ第三號及第四號ノ箇所ニ對シ特ニ土石ノ採取許可ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府告示第三十號

明治四十二年三月十一日發行臺南新報第二千八百七十號及同年三月十二日發行臺南新報第二千八百七十一號ハ臺灣新聞紙條例第九條ニ依リ發賣頒布ヲ禁止ス

明治四十二年三月十三日
臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

正　誤

本月二十二日官報臺灣總督府告示ノ第三十號ハ第三十一號第三十一號ハ第三十二號ノ孰モ誤
臺灣總督秘書官

昨二十九日陸軍省令第五號中第二條四行割書ノ下及七一七頁上段十二行「重砲」ノ下ニ孰モ、ヲ脫ス
（誤植）

○敍任及辭令

○明治四十二年三月二十九日

陸敍高等官二等　海軍技師正六位勳四等　北澤虎造
陸敍高等官三等　海軍技師正六位勳四等　堀池好之助
陸敍高等官四等　海軍教授從六位勳五等　荒川乙吉
陸敍高等官四等　海軍技師從六位勳五等　岡崎八十八
陸敍高等官五等　海軍技師正七位　駒杵勤治
陸敍高等官五等　海軍技師正七位勳五等　中野清次
陸敍高等官五等　海軍技師正七位勳六等　大石鉄吉
陸敍高等官六等　海軍技師從七位　弘中儀一
陸敍高等官六等　海軍技師從七位勳六等　鈴木重義
陸敍高等官六等　通信事務官補從七位勳八等　土屋憲治
任大分縣大分郡長　敍高等官五等　大分縣下毛郡長正六位勳五等　出事
任大分縣玖珠郡長　敍高等官五等　大分縣東國東郡長從六位勳五等　山口正邦
任大分縣下毛郡長　敍高等官六等　大分縣宇佐郡長正七位勳六等　松岡公達
任大分縣東國東郡長　敍高等官六等　大分縣玖珠郡長正七位勳六等　三好成
任大分縣宇佐郡長　敍高等官八等　大分縣警部勳八等　江守榮太郎
任香川縣事務官補　敍高等官七等　香川縣木田郡長從七位　樋口德太郎
任香川縣木田郡長　敍高等官八等　香川縣警部勳八等　末澤平吉

別格官幣社靖國神社宮司被仰付　賀茂百樹

御用有之韓國ヘ被差遣　鳥取縣技師　齋藤惣太郎
大分縣大分郡長　安田源太
山梨縣技師　桑原下學
（各通）

依願免本官（以上三月二十九日內閣）　鹿兒島縣技師　古川仲右衞門
（各通）

陸軍重砲兵射擊學校ヘ被差遣　侍從武官公爵　鷹司熙通
東宮武官　山田陸槌
（各通）

海軍機關學校ヘ被差遣　侍從武官男爵　西紳六郎
東宮武官　千坂智次郎
（各通）

參謀本部參謀演習旅行實視トシテ同演習地ヘ被差遣　侍從武官　上田兵吉
東宮武官　本城幹太郎

位記返上ヲ命ス（以上三月二十九日宮內省）　正六位　橫澤次郎

四級俸下賜　神奈川縣警視　岡田佳太郎

二級俸下賜　大分縣大分郡長　出事
（各通）

四級俸下賜　大分縣玖珠郡長　山口正邦
大分縣下毛郡長　松岡公達

五級俸下賜　大分縣東國東郡長　三好成

第7725号本文

（各通）　大分縣宇佐郡長　江守榮太郎
香川縣木田郡長　末澤平吉
六級俸下賜
四級俸下賜（以上三月二十九日内務省）　香川縣事務官補　樋口德太郎
免本職補步兵第五十三聯隊附　（步兵第五十三聯隊中隊長陸軍步兵大尉）　廣瀬俊郎
免本職補步兵第五十三聯隊中隊長　（步兵第五十三聯隊附陸軍步兵大尉）　山田楊之助
補步兵第二聯隊附　陸軍步兵中尉　茅根勇記
免本職補對馬重砲兵大隊中隊長　（對馬重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉）　野中欽吾
免本職補重砲兵第五聯隊中隊長　（重砲兵第五聯隊大隊副官陸軍砲兵中尉）　青木次郎
免本職補重砲兵第五聯隊大隊副官　（重砲兵第五聯隊附陸軍砲兵中尉）　岡本政助
免本職補野砲兵第三聯隊大隊副官　（野砲兵第三聯隊附陸軍砲兵中尉）　安藤伊三郎
休職被仰付　野砲兵第二十二聯隊附陸軍砲兵中尉　土居勝
退役被仰付（以上三月十九日陸軍省）　陸軍步兵少尉　長谷又次
免本職補横須賀海軍工廠附　武藏軍醫長海軍大軍醫　宮川正雄
免本職補武藏軍醫長　横須賀海軍工廠附海軍大軍醫　藤岡新
賜四級俸　主理　山田三郎
海軍教授　淸水與三郎
（各通）　海軍教授　内田雄太郎
海軍教授　山川弘毅
賜五級俸
賜三級俸　海軍技師　中川鐵彌
海軍技師　鳥谷部末治
（各通）　海軍技師　星野一太郎
海軍技師　石橋政信
賜四級俸
海軍技師　井上親雄
（各通）　海軍技師　坂口莊介
海軍技師　中野德郎
賜五級俸
賜六級俸　海軍技師　濱田銀次郎
海軍技師　森田果義二
海軍技師　三宅徹男
海軍技師　小池熊吉
（各通）　海軍技師　伊藤儐
海軍技師　大石鉄吉
海軍技師　乾慶藏
賜七級俸
海軍技師　常田壬太郎
（各通）　海軍技師　鈴木長雄
海軍技師　山田鏆一郎

海軍技師　鈴木勘次郎
賜八級俸
海軍技師　奥平淸貞
海軍技師　鈴木重義
海軍技師　坂戸松太郎
海軍技師　上別府彦七
（各通）　海軍技師　河野滿次郎
海軍技師　寺本直亮
海軍技師　宮川一
海軍技師　山下茂太郎
海軍技師　安松榮
海軍技師　柳下友太郎
賜九級俸
海軍技師　小林四郎
（各通）　海軍技師　加藤鹿之助
海軍技師　熊井泰助
賜十級俸
賜年俸千圓　海軍監獄長　長野昌夫
補呉海軍工廠造機部部員（以上三月二十九日海軍省）　海軍技師　鈴木重義
補長崎地方裁判所判事　武雄區裁判所判事　村部權藏
補武雄區裁判所判事　福江區裁判所判事　江川甚一郎
補福江區裁判所判事　長崎地方裁判所判事　石渡譜
長崎地方裁判所判事　村部權藏
（各通）　武雄區裁判所判事　江川甚一郎
八級俸下賜
十級俸下賜　福江區裁判所判事　石渡譜
司法官試補（谷村區）　下田友吉
甲府地方裁判所及同檢事局竝甲府區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ス
ヘシ
司法官試補（甲府地方）　大沼惟隆
谷村區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ（以上三月二十九日司法省）
學術研究ノ爲出京ヲ命ス　（京都帝國大學醫科大學教授醫學博士）　和辻春次
學術研究ノ爲福岡縣ヘ出張ヲ命ス　（京都帝國大學醫科大學助教授）　於保乙彦
京都帝國大學理工科大學助教授　高橋昌二
學術研究ノ爲製鐵所ヘ出張ヲ命ス（以上三月二十三日京都帝國大學）
遞信技師　堤正義
（各通）　遞信技師　今岡純一郎
横濱ヘ出張ヲ命ス（三月二十五日遞信省）
臨時臺灣工事部事務官　今井周三郎
上京ノ序ヲ以テ神奈川縣ヘ出張ヲ命ス（三月十五日臺灣總督府）
臺灣總督府祕書官　三村三平
總督官房統計課長水科七三郎不在中代理ヲ命ス（三月十六日同）

臺灣地方病及傳染病調査臨時委員ヲ命ス　（臺灣總督府防疫醫官）　羽鳥重郎
東京、大阪及神戸ヘ出張ヲ命ス（以上三月十七日同）　（臺灣總督府法院判官）　高田富藏
檢査官補　生木政之進
高知縣所在各廳大阪鑛山監督署及農事試驗場畿内支場會計實地檢査トシ
テ出張ヲ命ス（三月二十九日會計檢査院）
休職ヲ命ス（三月二十六日福井縣）　福井縣立武生中學校敎諭　菊池英也
七級俸下賜　福井縣立福井中學校敎諭　加藤直久
休職ヲ命ス（以上三月二十七日同）　福井縣立福井中學校敎諭　加藤直久
十級俸下賜　和歌山縣立和歌山中學校敎諭　大眉儀八
休職ヲ命ス（以上三月二十七日和歌山縣）　（和歌山縣立和歌山中學校敎諭）　大眉儀八
八級俸下賜（但當分年俸九百六拾圓給與）（三月二十五日香川縣）　（香川縣立高松中學校敎諭）　吉井正一

○宮廷錄事

○東宮行啓　皇太子殿下ハ一昨二十八日午前八時五分御出門同八時四十五分兩國橋停車場御發車同九時五十八分越ケ谷停車場御著車埼玉鴨場ヘ行啓午後三時五十分同場御發同三時五十八分越ケ谷停車場御發車同五時十六分兩國橋停車場御著車同六時還御アラセラレタリ

○皇族發著　載仁親王殿下ハ御職務ヲ以テ昨二十九日御出發千葉縣下ヘ御出張アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○税關監視署移轉　神戸税關所管宇品税關監視署ハ去月二十日廣島縣宇品町千三百二番地ノ三ヘ移轉セリ

○徵兵ノ件照會　徵兵事務條例第五十五條ノ徵集猶豫願書ニ添付スル在留證明書ハ領事館事務代理ノ發給シタルモノニテ有效ナル旨外務省照會ニ對シ陸軍次官ヨリ回答セリ

○休職滿期　休職鐵道部事務官渡邊端ハ本月十四日休職滿期ト爲レリ

○官吏發著　曩ニ歐米各國ヘ差遣ヲ命セラレタル鐵道院參事矢野亮一、同大園榮三郎、同技師鈴木鐵彌太ハ本月二十六日孰モ歸朝セリ

曩ニ小笠原島、鳥島及八丈島ヘ出張ノ侍從日根野要吉郎ハ本月二十七日、第三、第九及第十五師管下ヘ差遣ノ侍從武官高橋義章ハ一昨二十八日孰モ歸京●小笠原主殿頭ハ昨二十九日出發名古屋離宮ヘ出張セリ

野口步兵第三十五旅團長ハ步兵第十四聯隊留守隊第一期檢閲ノタメ小倉ニ向ヒ本月二十四日、太田步兵第十旅團長ハ步兵第十二聯隊第一期檢閲視察ノタメ讃岐丸龜ニ向ヒ村山步兵第二十一旅團長ハ步兵第七十一聯隊第一期教育檢閲視察ノタメ廣島ニ向ヒ小原步兵第三十旅團長ハ步兵第三十三聯隊新兵第一期末檢閲視察ノタメ名古屋地方ニ向ヒ第二師團參謀長市川堅太郎ハ步兵第三十二聯隊第一期檢閲實施ノタメ山形衛戍地ニ向ヒ同二十六日孰モ出發、曩ニ福島、山形地方ヘ出張ノ仙臺陸軍地方幼年學校長富塚貞一郎ハ同二十五日歸著更ニ校長會議ノタメ東京ニ向ヒ同二十七日、太田交通兵旅團長ハ電信大隊氣球隊第一期檢閲實視ノタメ東京府下中野地方ニ向ヒ昨二十九日孰モ出發●曩ニ韓國ヘ差遣ノ第十二師團參謀長木田伊之助及和歌山地方ヘ出張ノ横幕第四師團經理部長ハ本月二十五日、地理實査ノタメ愛媛縣下ヘ出張ノ伊地知第十一師團長、大阪、大津地方ヘ出張ノ山中第十六師團長、地理實査ノタメ長野縣下ヘ出張ノ兒島步兵第十五旅團長、教育材料收集ノタメ騎兵第五、第二十一、第二十二聯隊ヘ出張ノ陸軍騎兵實施學校長吉田平太郎及山口縣山口町ヘ出張ノ第五師團參謀長古海嚴潮ハ同二十六日孰モ歸著●習志野、大阪、金澤地方ヘ出張ノ澁谷輜重兵監ハ同日歸京●名古屋陸軍地方幼年學校長佐藤鶴松ハ陸軍幼年學校長會議ニ列席ノタメ同二十七日上京セリ

學術實地指導ノタメ神奈川縣下ヘ出張ヲ命セラレタル東京帝國大學理科大學助教授飯塚啓ハ本月二十六日、同上ノタメ神奈川、山梨二縣下ヘ出張ヲ命セラレタル同學農科大學助教授脇水鐵五郎ハ同二十七日孰モ出發セリ

曩ニ上京ノ臺灣總督府事務官峽謙齋ハ本月二十七日出發歸任セリ

曩ニ上京ノ谷口岡山縣知事、新潟縣事務官平塚廣義ハ本月二十七日、廣島縣事務官萩原昌朔ハ一昨二十八日孰モ出發歸任セリ

○官吏死去　豫備陸軍步兵少尉正八位芝田淸十郎ハ本月六日、同正八位勳六等安達恒太郎ハ同九日孰モ死去セリ

判決

○特許局審決　倉林甚太郎外二人ヨリ吉田彌三郎外四人ニ對スル第五〇八〇號登錄實用新案權利確認審判請求事件ニ付キ本月十九日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

第一五五二號

審決書

東京市本所區元町二十五番地
請求人　倉林甚太郎
同市同區横網町一丁目十六番地
同　川口善次
同市芝區南佐久間町二丁目十三番地
同　金丸銀次郎
東京市京橋區木挽町九丁目七番地
右代理人　特許代理業者　稻木繁太郎
福島縣安積郡山町字兵庫田九十二番地
被請求人　吉田彌三郎
同縣同郡同町字燧田六十五番地
同　佐藤源治
同縣同郡同町字稻荷九十番地
同　柄澤啓作
長岡市呉服町百十三番戸
同　名兒耶楢平
新潟縣中蒲原郡村松町甲第千八百五十四番地
同　甲　太刀川貞治

右倉林甚太郎外二人ヨリ吉田彌三郎外四名ニ對シ第五〇八〇號登錄實用新案權利確認ノ爲メ審判請求ヲ爲シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ被請求人ノ所有ニ係ル第五〇八〇號登錄實用新案ノ權利ハ請求人等ノ製造販賣セシ甲第一號證ノ竈ニ抵觸セス審判費用ハ被請求人等ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人等ノ所有スル第五〇八〇號實用新案登錄ハ明治四十年二月十八日出願同年四月八日登錄ヲ受ケタルモノニシテ甲第二號證ノ如シ而シテ該廚爐ハ大體ニ於テ普通ノ竈ト殆ント同シク唯其ノ特殊トスル構造ハ(イ)内ニ設ケタル(ハ)(ハ)ナル二箇ノ鍔ト(ロ)ナル通風口ニシテ右實用新案登錄ノ骨子モ

第7725号 本文

亦（ロ）（ハ）（ハ）ノ三點ニ在ルコトハ其ノ登錄請求範圍ニ記セル「圖面ニ示セル廚爐ノ構造」ニ依テ明白ナリトス而シテ（イ）ノ中心ニ（ヘ）ヲ樹立シ鋸屑ヲ塡充シテ通氣孔ヲ設クルカ如キハ三四年以前ヨリ一般ニ施行セル鋸屑燃燒手段ニシテ卽チ一種ノ鋸屑塡充方法ニ屬シ廚爐ノ構造ト見ルヘキモノニアラス然ルニ請求人等ノ製造販賣セル甲第一號證ノ竈ハ古來一般ニ製造販賣シ來リタルモノニシテ毫モ特殊ノ點ナキ普通ノ竈ナリトス故ニ甲第一號證ノ竈ニ對シ第五〇八〇號登錄實用新案ノ權利カ撞著セサルコト一點ノ疑ナシ或ハ云ハン甲第一號證ニ於ケル（ニ）ヲ拔取リテ（ホ）ト共ニ竈內ニ挿入シテ鋸屑ヲ塡充スル點ニ於テ類似スト然レトモ前記鋸屑ヲ塡充スル手段ハ前段既ニ述フル如ク純然タル方法ニシテ決シテ竈ノ構造トシテ見ルヘキモノニ非ス況ンヤ本件登錄實用新案ハ殊更ニ別箇ノ竹竿ヲ使用スルニ拘ハラス甲第一號證ノモノハ煙筒ヲ兼用シ得且又本件登錄實用新案ニ於テハ（ロ）ハ固定シテ始終鋸屑ノ崩壞ニ備フルニ拘ラス甲第一號證ノモノニ於ケル（ホ）ハ鋸屑ヲ塡充スル迄ノ要具ニ止マルノ大差アリ故ニ甲第二號證ナル第五〇八〇號實用新案登錄權利カ甲第一號ニ撞著セサルコトハ明白ナリ被請求人ハ第五〇八〇號登錄實用新案ト甲第一號證ト構造目的同一ニシテ唯其ノ異ル所ハ第五〇八〇號登錄實用新案ニ於ケル數箇ノ遮緣カ甲第一號證ノモノニ設備サレサルノ小異アルノミナレハ相撞著スト云フト雖モ第五〇八〇號登錄實用新案ノ廚爐ハ古來公知公用ノ爐身ニ改良ヲ加ヘタルモノニシテ其ノ改良ノ點ハ爐內ニ隆起スヘク固著セル通風口（ロ）ト數箇ノ環狀遮緣（ハ）ノ構成ニ在リ故ニ此二點ヲ含有セサル甲第一號證ト撞著スヘキ理由ナシ又假リニ被請求人ノ云フカ如ク（ヘ）モ（ロ）（ハ）ト組合セテ權利ノ一部ヲ構成スルトスルモ單ニ（ヘ）ノ一點ニ於テ彼是相一致スルモ以テ本件ノ撞著ハ成立スヘキニアラス又被請求人吉田彌三郎ハ請求人ノ主張ニ異議ナキコトヲ表白セルカ請求人ニ對シ告訴ヲ提起シタルコトニ付テ同人ノ干與セサルコトハ其ノ申立ノ如シト雖モ之カタメニ審判費用ヲ負擔スル義務ナシト云フハ不當ナリト云フニ在リテ甲第一號證及第二號證ヲ提出セリ被請求人柄澤啓作、佐藤源治及名兒耶櫂平ノ答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト云フニ在リテ被請求人吉田彌三郎答辯ノ要旨ハ請求人ノ申立ハ之ヲ認諾スルモ審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト云フニ在リ而シテ被請求人柄澤啓作、佐藤源治、名兒耶櫂平及太刀川貞治カ主張ノ理由トスル所ハ被請求人等ノ所有ニ係ル實用新案登錄第五〇八〇號廚爐ト請求人等ノ製造販賣セル甲第一號證ノ竈ヲ對照スルニ鋸屑ヲ爐中ニ充塡シ下層ヨリ點火スルコト及竹竿其他適宜ノ直杆ヲシテ充塡鋸屑ノ中央部ニ火焰通路ヲ作ルコトハ兩者共ニ其構造目的同一ニシテ實用新案登錄第五〇八〇號廚爐ノ主要トスル點ナリ唯實用新案登錄第五〇八〇號廚爐ニ上下數箇ノ遮緣アルモ甲第一號證ノ竈ニハ此ノ遮緣ヲ設ケサル僅少ノ差アルノミ此ノ少差ヤ請求人等カ被請求人等所有ノ本件登錄實用新案ト撞著スルコトヲ免レンタメノ手段トシテ故意ニ遮緣ヲ附著セスシテ類似ノ物品ヲ製造販賣セルモノト云ハサル可ラス且甲第一號證ノ竈ハ三四年前ヨリ公用セシ云々ハ唯請求人等ノ口實ニ過キスシテ何等ノ證據ナシ抑モ鋸屑ヲ燃燒スルコトハ古來ヨリナキニシモアラスト雖モ第五〇八〇號登錄實用新案ノ如ク直杆其他適宜ノ直杆ヲ充塡鋸屑內ニ樹立シ拔出シテ一條ノ空所卽チ火焰通路及通風口ヲ設ケ完全ニ燃燒スルコトハ第五〇八〇號登錄實用新案ノ外未タ曾テ見サル所ナリト云フニ在リ倘被請求人柄澤啓作、佐藤源治及太刀川貞治ハ鋸屑間ニ煙道ヲ作ルハ一種ノ鋸屑燃燒方法ニシテ竈ノ構造ニアラストノ請求人ノ所論ニ對シテ甲第二號證說明中ニ記載セル請求範圍ニ徵スルモ新規ノ構造上ノ考案ナリト主張シ被請求人太刀川貞治ハ實用新案登錄第五〇八〇號ノ構造ノ要點ナル一部卽チ通風口ノ撞著スル以上ハ全部同一物品ナラストスルモ本件實用新案權ニ撞著スルモノナリト主張ス又被請求人吉田彌三郎カ主張ノ理由トスル所ハ請求人ノ申立テタル理由及事實ニ付テハ異議ナキモ自分ハ請求人等ニ對シ告訴ハ勿論權利上ノ爭論ヲナシタルコトナキヲ以テ審判費用ヲ負擔スルノ義務ナシト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

本件登錄實用新案第五〇八〇號廚爐ノ登錄請求範圍トスル所ハ其ノ圖面ニ示セル廚爐ノ構造ニシテ其ノ構造ハ爐身（イ）直杆（ヘ）通風口（ロ）遮緣（ハ）（ハ）煙筒（ホ）等ヨリ成ル全部ナリ然ルニ請求人等ノ製造販賣セル甲第一號證ノ竈ノ構造ハ前者ト等シキ爐身、直杆、通風口、煙筒ヨリ成ルト雖モ其ノ通風口ハ固定ナラス又遮緣（ハ）（ハ）ヲ缺如スルノ相違アリ從テ甲第一號證ノ竈ハ登錄實用新案第五〇八〇號廚爐ノ登錄權利ニ撞著スヘキモノニ非ス又請求人吉田彌三郎ハ直チニ請求ヲ認諾シ且其作爲ニ因リ審判ヲ提起セシメタルニアラサルヲ以テ同人ニ關スル審判費用ハ請求人ノ負擔スヘキモノトス其他當事者雙方ニ於テ互ニ論辯スル所アリト雖モ本件審決ニ必要ナケレハ之ヲ說明セス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人ノ製造販賣セル甲第一號證ノ竈ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第五〇八〇號廚爐ノ權利ニ撞著セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

被請求人吉田彌三郎ニ關スル審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十二年三月十九日於特許局

審判長　特許局技師　湯淺藤市郎
特許局事務官　宿利英治
特許局事務官　村山小次郎

監獄

○受刑者刑名別　本年一月末日現在受刑者刑名別左ノ如シ（△印ハ減）

刑名	男	女	計	前月末日現在	前年同月末日現在	增減 前月比較	增減 前年比較
無期懲役刑	四	—	四	三	—	一	—
有期懲役 十五年以上	六四	二	六六	五一	—	一五	—
有期懲役 十五年未滿	二八四	一一	二九五	一七九	—	一一六	—
有期懲役 十年未滿	八六〇	四四	九〇四	六五八	—	二四六	—
有期懲役 五年未滿	八七二	四三	九一五	六六〇	—	二五五	—
有期懲役 三年未滿	二、二二二	一三六	二、三五八	一、六一八	—	七四〇	—
有期懲役 一年未滿	一、八〇七	一三五	一、九四二	一、二九六	—	六四六	—
有期懲役 六月未滿	二、八八四	二七四	三、一五八	二、四六一	—	六九七	—
有期懲役 二月未滿	一〇六	一三	一一九	一六五	—	△四六	—
有期懲役 計	九、〇九九	六五八	九、七五七	七、〇八八	—	二、六六九	—
舊刑法ノ刑 無期徒刑	一、六七二	八九	一、七六一	一、七六一	一、七〇五	—	五六
舊刑法ノ刑 有期徒刑	三、三三八	三一六	三、六五四	三、六七九	三、七九九	△二五	△一四五
舊刑法ノ刑 重懲役	二、六九一	四二二	三、一一三	三、一五〇	三、三五一	△三七	△二三八
舊刑法ノ刑 輕懲役	三、三五七	一九三	三、五五〇	三、五九五	三、八一〇	△四五	△二六〇
舊刑法ノ刑 重禁錮 五年以上	三、〇二九	三七	三、〇六六	三、〇六一	二、八三九	五	二二七
舊刑法ノ刑 重禁錮 五年未滿	六、五七六	一三六	六、七一二	六、七七二	六、五七八	△六〇	一三四
舊刑法ノ刑 重禁錮 三年未滿	九、八二五	三二〇	一〇、一四五	一〇、七〇六	一一、七五八	△五六一	△一、六一三
舊刑法ノ刑 重禁錮 一年未滿	二、九三八	一四七	三、〇八五	三、六四一	五、一二六	△五五六	△二、〇四一
舊刑法ノ刑 重禁錮 六月未滿	一、〇九一	八一	一、一七二	一、八七九	六、九七八	△七〇七	△五、八〇六
舊刑法ノ刑 重禁錮 二月未滿	一二〇	一〇	一三〇	二六二	二三〇	△一三二	△一〇〇
舊刑法ノ刑 重禁錮 計	二三、五七九	七三一	二四、三一〇	二六、三二一	三三、五〇九	△二、〇一一	△九、一九九
舊刑	四	—	四	四	六		△二
合計	四三、七四四	二、四〇九	四六、一五三	四五、六〇一	四六、一八〇	五五二	△二七
無期禁錮	—	—	—	—	—	—	—
有期禁錮 十五年以上	—	—	—	—	—	—	—
有期禁錮 十五年未滿	—	—	—	—	—	—	—
有期禁錮 十年未滿	—	—	—	—	—	—	—
有期禁錮 五年未滿	—	—	—	—	—	—	—
有期禁錮 三年未滿	—	—	—	—	—	—	—
有期禁錮 一年未滿	—	—	—	—	—	—	—
有期禁錮 六月未滿	二	—	二	四	—	△二	—
有期禁錮 二月未滿	八	—	八	三	—	五	—
有期禁錮 計	一〇	—	一〇	七	—	三	—
舊刑法ノ刑 無期流刑	一〇	—	一〇	一〇	八	—	二
舊刑法ノ刑 有期流刑	一八	—	一八	一八	一七	—	一
舊刑法ノ刑 重禁獄	二	—	二	二	二	—	—
舊刑法ノ刑 輕禁獄	五	—	五	五	四	—	一
舊刑法ノ刑 輕禁錮 三年以上	四	—	四	五	六	△一	△二
舊刑法ノ刑 輕禁錮 三年未滿	七	—	七	八	五七	△一	△五〇
舊刑法ノ刑 輕禁錮 一年未滿	四	—	四	九	五一	△五	△四七
舊刑法ノ刑 輕禁錮 六月未滿	九	—	九	七	二四七	二	△二三八
舊刑法ノ刑 輕禁錮 二月未滿	三	—	三	三	八九	—	△八六
舊刑法ノ刑 輕禁錮 計	二七	—	二七	三二	四五〇	△五	△四二三
合計	七二	—	七二	七四	四八一	△二	△四〇九
拘留刑	一、一七二	二四二	一、四一四	一、二八九	一、〇三一	一二五	三八三
總計 初犯	一五、三四九	一、七九四	一七、一四三	一六、五七六	一六、六六三	五六七	四八〇
總計 累犯	二九、六三九	八五七	三〇、四九六	三〇、三八八	三一、〇二九	一〇八	△五三三
總計 計	四四、九八八	二、六五一	四七、六三九	四六、九六四	四七、六九二	六七五	△五三

○陸海軍

○工兵第四大隊移轉　工兵第四大隊ハ本月二十二日大阪府三島郡高槻町ヘ移轉シ同日ヨリ事務ヲ開始セリ（陸軍省）

○豫備役編入　停職陸軍三等主計新井龜之助ハ停職滿期ニ付キ本月二十七日豫備役ト爲レリ（陸軍省）

○蹄鐵術卒業　輜重兵第二大隊ニ於テ本月十九日、同第十六大隊ニ於テ同二十三日左記ノ者ニ各々蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ（陸軍省）

輜重兵第二大隊

宮城縣平民	陸軍輜重兵二等卒	大泉忠三郎
山形縣平民	陸軍輜重兵一等卒	湖山治信
山形縣平民	陸軍輜重兵二等卒	遠藤甚九郎
宮城縣平民	陸軍輜重兵二等卒	千葉金次郎
宮城縣平民	陸軍輜重兵一等卒	伊藤平三郎
宮城縣平民	陸軍輜重兵一等卒	畠山涙之助
山形縣平民	陸軍輜重兵一等卒	佐藤直吉
福島縣平民	陸軍輜重兵二等卒	牧野總重
福島縣平民	陸軍輜重兵二等卒	濱名勝海
宮城縣平民	陸軍輜重兵一等卒	横山簑助
宮城縣平民	陸軍輜重兵二等卒	伊藤力雄
山形縣平民	陸軍輜重兵一等卒	鈴木卯左衛門

輜重兵第十六大隊

京都府平民	陸軍輜重兵一等卒	山村榮太郎
福井縣平民	陸軍輜重兵一等卒	岩谷富藏
滋賀縣平民	陸軍輜重兵一等卒	井上亥之吉
奈良縣平民	陸軍輜重兵一等卒	中口彦太郎
京都府平民	陸軍輜重兵二等卒	元橋政次郎
京都府平民	陸軍輜重兵二等卒	中島米吉
滋賀縣平民	陸軍輜重兵二等卒	小林庄太郎
奈良縣平民	陸軍輜重兵一等卒	林梅吉
滋賀縣平民	陸軍輜重兵二等卒	青木禮讓
奈良縣平民	陸軍輜重兵二等卒	小柴鐵造

○不要徵兵終決處分者　長崎縣ニ於ケル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者中西彼杵郡神浦村七〇八林辰五郎（明治九年二月二十四日生）ハ死亡ノタメ爾後調査ヲ要セサル者ト爲レリ（長崎縣）

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
敷島 龍田	三、二七	呉		
富士	同	宮島		
淺間	同	佐世保		
如月	同	津		
隅田	同	横須賀		
吾妻	三、二八		鎭江	上海
秋津洲 八重山	同		唐津	長崎

艦名	月日	著	發	行先
夕暮 夕立 三日月 白露	三、二九		三角	佐世保
潮 子日 若葉 朝風	同		博多	德山
豐橋	同		呉	廣島灣

○學事

○創立紀念祝賀式　京都帝國大學福岡醫科大學ニ於テ本月二十四日第六回創立紀念祝賀式ヲ擧行セリ當日午前十時職員學生式場ニ整列シ一同聖影ニ向ヒ最敬禮次ニ森書記官（學長所勞ニ付キ代理）教育ニ關スル勅語ヲ捧讀シ並ニ帝國大學令第一條及京都帝國大學設置ノ勅令第一條第二條ヲ朗讀シ一同　天皇皇后兩陛下ノ萬歲ヲ奉祝シ次ニ福岡醫科大學ノ萬歲ヲ祝シ一同復タ聖影ニ向ヒ最敬禮ノ後退場セリ（文部省）

○大學院入學　京都帝國大學ニ於テ今般河合治八郎ニ構造及材料强弱學研究ノタメ大學院入學ヲ許可セリ（文部省）

○學生卒業　京都帝國大學理工科大學ニ於テ純正化學科藤堂良讓、同福間健策ハ今般孰モ卒業セリ（文部省）

○卒業證書授與　山口高等商業學校ニ於テ本月二十六日第二回卒業證書授與式ヲ擧行シ校長坪野平太郎ノ學事報告、告辭及文部大臣竝ニ毛利公爵ノ祝詞代讀、渡邊山口縣知事ノ祝辭等アリ其卒業生ノ族籍、氏名竝ニ左ノ如シ

山口縣平民	山田孝太郎
京都府平民	木村喜三郎
山口縣平民	行友太一
山口縣平民	新谷太兵衛
福岡縣平民	金子堅次郎
山口縣平民	藤井東一
山口縣士族	德光隆明
山口縣士族	古川千里
山口縣平民	北川虎之助
滋賀縣平民	山縣吾一
佐賀縣平民	橋本喜十
和歌山縣平民	津田正一
山口縣平民	德永信顯
香川縣平民	井上直三郎
山口縣士族	中村猪六
埼玉縣平民	鈴木重治
愛媛縣士族	佐伯光雄
山口縣士族	有倉淳次郎
山口縣平民	東上辰輔
東京府平民	財前眞一郎
東京府平民	喜多一夫
宮城縣平民	草刈秀三
大阪府士族	原正生
大分縣平民	紀古康
大分縣平民	長田乙松
栃木縣士族	山本仙
石川縣平民	表善太郎
山口縣平民	安永傳七
島根縣平民	阪根久八
新潟縣士族	小堀英雄
岡山縣平民	且睦巽
滋賀縣平民	辻純一郎
山口縣士族	岡本春三
福岡縣平民	馬場德次郎
大分縣士族	小倉秀雄
山口縣士族	林興輔
千葉縣平民	伊藤幹雄
鹿兒島縣平民	重久定志
山口縣士族	久保直人
長崎縣士族	松本久幸
北海道平民	松林才二
山口縣士族	多賀善介
山形縣平民	渡邊泰三郎
鹿兒島縣士族	緒方徹二
山口縣平民	廣島德藏
香川縣平民	寺島武平
山口縣士族	尾崎俊甫
青森縣士族	成田巽
大阪府平民	清水得三
山口縣士族	山根榮三
熊本縣平民	荒木弘
廣島縣平民	青景正超
熊本縣士族	中津徹
鹿兒島縣士族	田原彌輔
山口縣平民	德久榮一
山口縣士族	吉岡不二彦
香川縣平民	松井榮

第7725号　本文

第7725号 本文

熊本縣士族	井口兼治
鹿兒島縣士族	壹岐隼太
岡山縣士族	丸山正雄
京都府平民	平野直次
兵庫縣平民	井上俊治
佐賀縣士族	雪竹彪二
香川縣平民	宮本郁次郎
山口縣士族	中井泰
德島縣平民	市川茂
埼玉縣平民	高橋眞治
熊本縣士族	松浦鼎次郎
島根縣士族	中村新
長崎縣士族	益富周藏
大阪府華族	水無瀨忠臣
德島縣士族	兼子雅雄
奈良縣士族	吉川義雄
島根縣士族	中井清

文部大臣ノ祝詞

山口高等商業學校ハ本日ヲ以テ玆ニ第二回卒業證書授與式ヲ擧ク是レ本大臣カ國家ノ爲ニ慶トスル所ナリ

惟フニ本邦ノ商業ヲ振作興張シテ常ニ國運ノ發展ニ後レサラシメンニハ必スヤ之ヲ堅忍不拔艱難ニ屈撓セサル新進有爲ノ人材ニ俟ツコト大ナリ今ヤ卒業生諸子多年修得セル各自ノ蘊蓄ヲ提ケテ新ニ商業界ニ入ラントス諸子ノ前途洵ニ多望ナルト共ニ其ノ任務亦甚重シト謂フヘシ商業ニ重ンスヘキハ信用ヲ以テ第一トシ信用ノ基ツク所ハ人格ヲ以テ第一トス諸子ハ學校ニ於テ修得セル學術技能ヲ實際ニ施シテ實務ニ練達センコトヲ勉ムルト共ニ常ニ品性ノ修養ヲ怠ラス以テ著實穩健ナル人格ヲ玉成センコトヲ期セサルヘカラス是レ本大臣カ切ニ諸子ニ囑望スル所ニシテ亦諸子カ國家教養ノ旨ニ酬ユル所以ノ道ナリ諸子ソレ旃ヲ勉メヨ聊カ諸子ノ前途ヲ祝シ併セテ一言ヲ述ヘテ諸子ニ告ク

東京美術學校ニ於テ本月二十七日午前十時第十八回卒業證書授與式ヲ擧行シ各本科生三十四人、撰科生五人ニ卒業證書ヲ授與セリ其次第左ノ如シ（以上文部省）

當日一同式場ニ著席スルヤ校長正木直彥式辭ヲ述ヘ卒業生ニ卒業證書ヲ授與シ尋テ復卒業生ニ對シ告辭ヲ爲シ次ニ小松原文部大臣祝詞ヲ朗讀シ卒業生總代金山平三答辭ヲ陳ヘテ式ヲ終リ其ヨリ招待諸賓一同同校教室ニ陳列シタル各科卒業生及生徒成績品ヲ觀覽セリ其卒業生ノ族籍氏名竝ニ文部大臣ノ祝詞左ノ如シ（^印ハ圖畫教員タル資格ヲ修業セシ者ナリ）

卒業生氏名

日本畫科	
岐阜縣平民	野原安司
千葉縣平民	^香川敬專
島根縣平民	^竹田豐太郎
長野縣平民	^增田久太郎
熊本縣士族	^甲斐英雄
大分縣平民	^生野恒太郎
宮城縣士族	^大越直
西洋畫科	
兵庫縣平民	^金山平三
新潟縣平民	渡邊栁
熊本縣士族	有田四郎
福島縣平民	紺野三郎
東京府士族	^山本兵三
大分縣平民	^宮崎秀勇
德島縣士族	^久米福衛
滋賀縣士族	中村元麿
千葉縣平民	麻生嵩
東京府平民	眞田久吉
廣島縣平民	小林德三郎
福岡縣士族	鹿毛屋藏
巖手縣士族	^菊池香三
新潟縣士族	^上田貞次
高知縣平民	^溝淵銑榮
彫刻科	
愛知縣平民	朝陰圓治郎
圖按科	
新潟縣平民	^加藤卓爾
兵庫縣平民	^寺尾熙一
高知縣士族	^廣瀨綠常
奈良縣平民	^富本憲吉
栃木縣平民	^酒卷貞吉
石川縣平民	^番匠勇作
金工科	
東京府平民	神谷甚一郎
鑄造科	
新潟縣平民	山本貞治
漆工科	
富山縣平民	津田眞次郎
廣島縣平民	高中文助
東京府平民	磯矢隆之
西洋畫撰科	
岡山縣平民	（勳八等）安藤東一郎
大分縣平民	小倉三郎
彫刻撰科	
大阪府平民	近藤三四
金工撰科	
東京府平民	堀井董
鑄造撰科	
靜岡縣平民	小野直平

文部大臣祝詞

美術ハ國家文明ノ精華ニシテ之ヲ發揚スルハ實ニ美術家ノ任務ナリトス況ヤ社會ノ風紀ニ直接ノ關係アルコト甚緊切ナルモノアルヲヤ本校卒業生諸子ノ責任重ウシテ且大ナリト謂フヘシ

製作品ハ亦實ニ作家其ノ人ノ人格ノ反映ナリ故ニ諸子ノ人格ハ直チニ其ノ作品ニ影響シ作品ノ姸媸ハ觀者ノ心ニ感應シテ或ハ人ヲシテ鄙陋ナラシメ或ハ人ヲシテ高尙ナラシム畢竟作品ハ作者胸底ノ氣韵カ其ノ指頭ヨリ迸リテ跡ヲ絹素金石ノ上ニ留メタルモノニ過キス諸子夫レ畢生ノ力ヲ盡シテ藝術ノ奥妙ヲ極ムルト共ニ常ニ人格ノ修養ニ潛心シテ善ク完全ノ作品ヲ出シ明治文明ノ精華ヲ發揮シテ以テ昭代ノ美術家タル本分ニ背カサランコトヲ期セヨ

玆ニ卒業證書授與ノ式ニ臨ミテ一言諸子ノ前途ヲ祝シ併セテ希望スル所ヲ告ク

○**精勤證書授與**　東京美術學校ニ於テ同校漆工科卒業期生徒高中文助ハ在學中學業ヲ精勵シタル廉ニ依リ本月二十七日卒業證書授與ノ際精勤證書ヲ授與セリ（文部省）

○**留學生報告**　文部省外國留學生君島八郎ヨリ左ノ如ク報告アリ（文部省）

視察摘要

明治四十一年七月四日伯林發程漢堡港ニ到リ港內ノ設備見學六日伯林ニ歸ル

同七月十二日伯林發程シ井ネミッンデニ到リ更ニ水路ステチンニ航行港內調查十四日伯林ニ歸ル

同七月十八日伯林ヲ發シドレスデンニ到リエルベ河畔ノ築港ヲ視察ス二十一日伯林ニ歸ル

同八月五日伯林發程南巡ノ途ニ就キ同二十八日歸著其間ニ視察セシ主ナルモノ次ノ如シ

マルクリッサ	堰堤
マウアー	同（工事中）
ブレスラウ	築港、オーデル河ノ改修、防洪扉、水閘等
オペルン	水閘（增築中）
マーゼル	築港（一部工事中）
イノコス井ッチ	水閘（增築中）
キーン	水理調查所
ブタペスト	ドナウ河ノ掘割、ヌスドルフノ水閘、浮戸、水堰、ドナウ河
ミュンヘン	ザーレ河ノ改修
ゲルストホーヘン	水力電氣
チッーリッヒ	湖水護岸
ルチエルン	氷田園
エンゲルベルグ	水力電氣
シピーチ	同
ゲンフ	同
ベルニエー	同
ワンゲン	同

同九月十九日ヨリ西行獨逸ノ西北部ヲ視察シ同十月五日伯林ニ歸著ス

マグデブルグ	築港
ブレッチエレ	避洪運河及堰扉
ブラウンシュワイヒ	工科大學
ハンノフエル	同
ハーメル	水閘、築港
ドルトムンド	ドルトムンドエムス運河
ヘンリッヘンブルク	揚船裝置
デ井スブルグ、ルールオルト	築港
ミッンステル	築港、水閘
エムデレ	築港
レーア	水閘
ブレーメン	築港、エーザーノ改修
ブレーメルハーフエン	築港、水閘
クックスハーフエン	築港
ブルンスビュッテル	カイザー井ルヘルム運河及水閘
漢堡	築港
ハールブルク	同
キール	築港、カイザー井ルヘルム運河
リウベック	エルベトラーベ運河
ニーダービュソウ	水閘

（一）オーデル河改修

オーデル河ハ流域十一万八千平方「キロメートル」河口ヨリ略〻七百「キロメートル」ヲ隔ツルラチボル市マテ舟楫ヲ通スヘクマーゼル、ブレスラウ、ステチン等ハ沿岸ノ樞要ナル都會ナリクロドニッチ運河ハマーゼルトオーバーシレジエンノ石炭地ヲ連絡セルモノニシテ千八百十二年ニ成レリ而シテブレスラウヲ通過セル貨物カ千九百年ノ頃既ニ鐵道ニ依ルモノ一年三百万噸オーデル河ノ水運ニ依ルモノ二百万噸ヲ超エタルヲ見レハオーデル河カ水運上如何ニ必要ナルモノナルヤヲ知ルヲ得ヘシ

オーデル河ノ改修ハ千八百四十四年ニ其端ヲ啓キタリト雖モ當時所期ノ水深ヲ得ヘキヤ否ヤハ尚ホ疑問ニ屬シ工事ハ皆短區間ノ試驗的ノモノニ過キサリキ其後千八百九十一年オーデル、シプレー運河成ルニ迨ヒ伯林ト漢堡トハ直接水路ニ依リテ連絡スルヲ得テ以來オーデル河ヲ改修シテ水運ノ連絡ヲ謀ルハ焦眉ノ急ナルニ至レリ千九百五年四月一日發布ノ普國法律ニ依リブレスラウヨリ上流ナイセ河ノ河口ニ至ル水路ノ修築及下流ブレスラウ、フュルステンベルグニ至ル試驗工事ニ豫算千九百六十五万馬ヲ以テ水深低水位以下一「メートル」ヲ得ヘキ計畫先ツ成リ同八月十二日及八月十六日ノ法律ハ上オーデル及中オーデルノ洪水工事竝ニ水害防禦工事ヲ規定シ五年間ヲ以テ完全スヘキ方針ヲ定メタリマーゼル港ノ增築、沿川各水閘ノ擴張等ハ其中ニ含マル、モノニシテ孰モ目下工事中ニ屬ス

（二）ドルトムンド、エムス運河

ヘンリッヘンブルグ揚船裝置

ドルトムンド、エムス運河ハヘルネミッンステル間ニ更ニ一支ヲ出シテドルトムンドニ連絡ス其長サ十六「キロメートル」此本河ハ支運河ヨリ低キコト十四乃至十六「メートル」ナルヲ以テ此接續點ニ通船ヲ昇降セシムヘキ裝置ヲ設ケタルモノ即チ有名ナルヘンリッヘンブルグノ揚船裝置ニシテ英國ノアンダートン佛國ノル、フォンチネットサテハ白耳義ノラ、ルービエールノニ比スレハ遙ニ壯大ナルモノナリ

直徑八・三「メートル」ヲ有スル五箇ノ中空浮墻ニ依リテ一大木槽ヲ支持セシメ側扉ノ昇降ニ依リテ通船ヲ槽內ニ出入スルヲ得ヘカラシム而シテ船舶水槽ノ鐵材及水ノ總重量三千噸此重量ト浮墻ノ浮力トハ其力殆ト相若キ之ニ僅少ノ電力ヲ附與スレハ齒棒聯動裝置ニ依リテ直ニ水槽ノ昇降ヲ起サシメ其一昇又ハ一降ニ要スル時間僅ニ二分十五秒一日能ク六百噸積ノ通船四十艘ヲ通航セシムルコトヲ得但シ通船ハ吃水一・七五內徑二「メートル」長サ六十五「メートル」幅八「メートル」トス此揚船裝置ニ要セシ工費ハ二千八百万馬トス

（三）ドナウ河ノ掘割

ドナウ河ハ河川工事中最大ナルモノ、一ナリ抑〻ドナウ河ハ井ーン市ノ上流ニ於テ峽谷ノ間ヲ流レ其下ハ亦兩岸ニ連山ヲ有ス此間ノ平原ヲ奔流セル大川ハ屢〻其水路ヲ變シテ淵瀨定ラス一タヒハ現時ノ井ーン市中ヲ流ル、ドナウ運河ノ方向ヲ逐ヒシモ更ニ其流向ヲ東ニシテ轉變數多ノ支流ヲ作リ沃土ハ磯磧ノ地ト爲リ平野ハ多ク沮洳ノ地ト化シ了リ又加フルニ井ーン市ハ比年洪水ノ災ニ惱ミ窮厄相臨ム是ニ於テカ航路ノ維持ハ第十六世紀ヨリ水害ノ防禦ハ第十八世紀ノ末葉ヨリ其必要ヲ認メラル、ニ至リ千八百六十四年ヨリ千八百六十八年ニ亙リテ終ニ改修ノ議ヲ決シ略〻五千万馬ノ豫算ヲ以テドナウ河改修委員ヲ設ク掘割ノ大工事ヲ企ツルニ至レリ其工事ノ要點ヲ擧クレハ次ノ如シ

ヌスドルフヨリセイッシャムンドマテ二十六「キロメートル」間ドナウ河ノ全川ヲ一流ニ收メ單ニ井ーンヲ流ル、ドナウ運河ヲ保存シ他ノ支流ハ悉ク之ヲ締切ル而シテ此本流ノ低水敷二百八十四・四「メートル」更ニ左岸ニ七百五十八・七「メートル」ノ洪水敷ヲ設ク又井ーン市ニハ運河ノ入口及吐口間ニ貨揚場鐵道線、倉庫等ヲ設ケ之ヲ普通水位ノ上ニ在ラシム堤防ノ高サハ上流ニ六・三「メートル」下流ニ五・七「メートル」トス

又氷結ノ際運河口ニ起ル危險ヲ防キ兼テ大洪水ヲ防カンカタメニ鐵製ノ浮戸及氷堰トヲ運河口ニ設ク浮戸ハ長サ四十八・六「メートル」高サ五・七「メートル」中腹ノ幅九・五「メートル」吃水一・四「メートル」重量三百六十六噸アリ而シテ舟楫ノタメニハ更ニ長サ八十五「メートル」幅十五「メートル」ノ水閘ヲ設ケタリ

（四）澳地利國ニ於ケル水理調查所

水工ニ關セル問題ノ技術的調查土地改良內地航行、河川ノ利用及氾濫洪水等ニ關スル原因ノ研究及進テ水位及高水豫報ノ創始ニ必要ナル材料ノ蒐集ヲ爲サンカタメニ澳國ニハ次ノ諸機關ヲ備フ

一　內務省水工局內ニ中央水理課（Das hydrographische Zentral bureau）ヲ置ク
二　各地方及河川ノ流域ニハ水理課ヲ設ケ地方官衙ノ監督ニ委ス
三　各地方ニハ雨量計及量水標ノ觀測ヲ爲スヘキ補助機關ヲ備フ

中央水理課ハ水理ニ關スル法律規程訓令ノ制定ニ參與シ其他百事ノ水工ニ關スル技術的調查及上述ノ問題ヲ管掌ス地方水理課ハ亦各地方ノ水理調查ニ關スルコトヲ掌リ更ニ各地方ニハ森林、鑛山、砂防其他ノ公人ニ水位雨量ノ觀測ヲ囑託ス

中央水理課ニハ河川ノ流速測定ニ用フル各種ノ流速計アリテ洪水又ハ融雪ノ際ニ測定ヲ行フヘキ特種ノ設備ヲ有ス又流速計ノ二定數ヲ定ムルカタメニ特ニ設ケタル水測實驗所（Hydrometrische Prüfungsanstalt）ヲ有ス

（五）マルクリッサノ堰堤

千八百九十七年普國シレジェン州ニ於ケル大洪水ハ未曾有ノ損害ヲ各河ノ沿岸ニ與ヘタルカ就中カイ河及ボーバー河畔ノ損害ハ千万馬ノ巨額ニ上レリト稱スカイ河ハボーバー河ノ支流ニシテボーバー河ハ實ニオーデル河ノ左支ナリトス是ニ於テカ洪水防禦ノ目的ヲ以テ千九百年七月三日ノ普國洪水防禦規則ノ發布ト爲リ堰堤ヲ築造シテ以テ澎湃シ來レル河水ヲ瀦留シ一ハ以テ洪水ヲ防キ一ハ以テ水力電氣ヲ得ルノ案ヲ得タリカイ河ニハマルクリッサ附近ニボーバー河ニハマウアー及ブフワルドニ築造スヘキ大堰堤即チ是ナリ

マルクリッサ堰堤ハ其高サ四十三「メートル」片麻岩層ノ上ニ半徑百二十五「メートル」ノ弧形ヲナシテ築造セラル上敷八「メートル」下敷三十七・七「メートル」之ニ依リテ貯水シ得ヘキ量千五百万立方「メートル」谿谷ノ間ニ聳ユル灰白混凝土ノ曲堤ハ宛然一城廓ノ觀アリ而シテ瀦水ノ落差ヲ利用シテ發電所ヲ設ケ殆ト竣工セリ將來マウアーノ發電所ニ連絡スヘキモノニシテカイ、ボーバーノ流谷ニハ十年ヲ出テスシテ工業ノ著シキ發達ヲ見ルニ至ルヘシ堰堤ノ工費略〻三百万馬トス

（六）マウアーノ堰堤

ボーバーノ流レ蜿延迂回シテ山谷ヲ縫ヒヒルシベルグ市ノ北十五「キロメートル」許ニシテマウアーニ至レハ片麻岩兩岸ニ突出シテ一大峽谷ヲナス此ニ築造中ノモノ即チマウアーノ大堰堤ナリ其高サ八十六「メートル」實ニマルクリッサ堰堤ノ二倍ニシテ有名ナルアイフエルノ堰堤ヲ拔クコト實ニ二十八「メートル」玆ニ五千万立方「メートル」ノ水ヲ瀦留スヘキ計畫ニシテ工費豫算八百万馬ト號ス目下岩層ヲ鑿チテ根掘工事中ニ屬ス

ブフワルド堰堤ハ最モ少ナルモノニシテ貯水量二百七十万立方「メートル」ヒルシベルグノ北ニ在リ

（七）ゲルストホーヘン水力電氣

ドナウ河ノ右支ニレヒ河アリ巴華里國アウグスト市ヲ貫ク其北八「キロメートル」ノ處ニ全長八十・八「メートル」ノ堰堤ヲ設ケテ水ヲ瀦止シ更ニ七・二四「キロメートル」ノ導水路ヲ作リ此ニ依リテ十「メートル」ノ落差ヲ得夏期八箇月間五千馬力ノ電力ヲ得ルノ計畫ナリトス但シ冬期四箇月間枯水ノ際ニハ蒸氣機關各〻千五百馬力ナルモノ二臺アリテ其不足ヲ補ヒ更ニ二十五万立方「メートル」ヲ容ルヘキ貯水池ヲ設ケテ乾期ニ備フ發電所ニハ各〻千五百馬力ノ「フランシスドッペルトルビン」五臺ヲ裝置セリ工費凡テ八百二十八万馬

（八）瑞西國ルチエルン、エンゲルベルグノ水力電氣

海拔千七百五十「メートル」ナルエンゲルベルグノ谿流ニアートト名クルモノアリ流量毎秒一立方「メートル」內外ナリト雖モ冬期ニ及ヘハ全ク枯水セルヲ以テ七万立方「メートル」ヲ容ルヘキ貯水池ヲ設ケテ之ヲ補フ而シテ之ヲ若干ノ鐵管ニ依リテオーベルマットノ發電所ニ送リ有效落差三百「メートル」ヲ得現今使用セル電力ハ三千馬力ニ過キサレトモ若シ貯水池ヲ用フルトキハ優ニ八千馬力ノ電力ヲ得ヘシ而シテエンゲルベルグルチエルン附近ノ電氣鐵道及其他ノ需用ニ應シテ電力ヲ供給ス「トルビン」ハ「ベル、ウント、コンパニー」ノ高壓式ニシテ各〻二千馬力ノモノ四臺ヲ据付ク工費略〻五百二十万法

（九）瑞西國シピーチニ於ケルカンダー水力電氣

カンダー河ハ其流量ノ變化夥シク且ツ土砂ヲ流スコト甚シ八九月ハ毎秒六立方「メートル」ノ流量ヲ得ヘシト雖モ冬期ハ二立方「メートル」以內ニ降ルコトアリ然レトモカンダー河トトウーン湖口ノ落差六十五「メートル」ニシテ其距離僅ニ〇・九「キロメートル」ニ過キサルヲ以テ十七万乃至二十万立方「メートル」ノ貯水池ヲ作リ發電所ニハ「ギラルト、トルビン」各〻九百馬力ヲ出スヲ得ヘキモノ六臺ヲ据付ク工費略〻四百八十八万五千法

（十）瑞西國アーレ河ワンゲン水力電氣

アーレ河ハベルン、ゾロトルン兩州ヲ劃スル處十「キロメートル」許ノ間ニ十・八「メートル」ノ有效落差ヲ有ス而シテ動堰ヲ設ケテ百立方「メートル」ノ水量ヲ導水溝ニ引入レアーレノ本流ニハ更ニ堰堤

ヲ作リテ水ヲ堰止メタリ導水渠長サ八千三百八十「メートル」發電所ニハ「フランシス、ドッペルトルピン」各々千五百馬力ノモノ七臺ヲ備フ

（十一）漢堡港

漢堡ハエルベ河口ヨリ上流百五「キロメートル」ノ地點ニ在リテ潮汐ノ差此ニ二「メートル」今ヲ去ル四十三年前マテハ單ニ貨物ヲ積卸スヘキ棧工事ノ貨揚場ヲ有スルニ過キサリシカ千八百六十六年以來近世式ノ築港ヲ企テ岸壁ヲ作リ起重機ヲ備ヘ倉庫上屋ヲ作リテ以テ水陸ノ連絡ニ便ニセリ千八百八十八年十月漢堡ハ獨逸ノ關稅同盟ニ加ハリ其後數次ノ擴張ヲ行ヒ現今海船ニ用フヘキ水面二百二十・七「ヘクタール」河船ノ水面九十九・八運河支流六十九・三エルベ河筋百十四・九「ヘクタール」凡テ五百五「ヘクタール」ノ水面ヲ有ス此外工事中ノモノ十三・九「ヘクタール」アリザンドトアグラスブルウクノ如キ古港ハ七乃至八「メートル」ノ水深（平均高水位）ヲ有シゼーゲルシップハンザノ如キハ八・五乃至九・五「メートル」クエルダーノ如キ新港ハ十「メートル」ノ水深ヲ有セリ海船ノ碇繫ニ用フヘキ岸壁ノ全長二十二・一「キロメートル」河船ノ岸壁三十四・〇「キロメートル」アリ倉庫ハ凡テ四十万五千平方「メートル」上屋四万千平方「メートル」定起重機ノ中ニハ百五十噸ノ揚力ヲ有スルモノアリ而シテ蒸氣起重機一・五乃至二・五噸ノモノ二百七十三臺電氣ヲ動力トセル二・五乃至三噸ノモノ二百八十五臺手力起重機一噸ノモノ百九臺アリ港內鐵道ノ延長二百二「キロメートル」其外船舶ノ修繕ノ爲ニハ許多ノ私立造船所アリテ浮船渠及乾船渠ヲ備フ貨物ノ出入一年ニ二千万噸餘世界大港ノ一タルヲ失ハス

（十二）クックスハーフェン港

クックスハーフェンハ漢堡ニ屬ス北海ノ漁港トシテ古來有名ナルモノニシテ又避難港トシテ重要ノ位置ヲ占ム千八百九十年漁港及新港築造ノ議ヲ決シ千九百二年ニ至リテ成ル水深九「メートル」干滿ノ差三「メートル」此工費實ニ七百八十六万馬トス

（十三）ブレーメン港

エーザー河ニ跨リテブレーメン港アリ漢堡、ステチント相竝ヒテ三自由港ノ一ヲ爲ス其港域無慮百「ヘクタール」ノ面積ヲ有ス千八百八十五年以來築港工事ニ著手ス第一港區ハ水深六・八「メートル」ナリシカ後之ヲ七・八「メートル」トセリ岸壁ハ水面上五「メートル」アリ此ニ浮起重機大ナルハ四十噸小ナルハ十噸ノ揚力ヲ備フルモノアリ岸壁上ノ起重機ハ五十氣壓ノ水ヲ用ヒテ運轉ス其倉庫ノ防火設備ハ頗ル完備セルモノナリ此工費三千二百万馬トス第二港區ハ千九百六年ニ成レリ水深高水以下十・五「メートル」岸壁ノ高サハ凡テ十五・三「メートル」アリ其設備未タ完成セサルモノアリ千九百七年度ノ報告ニ依レハ貨物ノ總量百七十七万噸船舶ノ吃水ハ四乃至五「メートル」ノモノ最モ多ク六「メートル」以上ノモノハ極テ少シ十三万九千平方「メートル」ノ倉庫三万四千平方「メートル」ノ上屋百二十八臺ノ起重機ヲ有ス

（十四）ブレーメルハーフェン港

ブレーメン港民ハ銳意水陸ノ連絡ヲ圖リエーザーノ改修ヲ企テ港內ノ設備ニ全力ヲ注ケリト雖モ天澤民ニ沾セサルカ充分ナル水深ヲ水路ニ得ル能ハス千八百二十七年卓眼ノブレーメン市長シミッド氏ハ此ニ見ル所アリ遂ニエーザー河口ニ地ヲトシテ之ヲ普國ヨリ買入レ築港ノ設備ヲ爲セリブレーメルハーフェン是ナリ四ノ港區及二万噸ノ「カイザー」乾船渠ヲ有スレトモ時勢ノ進步ト生存競爭ノ劇甚トハ到底此ヲ以テ滿足スルヲ容サス此小自由港ヲシテ奮然起テ十五年間ノ繼續事業トシテ四千五百万馬ノ大築港ヲ計畫セシムルニ至レリ此カタメニハ新ニ五十七「ヘクタール」ノ地ヲ普國ヨリ買入レ工事ニ著手シテ既ニ三年ニ近ク若シ既定ノ期限內ニ完成セサルトキハ其土地ヲ還付スヘキモノトス新港區ノ水深十「メートル」乾船渠モ其長サト幅トヲ增加スヘキモノトス

（十五）ステチン港

ステチン港ハオーデル河畔ニ在リテ東海（オストゼー）ヨリ略々七十「キロメートル」ノ南方ニ在リ其修築ヲ述フルニ先チ其河海ノ關係ヲ略述セサルヘカラスオーデル河ハ南流シテポンメルン州ニ入リシェツト市ヨリステチンニ至ルマテ平野ノ間ヲ貫流シ氾濫區域一万五千「ヘクタール」ヲ超ユステチンヨリ下十二「キロメートル」ニシテオーデルハキヨニグスファールトノ掘割ニ依リテダムナンシュ河ニ連リダムナンシュ河ハパッペンワッサー湖ニ注キパッペンワッサー湖ハポムメルン潟ニ連リポムメルン潟ハ迂回セルシヰネ、ベーネ、デーベナウノ三河ニ依リテ東海ニ連絡ス而シテシヰネ河ヲ改修シテステチント外洋トノ航路ヲ作ルノ議ハ實ニ千八百二十年ノ頃ニ兆セリト雖モ河口ノ東西兩突堤長サ二千四百十七「メートル」ノ完成セシハ千八百二十九年ニ在リ工費百二十万「ターレル」此カタメ始メ水深四「メートル」ニ過キサリシモノカ漸次其深サヲ增シ現今ハ八「メートル」ヲ得ルニ至レリ而シテシヰネミュンデ附近ノ護岸工事ハ其後數年ノ間ニ成レリ

然リ而シテ上ニハオーデル河ノ舟楫アリ下ハシヰネミュンデノ水深著シク增加セリト雖モ尙ホ湖中ノ水深千八百四十年ノ頃僅ニ四「メートル」ニ過キサリシヲ以テ水運未タ著シキ發展ヲ見ル能ハサリキ千八百四十一年オーデル河トダムナンシュ河トヲ連絡セル所謂キヨニグスファールトノ掘割成リ千八百七十五年シヰネミュンデヨリポンメルン潟ニ至ル掘割工事ヲ起シ同八十年ニ至リテ所謂有名ナルカイザーファールトノ掘割是ナリ長サ九・三「キロメートル」工費三百五十万馬千八百九十二年ヨリ九十六年ニ亙リテシヰネミュンデ附近シヰネ河ノ改修ニ四百七十万馬ゴッラウ以下オーデル河ノ改修ニ百万馬ヲ費シ更ニポンメルン潟ヲ通シテシヰネミュンデヨリステチンニ至ル航路ノ改修ニ略々六百十五万馬ヲ投シテ水深七「メートル」ヲ得タリ而シテステチン港ノ負擔ハ四十万馬ニ過キス此航路ニ用ヒタル燈臺類ハ航路ノ標識トシテ最モ有名ナルモノナリステチン新港ノ計畫ハ千八百九十四年ニ起リ千八百九十八年九月竣工セリ獨逸皇帝親臨シテ開港ノ式ヲ擧ケ給ヒ「吾人ノ將來ハ水上ニ在リ」ト宣ヒシハ實ニ此時ニ在リステチンノ自由港域ハ凡テ六十・八「ヘクタール」中水面二十二・四「ヘクタール」ヲ占ム而シテ港區ハ平均水位ノ時七「メートル」ノ深サヲ有ス工費千三百万馬中河岸ノ岸壁等二十一「キロメートル」軌道三十七「キロメートル」倉庫二千百万平方「メートル」上屋諸建物三千七百万平方「メートル」アリ而シテ今ハ既ニ第二期ノ岸壁工事ニ著手シツヽアリ自由港出入ノ貨物千九百四年ニ於テ既ニ四百万噸ニ達セリブルカン造船所ハ有名ナルモノナリ

（十六）ヂイスブルグ、ルールオルト港

ライン河ノ右支ニルール河アリ第十一世紀ノ頃ヨリ早ク舟楫ノ便ヲ以テ顯ル第十八世紀ノ終ニ數多ノ水閘ヲ設ケテ沿岸ノ交通益々便益ヲ加ヘ千八百六十年ニハ早ク八十六万噸餘ノ石炭ヲ運送スルニ至レリ然ルニ其後鐵道ノ發達ハ一時此隆盛ヲ極メシ舟運ヲ頓挫セシメタリルール河口ニ在ル都會ハ即チルールオルトナリ第十八世紀ノ半ニハルール河ノ右岸ニ小港ヲ有セリ第十九世紀ノ初ヨリ半ニ亙リテ許多ノ港區ヲ設ケ千八百九十年ニハ更ニ三ノ港區ヲ見ルニ至リ岸壁ノ延長七・五「キロメートル」水面五十一・三「ヘクタール」倉庫七十一「ヘクタール」道路鐵道等ニ四十一・七「ヘクタール」ヲ有スルニ至レリ其貨物取扱高千九百三年ニハ既ニ八百三十万噸ニ達セリヂヰスブルグハ獨逸ノ古都ニシテルールオルトノ對岸ニ在リ十二世紀頃ヨリ早ク商業交通ヲ以テ聞ユ其船舶ハ南ハライン河ヲ溯リテストラスブルグニ達シ北ハ海ヲ超エテ遂ニ英國ニ航行セリ然ルニ千二百七十年ライン河ハ其水路ヲ變シテヂヰスブルグハ河岸二「キロメートル」ノ外ニ放出セラレ貨物ノ積卸ニ不便ヲ感スルニ至レリ其後ヂヰスブルグハルールオルトト輪翼ノ關係ヲ以テ進ミ千八百九十三年ニハ運河ヲ開鑿シテヂヰスブルグヲライン河ニ連ネ港區岸壁ノ全長四「キロメートル」ヲ得千九百五年ニハ貨物六百二十五万噸ヲ數フルニ至レリ

斯クシテヂヰスブルグトルールオルトトハエストファリヤノ工業地ヲ擁シテ貨物集散ノ巷ト爲レリ其貨物ノ主ナルモノハ即チ石炭、鐵、穀物、木材等トス然ルニ本世紀ノ始ニ至リテ「クルップ」、「グットホフヌンクスヒュッテ」等ノ大會社ハ各自築港ノ計畫ヲ爲スノ氣運ニ向ヒヂヰスブルグ、ルールオルトノ發達ト相容レサルモノアリキ是ニ於テ兩港ノ連合成リ新ニ鐵道ノ連絡ヲ圖リテ以テ自衞ノ道ヲ講シタリ是レ實ニ千九百五年十月一日トス是ヨリヂヰスブルグ、ルールオルトト稱シ益々港區ヲ擴張シ岸壁ノ築設、水陸ノ連絡、倉庫ノ設備、或ハ石炭積込ノ裝置、橋梁ノ架換ヲ行ヒ現今港區ノ全長十四、五「キロメートル」貨揚場二十三・三「キロメートル」軌道ノ延長百四十「キロメートル」水面ノ廣サ百二十八「ヘクタール」倉庫百三十「ヘクタール」港域無慮四百三十四「ヘクタール」ヲ見ルニ至レリ殊ニ石炭積込機ハ最モ有名ナルモノニシテ新港ノ電力ヲ用フルモノヽ如キハ此電力ニ依リテ方向ノ轉換ヲ爲スノ外ハ凡テ自動的ニ石炭ノ運搬放下ヲ爲シ一日一臺能ク數千噸ノ石炭ヲ積込ムコトヲ得ヘシ

此擴張工事ニ費セシモノ千九百三年ヨリ同八年マテ二千百万馬トス千九百六年ノ調査ニ依レハライン河ノ交通三千八百万噸中ヂヰスブルグルールオルトニテ取扱ヘルモノ千三百六十四万噸ヲ超ユ其中石炭ハ八百三十三万噸ヲ占メタリ

（十七）エムデン港

エムス河ノ河口ニエムデン港アリ漢堡亞米利加線船舶ノ碇繫セラルヽ所ニシテ岸壁ノ長サ二百「メートル」、倉庫ノ面積四千二百平方「メートル」外ニ石炭ノ貯藏場五千平方「メートル」ヲ有ス千九百一年普國政府ハ八百三十一万馬ヲ支出シテ築港設備ヲ爲シ向後十箇年間漢堡亞米利加線船舶ノ使用ヲ許セリ四十噸ノ起重機五百万「リートル」ヲ容ルヘキ油槽、鑛石、石炭等ノ荷卸ニ用フル荷積橋ノ如キハ其著名ナルモノナリ

（十八）ブレスラウ港

オーデル河ノ水運ニ依リテブレスラウヲ經由セル貨物ハ千八百九十五年ニ於テ一タヒ二百十五万噸ヲ超エ他ノ河港ヂュッセルドルフ、キヨロン、フランクフルト・アムマイン及マグデブルグヲ凌駕セリ初メ千八百八十六年七月ノ法律ニ依リオーデル河ト上シプレー河ヲ繫キテ舟運ヲ便ニシ更ニブレスラウ「マーゼル」間ノ航路改修ノ計畫ヲ定ム千八百九十一年四月オーデル、シプレー間ノ新運河先ツ成ル而シテ許多ノ曲折ノ後ブレスラウ市ハ築港及洪水防禦ニ附帶セル幾多ノ工事ヲ計畫シ千八百九十七年ノ末起工セリ工費豫算實ニ五百五十万馬港區岸壁ノ高サ凡テ九・五「メートル」平均低水位ニ於テ實ニ三「メートル」ノ水深ヲ有ス千九百四年竣工ス岸壁ノ延長七百六十「メートル」荷揚場千五百六十「メートル」倉庫凡テ九千五百七十平方「メートル」軌道延長七千七百「メートル」トス

（十九）マーゼル港

オーデル河口ヨリ略七百「キロメートル」シレジエンノ山中ニマーゼル港アルハ人ヲシテ先ツ一驚ヲ喫セシメ其此ニ取扱ハルヽ貨物年額二百万噸ナリト云フニ至ラハ誰カ普國水運ノ繁盛ニ驚倒セサランヤ長サ七百五十「メートル」幅六十「メートル」ノ港區三箇ヲオーデル河ノ右岸ニ築造セルモノニシテ工費略四百万馬未タ完成ノ域ニ達セスト雖モ其既成ノ港區ニハ既ニ十二臺ノ起重機ト六臺ノ石炭積込機トヲ裝置シテ盛ニ運轉セリ貨物ノ九十「プロセント」ハオーバーシレジエンヨリ來ル石炭ナリトス

○留學生出發　文部省外國留學生東京帝國大學理科大學助教授理學博士寺田寅彥、同京都帝國大學文科大學助教授坂口昂、同大阪高等工業學校教授加藤完一及同森外三郎ハ孰モ本月二十七日出發セリ（文部省）

○產業

○麥類黑穗病豫防試驗成績　明治四十年地方農事試驗場ニ命令シテ麥類黑穗病豫防試驗ヲ執行セシメタル成績ニ關シ各試驗場ヨリ提出セル報告摘要左ノ如シ（農商務省）

道府縣別	種類	試驗區別	一段歩ニ對スル被害穗數		
			稞黑穗	堅黑穗	腥黑穗
北海道廳試驗場	小麥	豫	一〇四	—	二八〇
		無	二三六	—	二九八
	大麥	〃	三六	—	—
		〃	四二	一、一四二	—
	稞麥	〃	三六六	二四	—
		〃	五、七八六	四、九四八	—
同上川試驗場	小麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—
	大麥	〃	—	—	—
		〃	五七〇	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	三〇	—	—
同十勝試驗場	大麥	〃	—	二四	—
		〃	—	五六	—
東京府試驗場	大麥	〃	—	一、四四三	—
		〃	—	二、九八七	—
	小麥	〃	—	七七	—
		〃	—	一、二六三	—
神奈川縣試驗場	大麥	〃	—	四九	—
		〃	—	三、五九五	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	—	一、五三〇	—
兵庫縣試驗場	大麥	〃	—	二三〇	—
		〃	—	三三〇	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—
	稞麥	〃	—	—	七五
		〃	—	—	一〇
長崎縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	七七五	一六五	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	一、四四〇	一、七一〇	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	四、七八五	—	—
新潟縣試驗場	大麥	〃	二一	三二	—
		〃	三八	七七〇	—
	小麥	〃	九六	—	—
		〃	二、九二八	—	—
各區共鼠害竝ニ僅少ノ雪害アリキ」小麥無豫防區ニ稈黑穗五本發生ス					
埼玉縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	六、九九〇	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	三九〇	—	—
群馬縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	七五四	三三	—
	小麥	〃	八八	—	—
		〃	二一六	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	三五	五三	—
斑葉病ノ被害アリ、大麥無豫防區一一八、稞麥同四二三四					
茨城縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	四、三四八	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	一六、〇八〇	—	—
栃木縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	三、二六二	八三〇	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	三三〇	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一四、〇一三	—	—
奈良縣試驗場	稞麥	〃	—	—	—
		〃	七〇〇	—	—
三重縣試驗場	小麥	〃	—	—	—
		〃	三、一二〇	—	二、〇二〇
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一三、五五一	—	—
稞麥ニ斑葉病發生ス、豫輕微、無劇甚ナリ					
愛知縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	九六二	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	一四八	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	三六四	—	—
靜岡縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	三、一八七	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	七九二	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一、四六八	二、四一五	—
稞麥ニ斑葉病發生ス、豫ナシ、無一、〇一八					
山梨縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—
滋賀縣試驗場	稞麥	〃	—	—	—
		〃	二五〇	—	—
岐阜縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	三、五三一	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	七七	—	—
	稞麥	〃	一四五	—	—
		〃	二、二七二	—	—
長野縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	三二二	—	—
	小麥	〃	一七五	—	六、〇二五
		〃	二九〇	—	四四、〇八〇
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—
宮城縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	六、三五〇	一六、一八六	—
福島縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	三六〇	九三〇	—
	小麥	〃	六二	—	—
		〃	二、二二六	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一、七三〇	—	—
巖手縣試驗場	大麥	〃	—	七六	—
		〃	一八八	二一、四八四	—
	小麥	〃	二四	—	—
		〃	七六	—	—
青森縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	—	五五九	—
	黑麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—

第7725号 本文

山形縣試驗場	大麥	〃	—	一一四	—
		〃	八	九五二	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—
秋田縣試驗場	大麥	〃	—	三六	—
		〃	一四二	三、〇五五	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	一三二	—	—
	稞麥	〃	—	九八	—
		〃	四	一、二〇三	—
石川縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
	半芒	〃	一三、三三三	四九	—
	大麥	〃	—	—	—
	柳穗	〃	一、四〇〇	一三五	—

大麥柳穗ニ斑葉病發生ス、無一三〇

富山縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	三八七	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	六二四	—	—

大麥無豫防區ニ斑葉病二、三四二

鳥取縣試驗場	大麥	〃	三六八	—	—
		〃	九、六八八	八〇	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	—
	稞麥	〃	—	二六八	—
		〃	—	四、五七三	—

稞麥ニ斑葉病發生ス、豫二〇、無七六

島根縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	一〇、〇二〇	一、〇八三	—
岡山縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	五、四七九	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	七、五二八	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一、四二八	—	—

斑葉病發生ス、稞無七五二

廣島縣試驗場	大麥	〃	六三	—	—
		〃	七四	一八	—
	小麥	〃	三三	—	—
		〃	一、八七二	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一、五〇二	九八	—
山口縣試驗場	大麥	〃	三一	—	—
		〃	五二六	—	—
	小麥	〃	四	—	—
		〃	二八	—	一八二
	稞麥	〃	二三	—	—
		〃	五二八	—	—
德島縣試驗場	小麥	〃	二一	—	—
		〃	四四七	—	—
	稞麥	〃	四九六	—	—
		〃	一〇、八五四	—	—
香川縣試驗場	稞麥	〃	一六	—	—
		〃	四、七八九	—	—

斑葉病、豫六、無六、一七八

愛媛縣試驗場	小麥	〃	—	—	—
		〃	三、七六三	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	五、八八〇	—	—

稞麥無豫防區ニ斑葉病一三六

高知縣試驗場	小麥	〃	—	—	—
		〃	三四	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一、五八三	一、二七六	—

小麥區ニ於テ「バッタ」ノ被害、豫三六一、無二一四

福岡縣試驗場	小麥	〃	—	—	—
		〃	二一三	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一六二	—	—

小麥豫、無共ニ赤澁病發生ス全部被害

佐賀縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	八、〇六〇	—	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	三四五	—	二、三六〇
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	一三、五三五	六八〇	—
宮崎縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	一	四、四五二	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	—	—	二、九一九
	稞麥	〃	—	一	—
		〃	四九	二、二〇九	—
鹿兒島縣試驗場	大麥	〃	—	—	—
		〃	二、〇六六	二一〇	—
	小麥	〃	—	—	—
		〃	三六六	—	—
	稞麥	〃	—	—	—
		〃	二、五〇〇	六六	—

（備考）表中「—」ハ黑穗發生セサルモノナリ「試驗區別ノ部「豫」ハ麥奴豫防法ヲ施シタルモノニシテ「無」ハ之ヲ施サヽルモノナリ

○純金相場　本月二十三日ヨリ二十七日ニ至ル各日純金相場百匁ニ付キ五百圓ナリ（日本銀行ノ報告ニ據ル）

○磅相場　本月二十二日ヨリ二十七日ニ至ル各日磅相場一磅ニ付キ九圓七十七錢九毛ナリ（横濱正金銀行ノ報告ニ據ル）

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
德島試登錄第八十九號	麻植郡桑川村地內	金、銀、銅	坪 四三〇、六二〇	東京市京橋區宗十郎町 田中伊三郎	三、一五	試掘鑛區減區願許可
德島試登錄第九十六號	同郡桑川村、東山村、西尾村地內	銀、銅	五九〇、〇九九	同上	三、一五	同
三重試登錄第九十一號	員辨郡立田村地內	滿俺	四五、三三六	大阪市西區西九條下ノ町 藤井藤吉	三、一六	試掘願許可
岡山試登錄第三百九十號	苫田郡富村地內	銅	二六二、三七四	岡山縣苫田郡富村 小倉吾六	三、一六	同
京都試登錄第百七十九號	加佐郡與保呂村、池內村地內	金、銀	六三五、四七〇	大阪市西區江戸堀北通一丁目 森作太郎	三、一六	同
島根試登錄第百八十一號	那賀郡岡見村地內	金、銀、銅	六〇〇、一八二	大阪府西成郡神津村 村山令藏	三、一八	同
福井試登錄第九十八號	坂井郡長畝村地內	銅	七三、五四九	東京市芝區芝新錢座町 內藤友衞外一人	三、一八	同
兵庫試登錄第百八十一號	養父郡西谷村地內	銀、銅	八二、九六三	奈良縣北葛城郡盤城村 西川寅太郎	三、一八	同
高知試登錄第百二十號	幡多郡東山村地內	銅	一七六、六七六	愛媛縣西宇和郡川之石村 宇都宮壯十郎外一人	三、二〇	同
京都試登錄第百八十號	南桑田郡稗田野村地內	金、銀、銅、重石	五八、一四七	京都府南桑田郡稗田野村 大石泰治郎	三、二〇	同
北見試登錄第五十三號	枝幸郡歌登村地內	石炭	九九四、〇〇〇	北海道北見國枝幸郡枝幸村字幸町 伊勢村伊勢治郎	三、一九	同

○通運

○小包郵便物數　內地各局所ニ於ケル昨四十一年九月中小包郵便物引受數ハ百五十七万五千四百七十七箇ニシテ之ヲ前年同月分ニ比スレハ二十二万二千三百二十箇卽チ一割六分四厘ヲ增セリ其詳細左ノ如シ（△印ハ減）（遞信省）

種別		四十一年九月分	前年同月分	前年同月分比較增減	同上割合
普通	有料	七八九、二二四	六六二、四二三	一二六、八〇一	割 一・九一
	無料	一一六、八四三	一〇〇、〇六六	一六、七七七	一・六七
	計	九〇六、〇六七	七六二、四八九	一四三、五七八	一・八八
書留	有料	四六五、六八九	四〇九、六八五	五六、〇〇四	一・三七
	無料	四六、五四一	四三、九九五	二、五四六	〇・五八
	計	五一二、二三〇	四五三、六八〇	五八、五五〇	一・二九

價格表記（代金引換ノモノヲ除ク）	有料	箇數	一、三二五	一、〇六六	二五九	二・四三
		金額	七八、七四一・三六五	八二、六七四・四六一	△三、九三三・〇九六	△〇・四八
	無料	箇數	三	一	二	—
		金額	七、九六一・四三〇	〇・五〇〇	七、九六〇・九三〇	—
代金引換（有料）		箇數	一五五、八五二	一三五、九二一	一九、九三一	一・四七
		金額	一、四九六、四四七・三六五	一、二八八、八九二・四八一	二〇七、五五四・八八四	一・六一
總計（箇數）	有料		一、四一二、〇九〇	一、二〇九、〇九五	二〇二、九九五	一・六八
	無料		一六三、三八七	一四四、〇六二	一九、三二五	一・三四
	計		一、五七五、四七七	一、三五三、一五七	二二二、三二〇	一・六四

○船燈類請賣認可　遞信省ニ於テ船燈信號器救命具取締規則ニ依リ請賣ヲ認可セシ者左ノ如シ（遞信省）

品名種類	製造人住所氏名
甲種舷燈第一號、乙種舷燈第一號、乙種檣燈第一號、乙種兩色燈、船尾燈第一號、碇泊燈第一號	大阪市西區江ノ子島西之町六番地ノ一 白濱與吉
甲種舷燈第二號、乙種舷燈第一號、甲種檣燈第二號、甲種檣燈第三號、乙種檣燈第一號、乙種兩色燈第一號、船尾燈第一號、第二號、碇泊燈第一號乃至第五號	同市同區立賣堀北通二丁目七十一番屋敷 石原善平
碇泊燈第一號第二號第三號	同市北區安治川通南二丁目五十三番地 中村悅二郎
機械製霧中號角	神戸市兵庫羽坂通二丁目六十三番屋敷 大久保仲三郎

四十二年三月二十三日證書交付、證書番號五六九、請賣人大阪市西區三軒家上ノ町二百七十八番地大谷增太郎

○船燈類製造人住所變更　救命具製造人大阪市西區九條町番外千九百九番屋敷納庄廣次ハ今般兵庫縣加古郡神野村ノ內神野村千二百六十七番地ヘ其住所ヲ移轉セリ（遞信省）

○衞生

○講習證書授與　傳染病研究所ニ於テ本月二十六日第二十七回講習證書授與式ヲ擧行セリ其次第左ノ如シ（內務省）

當日午後一時來賓及職員講習生一同著席北里所長講習生ニ證書ヲ授與シ了リテ告クル所アリ次テ內務大臣ノ訓辭（內務技師野田忠廣代讀）、講習生總代ノ答辭等アリ同二時全ク式ヲ畢レリ其講習生ノ氏名（イロハ順）左ノ如シ

族籍	氏名
長崎縣平民	稻松可志太
千葉縣平民	今關芳藏
沖繩縣平民	渡口精鴻
靜岡縣平民	加藤喜作
青森縣平民	兼田一郎
群馬縣平民	金澤易次郎
大分縣平民	河野繁龜
和歌山縣平民	高橋理
山梨縣平民	田中富平
群馬縣士族	武光秀次
茨城縣平民	爲我井榮三郎
愛知縣平民	野澤泰平
愛知縣平民	山田義雄
愛知縣平民	安田秀正
神奈川縣士族	蒔苗東馬
東京府士族	馬島廣
德島縣平民	古川武平
長野縣平民	小松茂樹
秋田縣平民	今野金市郎
福岡縣平民	足立純一郎
埼玉縣平民	新井勝五郎
佐賀縣士族	齋藤正雄
長野縣平民	佐藤精一
東京府平民	柴久作
大分縣平民	繁友清次郎
滋賀縣平民	森健一
福岡縣平民	進定太郎
埼玉縣平民	鈴木兼竹

○雜事

○管長認可　本門宗管長齋藤日厚明三十一日滿期ニ付キ來ル四月ヨリ西山本門寺貫首吉山日明就職ノ儀願出ニ依リ本月二十七日認可セリ（內務省）

○感化法施行　內務大臣ハ感化法第十四條ニ依リ來ル四月一日ヨリ巖手縣ニ感化法ヲ施行スルコトニ定メタリ（內務省）

○外國渡來旅客數　去月中渡來外國旅客國別比較左ノ如シ（大藏省）

國籍	四十二年二月 人	四十一年二月 人
英吉利	一一三	二一七
米國	一二七	一二七
獨逸	六六	二九
佛蘭西	一三	二一
露西亞	六二	七〇
清國	二八四	三三八
韓國	一一七	五八
伊太利	三	四
濠地利	一	三
和蘭	—	五
印度	五	一
白耳義	二	—
西班牙	四	二
諾威	四	四
瑞典	二	—
瑞西	二	一
葡萄牙	一	三
丁抹	一	—
土耳其	一	二
希臘	—	三
埃及	—	二
英領加奈陀	一	一
墨西其	一	—
波斯	—	一
計	八一〇	八九二
比較減	八二	—

○地方行政

○村成績及功勞者等效績表彰　茨城縣ニ於テ本年一月四日卽チ政始ヲ以テ町村ノ治績佳良ナルモノ、教育功勞者、神職功勞者及實業功勞者ニシテ表彰スヘキ者ヲ公ニシ尋テ去月十一日卽チ紀元節ヲ以テ警察效績者ノ表彰スヘキ者ヲ公ニシ同二十七日午後一時ヨリ縣會議事堂ニ於テ之カ表彰式ヲ擧行セリ其表彰シタル者左ノ如シ（茨城縣）

模範村

那珂郡野口村

一村輯睦勤儉ノ風ニ富ミ殊ニ公職者篤志者等協同一致シテ村治ノ發達ヲ圖リ教化ニ在リテハ小學校及農業補習學校ノ整備青年會ノ活動父兄懇話會ノ擴張ノ如キ勸業ニ在リテハ馬耕ノ普及蠶絲業ノ獎勵煙草栽培ノ改良其ノ他農事ニ關スル諸般ノ改良ノ如キ其ノ施設頗ル見ルヘク且ツ衞生ノ普及基本財產ノ蓄積財務ノ整頓ニ努ムル等克ク自治ノ實ヲ擧ケ其ノ成績洵ニ佳良ナリ仍テ此ノ狀ヲ授與シ之ヲ表彰ス

結城郡西豐田村

一村輯睦勤儉ノ風ニ富ミ殊ニ公職者篤志者等協同一致シテ村治ノ發達ヲ圖リ教化ニ在リテハ小學校ノ整備學事ノ獎勵風紀ノ振肅ノ如キ勸業ニ在リテハ蠶絲業ノ獎勵副業ノ普及排水渠ノ造設其ノ他農事ニ關スル諸般ノ改良ノ如キ其ノ施設頗ル見ルヘク且ツ衞生ノ普及水防ノ完成基本財產ノ蓄積財務ノ整頓ニ努ムル等克ク自治ノ實ヲ擧ケ其ノ成績洵ニ佳良ナリ仍テ此ノ狀ヲ授與シ之ヲ表彰ス

教育功勞者

那珂郡小瀨農學校長兼教諭　渡邊壽樹

夙ニ小學教育ニ從事スルコト數年明治三十七年其ノ村農業補習學校ノ組織ヲ農學校ニ變更スルヤ更ニ其ノ校長兼教諭ニ任セラレ以テ今日ニ至リ常ニ恪勤勵精職務ニ盡瘁シ教授ニ管理ニ訓練ニ著々其ノ實績ヲ擧ケ其ノ他試作ノ實施圖書閱覽所ノ設置天氣豫報ノ實用等其ノ施設頗ル見ルヘク當業者亦範ヲ本校ニ取リ農業教育ノ效果地方ニ擴充ス其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

東茨城郡小川尋常高等小學校訓導兼校長　石川午次郎

小學教育ニ從事スルコト實ニ十有六年其ノ校ニ在ルコト亦十有三年常ニ恪勤勵精其ノ職務ニ盡瘁シ教授ニ管理ニ訓練ニ著々其ノ實績ヲ擧ケ殊ニ自ラ修養ニ勵ミ實踐躬行以テ職員及兒童ノ模範トナリ薰陶能ク行ハレ德望一鄕ニ洽ネシ其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

久慈郡天下野尋常高等小學校訓導兼校長　木村菊次郎

小學教育ニ從事スルコト實ニ二十有五年其ノ校ニ在ルコト亦九年常ニ恪勤勵精其ノ職務ニ盡瘁シ教

第7725号 本文

授ニ管理ニ訓練ニ著ク其ノ實績ヲ擧ケ殊ニ自ラ修養ニ勵ミ實踐躬行以テ職員及兒童ヲ率井其ノ他學校園ノ設備母姊會ノ施設等ニ努メ德化學校ノ內外ニ及フ其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

稻敷郡龍ケ崎町外三箇村組合高等小學校訓導兼校長　寺田　百二郎

小學教育ニ從事スルコト實ニ二十有八年其ノ校ニ在ルコト亦十有六年常ニ恪勤勵精其ノ職務ニ盡瘁シ教授ニ管理ニ訓練ニ著ク其實績ヲ擧ケ殊ニ自ラ修養ニ勵ミ實踐躬行ヲ以テ職員及兒童ヲ率井其ノ他父兄懇話會及卒業生ノ補修教育等ニ努メ德化學校ノ內外ニ及フ其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

新治郡田伏尋常小學校訓導兼校長　山口　貞次郎

小學教育ニ從事スルコト實ニ二十年其ノ校ニ在ルコト亦十有四年常ニ恪勤勵精其ノ職務ニ盡瘁シ教授ニ管理ニ訓練ニ著ク其ノ實績ヲ擧ケ殊ニ自ラ修養ニ勵ミ實踐躬行以テ一校ヲ率井薰陶ノ效顯ル見ルヘク且ツ學校園學校林ヲ設ケテ學校ノ設備ヲ改良シ圖書館ヲ立テ青年會ヲ起シテ青年風習ノ矯正ニ努ムル等其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

神職功勞者

久慈郡山田村村社稻荷神社社掌　豐田　幸延

夙ニ敬神ノ念厚ク明治五年初メテ神職トナリ爾來禮ヲ修メ儀ヲ正シ敬虔恪勤克ク其ノ職ニ盡シ且ツ久慈郡祠官祠掌監督皇典講究分所理事本縣神職督務所理事等ニ擧ケラレテ其ノ實績ヲ擧ケ加之教育產業等ノ公共事業ニ貢獻シ現ニ太田町農會長ノ職ニ在リテ農事ノ改良ニ努ムル等職務ノ內外ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

筑波郡上郷村鄉社別雷神社社司　岡田　俊男

夙ニ敬神ノ念厚ク明治六年初メテ神職トナリ爾來禮ヲ修メ儀ヲ正シ敬虔恪勤克ク其ノ職ニ盡シ且ツ筑波眞壁兩郡祠官祠掌監督本縣神職取締本所長皇典講究分所理事本縣神職督務所理事等ニ擧ケラレテ其ノ實績ヲ擧ケ加之教育產業等ノ公共事業ニ貢獻シ殊ニ神社ニ於テ農產物共進會ヲ開キ農業ノ發達ヲ促ス等職務ノ內外ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

實業功勞者

東茨城郡澤山村　所　寅之介

夙ニ公職ニ擧ケラレ學事聯合會議員衞生委員村會議員村長村農會長郡農會評議員同幹事等ニ歷選シ現ニ郡農會技術員ノ職ニ在リ常ニ地方自治ノ發達ヲ圖リ最モ心ヲ農事ノ改良風紀ノ振肅ニ注キ曾テ青年夜學校ヲ起シテ青年ノ風習ヲ改善シ農事硏究會實業補習學會ヲ開キテ農事ノ教育ヲ獎勵シ村內申合規約ヲ設ケテ勤儉ノ美風ヲ興シ或ハ牛馬耕緬羊飼育及二毛作ヲ勸メ桑園栽培堆積肥料製造ヲ促シ稚蠶共同飼育組合ヲ組織シ其ノ他教育ニ衞生ニ其ノ他ノ施設ニ勵精シ又郡農會ノ劃策ニ努メタルカ如キ其ノ事業頗ル見ルヘク三十八年稍閑散ノ地ニ就キタルモ尙其ノ素志ヲ確持シ熱心村ト郡トノ爲ニ斡旋スル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

西茨城郡七會村　片岡　善兵衞

夙ニ鄉黨ニ聲望アリ社寺總代學務委員衞生委員村會議員等ノ職ヲ勤メ殊ニ明治二十三年區長ニ擧ケラレ任滿ルモ數回當選シ專ラ公益ノ增進ヲ圖リ曾テ村社鹿島神社ノ維持資產ナキヲ憂ヘテ多額ノ資產ヲ造成シ或ハ林業ノ有益ナルヲ唱ヘテ村民ト共ニ國有原野二百五十餘町步ニ部分林ヲ設定シ更ニ植林組合ヲ設ケテ勵精之カ經營ニ努メ又凶歉ニ際シ率先私財ヲ投シ里人ヲ勸誘シテ里道ノ改修ヲ企テ以テ交通ノ便益ヲ增シ窮民ノ饑餓ヲ免カレシメ其ノ他稻苗代移植期ノ遲ルヽ弊習ヲ打破シ又肥料資金ナキモノニ無利息貸與ヲ爲シ若ハ金穀ヲ捐テヽ窮民ヲ賑ハス等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

那珂郡額田村　鈴木　忠太郎

夙ニ農事ノ改良ニ志シ銳意之カ實行ヲ圖リ明治二十二年地方ニ率先シテ試作地ヲ設ケ以テ模範耕作ヲ行ヒ尋テ郡農會ノ囑託ヲ受ケテ郡內各地ノ試作ニ從事シ三十三年縣農會評議員ニ擧ケラレテ盡力スル所アリ三十五年村農會事務員ニ選任セラレテ孜々鞅掌其ノ實績ヲ擧ケ三十六年同志ト謀リ報德會ヲ組織シテ風紀ノ振肅ニ努メ三十七年又同志ト共ニ購買販賣信用組合ヲ設立シテ其ノ事務員トナリ拮据經營ニ其ノ事業大ニ振ヒ縣下ノ模範組合ト稱セラルヽニ至ラシム其ノ他常ニ懇切農事ノ指導ニ從フ等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

行方郡麻生町　三好　琢磨

少壯麻生藩吏トシテ聲望アリ明治ノ初メ藩士祿ヲ失ヒ生業ノ途ニ迷フニ當リ建議シテ農桑獎勵ノ法ヲ實行セシメ廢藩置縣ノ後或ハ郡吏トナリ或ハ縣會議員トナリ最モ心ヲ殖產興業ニ注キ明治十五年耕農開墾社衰運ニ陷リ殆ント救フヘカラサルニ至ルヤ推サレテ社長トナリ經營慘憺幾多ノ艱難ニ耐ヘ十四年ヲ費シテ遂ニ五百五十餘町步ヲ開拓シ以テ社業ヲ完成セシメ爾來町農會長郡農會副會長等ニ選マレ專ラ農事ノ改良ニ勵精シテ其ノ實績ヲ擧ケ其ノ他常ニ教育衞生等ノ普及ニ貢獻シ又ハ私有地二万餘坪ヲ公園トナシ私財ヲ抛テ之ヲ經營シタル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

稻敷郡生板村　高山　精一

夙ニ農蠶業ノ改良ニ志シ熱心其ノ硏究ニ從事シ屢々各地ヲ遍歷シテ斯業ノ視察ヲ遂ケ其ノ得ル所ハ之ヲ實地ニ應用シ曾テ勸業見本園ヲ設ケテ種苗種子ノ改良ニ努メ又桑苗園ヲ設ケテ之カ普及ヲ圖リ或ハ蠶絲改良館ヲ立テヽ蠶絲業ノ傳習及蠶種ノ試驗ニ從事シ苦心經營斯業ニ貢獻セシコト少カラス其ノ他農產物品評會及農事獎勵會ヲ開キ又ハ水稻ノ良種ヲ配付シテ之ヲ縣下ニ普及セシメタルカ如キ其ノ事業頗ル見ルヘク且ツ村農會長縣農會評議員其ノ他諸種團體ノ役員ニ選ハレテ勵精鞅掌シ殊ニ郡農會創設以來副會長ノ職ニ在リテ參畫其ノ宜キヲ得ル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

新治郡眞鍋町　天谷　要平

夙ニ農事ノ改良ニ志シ居邑古來水油ノ原料タル菜種ノ產地ニシテ收利甚大ナリシモ明治ノ初メ石油漸々輸入セラレ水油ノ需用將來大ニ減少スヘキヲ察シ百方考究藍作ニ轉スルノ最モ得策ナルヲ悟リ熱心勸獎遂ニ之ヲ實行セシメ且ツ其ノ栽培ノ改良及共同販賣等ヲ經營シテ益之ヲ獎勵シ或ハ農談會ノ開設農家組合ノ組織米麥作ノ改良田區ノ改正養蠶ノ獎勵肥料ノ共同購入馬耕ノ講習等ノ事業ニ努メ殊ニ信用組合ヲ組織シテ其ノ組長トナリ克ク其ノ實績ヲ擧ケ又耕地整理ヲ計畫シ幾多ノ支障ヲ排シテ面積七十三町步ノ整理ヲ完成シタルカ如キ其ノ事業頗ル見ルヘク現ニ村農會副會長郡農會幹事等ノ職ニ在リテ勵精其ノ素志ノ貫徹ヲ期スル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

新治郡園部村　眞家　信太郎

夙ニ農事ノ改良ニ志シ熱心之カ實行ヲ圖リ明治二十七年初メテ村農會ノ設立セラルヽヤ會長ニ選マレ爾來數回當選シ試作地ノ設置農具及肥料ノ共同購入女子農事講習會蠶業講習會及各種共進會ノ開設稚蠶共同飼育組合ノ組織堆積肥料ノ製造等ヲ經營シ殊ニ其ノ地方ノ特產物タル大豆ノ多年同種類栽培ノ結果トシテ粗質ニ變シ收穫亦大ニ減少シタルヲ慨キ之カ改良ニ苦心シテ克ク其ノ目的ヲ遂シ又果實蔬菜ノ地味ニ適スルヲ認メ銳意之カ勸誘ニ勉メ遂ニ多數ノ優品ヲ產出スルニ至ラシメタルカ如キ其ノ事業頗ル見ルヘク其ノ他郡會議員郡農會副會長等ノ職ニ在リテ郡治ニ盡シ又四十年八月村長ニ擧ケラレテ教育ニ衞生ニ其ノ他ノ施設ニ改良ヲ加ヘ益々農村ノ發達ヲ圖ル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

筑波郡上鄉村　土田　謙吉

夙ニ殖產興業ニ志シ明治ノ初メ其ノ郡島名村ノ原野ヲ開拓シ茶樹ヲ栽培スルコト五町餘步尋テ同十一年旭村荒蕪地ノ開墾ニ從事シ民戶ヲ移シ孜々經營遂ニ耕宅地二十二町步山林四十町步道路四千餘間水路千九百餘間ヲ作リ一村ヲ開創シ土田村ト稱ス爾來此ニ製糖場ヲ設ケ桑茶ヲ栽培シ其ノ他農業ヲ興シテ移民ノ生業ヲ助ケ更ニ北海道開拓事業ヲ計畫シ同二十八年十勝國浦幌ノ原野二千町步ノ貸下ヲ受ケ經營慘憺百難ヲ冒シテ田畑數百町步ヲ開キ牧場數百町步ヲ設ケ寺院學校及水利土功等ノ施設ヲ全ウシ以テ克ク其ノ目的ヲ遂シ其ノ他常ニ鄉黨ノ振起ヲ圖リ黌舍ノ建設道路橋梁ノ修築學園及學林ノ設備等ニ寄付シ又ハ窮民ヲ救濟スル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ依テ茲ニ之ヲ表彰ス

筑波郡十和村　關　休造

夙ニ農事ノ改良ニ志シ銳意其ノ實行ヲ圖リ殊ニ明治三十二年村農會長ニ選マレテヨリ克ク其ノ職ニ盡シ今ヤ米麥種子鹽水撰麥奴豫防排水及二毛作蠶病消毒牛馬耕家禽飼養ノ如キ全村ニ普及シ綠肥及堆積肥料ノ如キ亦益增加シ又信用組合ヲ組織シテ孜々經營ニ努メ其ノ實績頗ル擧レル等一鄉

ノ農事著シク發達シ且ツ其ノ感化他村ニ及ヒ之ニ倣フテ改良ヲ圖ルモノ續出スルニ至レリ其ノ他村會議員郡會議員郡農會副會長等ノ職ニ在リテ自治產業ノ聯絡ニ努ムル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ依テ茲ニ之ヲ表彰ス

眞壁郡五所村　田所　八郎平

下館藩領ニ生レ夙ニ鄉黨ニ聲望アリ天保年間藩主二宮尊德ヲ聘シ民業獎勵ヲ托スルヤ之ニ從テ力ヲ致シ親シク報德ノ教ヲ受ケ爾來益々心ヲ公益ニ傾ケ其ノ教義ヲ發揚セムコトヲ旨トセリ曾テ荒蕪地十數町步ヲ開拓シテ細民ヲ移シ蠶絲及製茶ノ業ヲ獎勵シテ之ヲ地方ニ普及セシメ又勸農申合規則ヲ設ケテ勤儉ノ風ヲ興シ義友講ヲ創メテ濟貧ノ途ヲ立テ或ハ米麥作改良ノ法ヲ實驗シテ農業ノ利益ヲ進メ土地測量ノ術ヲ硏究シテ其ノ器械ヲ發明シ地租改正ノ際之ヲ縣下ニ普及シテ實測ノ簡便ニ資セシメ又地方ニ率先シ濕田十數町步ノ區劃ヲ改正シテ二毛作地ト爲シ以テ模範ヲ示シ報德社ヲ組織シ現ニ齡九十ニ垂ムトシテ東奔西走之カ經營ニ勵精スル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト六七十年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

北相馬郡井野村　成島　爾治

夙ニ農事ノ改良ニ勉メ地方ニ率先シテ水稻種子鹽水撰同短冊形苗代同正條植等ノ實行ニ盡力シ或ハ農事講習會ヲ開催シテ農事思想ヲ普及シ明治三十四年村農會長ニ選ハレテヨリ苗代品評會牛馬耕傳習製莚傳習肥料共同購入等ヲ施設シ又三十五年有志ト共ニ購買組合ヲ組織シ其ノ理事トナリテ孜々經營其ノ實績ヲ擧ケタルカ如キ居村農事ノ發達上功勞少カラサルノミナラス縣農會及郡農會稻作試驗委員郡農會幹事等ニ擧ケラレテ熱心其ノ職ニ努メ廣ク斯業ノ發展ニ貢獻スル等公共ノ事業ニ勤勉スルコト多年其ノ效績洵ニ顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

那珂郡檜澤村　小室　斌

深ク心ヲ煙草耕作ノ改良ニ注キ其ノ居村古來煙草產地ノ歷史ヲ有スルニ拘ラス耕作方法舊慣ニ泥ミ品質粗惡ナルヲ慨キ明治三十八年村農會長ニ選マルヽヤ極力之カ挽回ヲ講シ教師ヲ聘シテ實地耕作者ヲ指導セシメ苗床ノ改良肥料及苗床被覆用寒冷紗ノ共同購入等ヲ行ヒ或ハ屢々他ノ著名產地ニ赴キテ視察ヲ遂ケ其ノ得ル所ハ之ヲ當業者ニ勸獎スル等孜々其ノ改良ニ盡瘁シ今ヤ著々改良ノ效果ヲ收メ漸ク生面ヲ開クニ至レリ洵ニ斯業ノ改良ニ勵精シ效績顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

久慈郡久米村　和田　將作

夙ニ農事ノ改良ニ勉メ曾テ青年農談會及農事補習夜學會ヲ開設シ又村農會長ニ選マレテ孜々鞅掌其ノ實績ヲ擧ケ信用組合ヲ組織シテ其ノ組合長ニ擧ケラレ拮据經營其ノ實效ヲ收メ又養老會ヲ設ケテ醇厚ノ俗ヲ養ヒ或ハ堆積肥料傳習所及各種品評會ヲ開設スル等一般農事ノ改良ニ貢獻スル少カラサルノミナラス居村煙草ノ產地ナルヲ以テ殊ニ心ヲ其ノ改良ニ注キ煙草品評會ヲ開設シ煙草肥料及苗床被覆用寒冷紗ノ共同購入等ヲ實行シ其ノ他常ニ懇切耕作者ノ指導ニ盡瘁シ以テ克ク斯業ノ盛運ヲ致シ加之自家耕作ノ成績優良ニシテ專賣局水戶收納所長ヨリ模範耕作者トシテ褒賞ヲ受クルコト數回ニ及フ洵ニ多年公共ノ事業ニ勤勉シ其ノ效績顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

久慈郡大子町　永瀨　濟

深ク心ヲ煙草耕作ノ改良ニ注キ曾テ葉煙草耕作組合ノ規模ヲ擴張シテ一町八箇村ノ區域ト爲シ肥料ノ共同購入指導員ノ出張病蟲害ノ試驗等孜々經營ニ努メ又自ラ種々改良ノ方法ヲ調査シ屢々他ノ著名產地ノ視察ヲ爲シ其ノ得ル所ハ之ヲ同業者ニ勸獎スルカ如キ其ノ效果頗ル見ルヘク今ヤ斯業著シク發展シ大子國府トシテ賞贊ヲ博スルニ至レリ加之自家耕作ノ成績優良ニシテ專賣局水戶收納所長ヨリ模範耕作者トシテ褒賞セラルヽコト數回ニ及フ洵ニ斯業ノ改良ニ勵精シ其ノ效績顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

久慈郡金砂村　岡崎　熊治

深ク心ヲ煙草耕作ノ改良ニ注キ其ノ居村古來有名ナル赤土煙草ノ主產地ナルモ其ノ耕作方法タル久シク舊慣ヲ墨守スルヲ以テ立枯病其ノ他ノ被害年ヲ逐フテ增加シ斯業益々衰頹ニ傾クヲ慨キ之カ挽回改良ヲ企圖シ明治三十二年同志ヲ糾合シテ赤土煙草耕作改良組合ヲ起シ其ノ組長ニ擧ケラレ爾來自ラ他ノ著名產地ニ至リ又ハ組合員ヲ派シテ視察ヲ遂ケ或ハ每年葉煙草及煙草立毛苗床其他ノ品評會ヲ開ク等之カ經營ニ勵精シ其ノ他常ニ懇切同業者ノ指導ニ從ヒ殊ニ苗床ノ設備及播種ノ方法ニ付良案ヲ考出シ之ヲ多數同業者ニ普及セシメタルカ如キ其ノ效果頗ル見ルヘク遂ニ克ク其ノ衰運ヲ挽回シ發展ノ實ヲ擧クルニ至ラシム加之自家耕作ノ成績優良ニシテ專賣局水戶收納所長ヨリ模範耕作者トシテ屢々褒賞セラレ且ツ御料耕作者ニ指定セラルヽノ光榮ヲ荷フ洵ニ斯業ノ改良ニ勵精シ其ノ效績顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

猿島郡靜村　鈴木　新四郎

煙草耕作ニ從事スルコト多年常ニ銳意熱心之カ發達ヲ圖リ葉煙草乾燥方法ヲ改善シテ著シク其品位ヲ上進セシメ正條植ヲ率先履行シテ煙草ノ生育ヲ均一ナラシメ或ハ他ノ著名產地ヲ視察シ殊ニ苗床設備ノ改良ヲ硏究シテ其ノ得ル所ヲ實行シ以テ範ヲ同業者ニ示シ專賣局東京收納所長ヨリ地方指導員ヲ囑托セラレテ熱心其ノ職務ニ盡シ今ヤ其ノ指導區域卽チ居村外三箇村ニ於ケル煙草耕作業ヲシテ益々發展ノ盛運ニ向ハシム加之自家耕作ノ成績優良ニシテ同所長ヨリ模範耕作者トシテ褒賞セラルヽコト數回ニ及フ洵ニ斯業ノ改良ニ勵精シ其ノ效績顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

猿島郡七重村　木村　參三郎

煙草耕作ニ從事スルコト多年常ニ銳意熱心之カ改良ヲ圖リ時々他ノ著名產地ニ赴キテ視察ヲ遂ケ其ノ得ル所ハ之ヲ實行シテ範ヲ同業者ニ示シ或ハ肥料ノ改良及共同購入ニ盡力シ又ハ屢々數里ヲ隔テタル地方ニ出張シテ實地指導ニ努ムル等孜々經營曾テ倦ム時ナク今ヤ其ノ地方ノ煙草耕作業ヲシテ益々發展ノ盛運ニ向ハシム加之自家耕作ノ成績優良ニシテ專賣局東京收納所長ヨリ模範耕作者トシテ褒賞セラルヽコト數回ニ及フ洵ニ斯業ノ改良ニ勵精シ其ノ效績顯著ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス（以上一月四日）

警察效績者

茨城縣巡查　大場　三宅

明治三十七年八月眞壁警察分署ニ赴任以來廉潔自ラ持シ各般ノ事務ニ精勵シ四十年七月專任署長缺員以後書類簿册ノ整理及ヒ諸報告ノ如キ能ク機宜ニ適ヒ部下巡查ノ監督亦宜ヲ得タリ而シテ常ニ警察事務ノ改善發達ニ注意周到ナルノ結果眞壁町ニ於ケル消防組ノ如キ今ヤ組織確立器具整備ヲ告クルニ至レリ又風紀改善ノ目的ヲ以テ學校職員ニ諮リ夜學會ヲ興シ專ラ青年子弟ヲ薰陶シ或ハ工場衞生ノ施設改良ヲ鼓吹シ漸次其好果ヲ擧クル等實ニ他職員ノ模範タリ仍テ銀側懷中時計一箇ヲ授與シ茲ニ其效績ヲ表彰ス

茨城縣巡查　澤畑　正義

明治三十九年十二月本縣巡查拜命以來能ク紀律ヲ恪守シ職務ニ勵精シ常ニ書類簿册ノ整理ト諸報告ノ敏捷トヲ期シ明治四十年一月太田警察署部內幸久村巡查駐在所ニ赴任スルヤ受持部內久慈川ニ於ケル洪水ニ際シ同村字上河合其他ニ多數ノ浸水家屋ヲ出スノ虞アルヲ憂ヘ之カ被害ヲ豫知スルノ方法ヲ講シ部民ニ豫告シテ警戒避難ニ努メ或ハ水害防禦ノ策トシテ沿岸竹林ノ伐採ヲ戒メ或ハ風紀改善ニ意ヲ用ヒ學校職員ニ諮リ青年團ヲ設立シ團員ヲシテ試作田ヲ耕作セシメ漸次好果ヲ擧クル等實ニ他職員ノ模範タリ仍テ銀側懷中時計一箇ヲ授與シ茲ニ其效績ヲ表彰ス

茨城縣巡查　井川　貞之助

明治三十六年八月本縣巡查拜命以來篤實恪勤職務ノ執行敏活ニシテ注意亦周到ナリ明治四十年三月水戶警察署部內下中妻村巡查駐在所ニ赴任スルヤ銳意書類簿册ノ整理ニ努メ就中戶口調查簿ノ如キハ下中妻村並ニ中妻村ノ一部ヲ合セ總戶數九百餘戶ノ調查ヲ完成シ而モ調查簿ニ添附セル圖面ハ能ク實態ヲ描出シ以テ索引ノ便ヲ圖リ亦不良徒輩ノ取締ヲ嚴ニシ犯罪ノ豫防ニ努メタル結果漸次事件ノ減少ヲ見ルニ至リ其他風紀改善ニ意ヲ用ヒタル等實ニ他職員ノ模範タリ仍テ銀側懷中時計一箇ヲ授與シ茲ニ其效績ヲ表彰ス

茨城縣巡查　竹下　吉太郎

明治四十年八月巡查部長ヲ命セラレ松原警察署所屬平潟巡查部長派出所ニ赴任以來忠實能ク諸般ノ事項ニ注意シ職務ノ執行嚴密ニシテ書類簿册ノ整理諸報告等皆機宜ニ適ヒ部下巡查ノ監督其宜ヲ得タリ仍テ茲ニ其效績ヲ表彰ス

茨城縣巡查　塙　邦之介

明治四十年八月巡查部長ヲ命セラレ江戶崎警察署ニ赴任以來忠實能ク諸般ノ事項ニ注意シ職務ノ執行嚴格ニシテ常ニ實踐躬行以テ部下巡查ヲ率井監督亦其宜ヲ得タリ仍テ茲ニ其效績ヲ表彰ス

茨城縣巡查　巖淵　龍獎

明治三十八年十一月水海道警察分署部內五箇村巡查駐在所ニ赴任以來能ク諸般ノ事務ニ勵精シ其執行事務ノ如キ確實ニ遂行セサレハ已マサルノ氣風ヲ有シ去ル四十年十一月特別大演習ノ擧行ニ

第7725号 本文

際シ其受持部內道路粗惡ニシテ交通困難ナルヲ憂ヘ意ヲ之カ改修ニ用ヒ熱心督勵遂ニ其目的ヲ貫徹シ大ニ衆人ノ便益ヲ得タリ仍テ茲ニ其效績ヲ表彰ス（以上二月十一日）

○在外公館報告

○上海綿花及綿絲市況

上海ニ於ケル綿花及綿絲市況ニ付キ在同地總領事館事務代理領事官補子爵武者小路公共ヨリ本月二十七日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ本月二十三日本欄內參看（外務省）

綿花市況ハ南支北支共荷回薄ク荷主ハ頗ル強氣在荷逼迫當地紡績腰折レテ通州上等物二三兩八〇ノ高唱印度絲ハ各地共買氣薄ラキ手持筋ハ賣逃ニ急ナルタメ相場安含在荷一九、八三〇手合高一、一〇〇本邦絲ハ十六手物續々漢口ニ賣行ケトモ二十手ハ各地ノ需要頗ニ減少セリ手合高一、五〇〇在荷七、〇一九藍魚十六手一〇、九〇〇

○孟買綿花市況

孟買ニ於ケル綿花市況ニ付キ同地駐在領事藤田敏郎ヨリ本月二十七日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ本月二十五日本欄內參看（外務省）

二十五日ノ受渡ニハ「グードブローチ」ハ二四二ナリシカ其後ハ「ルーピー」下落ス他ノ「ベンガル」ハ相變ラス高シ現物「ファインブローチ」二四二、「ファインベンガル」二〇九、四月積「ファインブローチ」二四〇、「ファインベンガル」二〇八、五月積「グードダルワル」二三四、在荷四十八万

○觀象

○全國氣象

三月二十九日

區	測候所	氣壓		溫度			風		雨量	天氣
		午前六時	八時間差	午前六時	最高	最低	風向	風速	廿四時間	
一	恒春	七六〇·四	−一·一	二三·九	二七·四	二二·二	東北東	三	一〇	快晴
	臺東	七六一·三	−一·〇	一九·一	二七·一	一九·〇	北北西	五	·	晴
	臺南	七六一·五	−〇·三	一七·三	二六·八	一五·一	北	六	—	曇
	澎湖島	七六一·四	−〇·九	一七·七	一七·九	一六·二	北東	七	—	晴
	臺中	七六一·八	−〇·三	一七·三	二六·三	一四·五	—	一	—	曇
	臺北	七六一·六	−〇·五	一七·三	一七·九	一六·三	—	一	—	曇
	石垣島	七六一·四	−一·四	二三·六	二四·六	一九·八	南東	六	一	曇
	那覇	七六二·九	−一·八	二〇·四	二三·九	一六·三	東南東	四	—	曇
	名瀨	七六三·九	−二·三	一九·三	二一·九	一〇·三	南東	三	—	曇
二	佐多岬	七六五·四	−二·一	一五·八	一六·二	九·五	南東	一二	—	曇
	都井岬	七六六·二	−二·二	一三·〇	一三·六	六·九	—	一	—	曇
	鹿兒島	七六六·四	−二·三	一二·二	一六·四	五·一	東北東	七	一	雨
	宮崎	七六七·六	−二·五	八·四	一三·三	五·〇	西北西	七	—	曇
	熊本	七六五·七	−二·二	九·〇	一七·五	一·五	—	一	—	曇
	足摺	七六七·三	−三·三	一一·六	一三·七	六·四	北東	七	—	曇
	高知	七六八·八	−二·七	六·四	一五·四	一三·三	南西	二	—	曇
	徳島	七六九·一	−一·〇	一·四	九·九	一·二	—	〇	—	曇
	和歌山	七六九·一	−二·一	一·九	一〇·二	四·〇	東北東	五	—	曇
	日御碕	七六八·七	−〇·七	六·七	八·七	二·五	東	三	—	曇
	潮岬	七六九·二	−一·九	八·〇	一三·五	二·五	—	〇	—	晴
三	大分	七六七·六	−二·七	四·二	九·八	[illegible]	南	二	—	曇
	松山	七六八·二	−二·五	四·八	一三·五	一·五	—	一	—	曇
	多度津	七六八·七	−二·二	三·六	一〇·九	一·〇	南西	三	—	曇
	廣島	七六八·七	−三·三	四·二	一三·九	[illegible]	北北東	三	—	曇
	呉	七六八·六	−二·二	五·一	一一·三	一·四	—	一	—	曇
	岡山	七六九·一	−三·一	一·四	九·二	〇·三	—	〇	—	曇
	神戶	七六九·二	−二·一	二·三	一〇·八	〇·一	—	一	—	曇
	大阪	七六九·四	−二·〇	一·八	一〇·九	一·三	北北東	二	—	曇
	京都	七七〇·四	−一·四	[illegible]	一三·四	[illegible]	—	一	—	曇
	八木	七七〇·一	−一·三	[illegible]	一〇·〇	〇·五	—	〇	—	曇
四	大瀬崎	七六一·四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	一三	[illegible]	雨
	長崎	七六三·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東南東	九	[illegible]	雨
	佐世保	七六四·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	三	[illegible]	雨
	佐賀	七六五·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	三	[illegible]	雨
	福岡	七六五·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	六	[illegible]	雨
	嚴原	七六三·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南南西	二	[illegible]	雨
	下關	七六六·四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東	三	[illegible]	雨
	濱田	七六六·一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東北東	四	[illegible]	曇
	境	七六六·九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	[illegible]	曇
	西郷	七六七·一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	九	[illegible]	曇
	經ヶ岬	七六八·八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東	三	[illegible]	曇
	舞鶴	七六九·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東南東	三	[illegible]	曇
五	波切	七六九·七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	[illegible]	快晴
	津	七七〇·二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西北西	三	[illegible]	快晴
	岐阜	七七〇·二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	一〇	[illegible]	曇
	名古屋	七七〇·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	二	[illegible]	晴
	濱松	七六九·八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北北東	二	[illegible]	快晴
	長津呂	七七〇·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	一〇	[illegible]	晴
	沼津	七七〇·二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東北東	三	[illegible]	曇
	横須賀	七七一·二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	三	[illegible]	雨
	横濱	七七一·一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	三	[illegible]	曇
	東京	七七一·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	四	[illegible]	雨
	熊谷	七七一·四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	五	[illegible]	曇
	布良	七七〇·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	三	[illegible]	雨
	銚子	七七〇·二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	一	[illegible]	曇
	八丈島	七六九·四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南南東	五	[illegible]	曇
	父島	七六七·八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東北東	二	[illegible]	曇
	筑波山	六九二·九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南南東	七	[illegible]	曇
六	高山	七七一·九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	[illegible]	曇
	飯田	七七一·九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東	二	[illegible]	曇
	松本	七七二·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	[illegible]	曇
	長野	七七〇·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	[illegible]	曇
	甲府	七七〇·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南西	二	[illegible]	曇
	前橋	七七一·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	六	[illegible]	曇
	足尾	七七二·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	[illegible]	晴
	宇都宮	七七一·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	二	[illegible]	曇
	福島	七七二·一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	[illegible]	曇
七	彦根	七七〇·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	曇
	福井	七六九·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南南東	[illegible]	[illegible]	曇
	金澤	七六九·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	曇
	[illegible]	七六八·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	[illegible]	[illegible]	曇
	伏木	七六九·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	[illegible]	[illegible]	晴
	新潟	七七〇·八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東北東	[illegible]	[illegible]	曇
	山形	七七二·四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	曇
	加茂	七七一·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東南東	[illegible]	[illegible]	曇
	秋田	七七二·七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	[illegible]	[illegible]	晴
八	水戸	七七一·四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北北東	[illegible]	[illegible]	曇
	[illegible]	七七二·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	曇
	金華山	七七二·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	[illegible]	[illegible]	曇
	石巻	七七二·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東北東	[illegible]	[illegible]	曇
	水澤	七七三·一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	[illegible]	[illegible]	曇
	宮古	七七三·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	[illegible]	[illegible]	曇
九	[illegible]	七七一·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	[illegible]	[illegible]	曇
	青森	七七二·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	曇
	函館	七七二·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	晴
	壽都	七七〇·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	[illegible]	[illegible]	曇
	札幌	七七〇·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	晴
	上川	七七一·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	曇
一〇	十勝	七七一·二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	曇
	宗谷	七六七·七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	[illegible]	[illegible]	晴
	網走	七六八·九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南西	[illegible]	[illegible]	晴
	釧路	七七〇·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	快晴
	根室	七六九·八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西南西	[illegible]	[illegible]	快晴
	[illegible]	七六八·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	曇
	大泊	七六七·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	眞岡	七六七·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	[illegible]	[illegible]	快晴
	敷香	七六六·七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	[illegible]	[illegible]	快晴
	釜山	七六三·七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	[illegible]	[illegible]	雨
	木浦	七六〇·二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東南東	[illegible]	[illegible]	雨
	仁川	七六二·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	[illegible]	[illegible]	雨
	平壤	七六二·九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	[illegible]	[illegible]	雨
	元山	七六五·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	雪
	城津	七六五·七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	[illegible]	[illegible]	雪
	龍岩浦	七六三·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	[illegible]	[illegible]	雪
	大連	七六三·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東北東	[illegible]	[illegible]	雪
	旅順	七六三·三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東	[illegible]	[illegible]	雪
	營口	七六三·四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	[illegible]	[illegible]	雪
	奉天	七六三·一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	[illegible]	[illegible]	雪
	長春	七六三·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南西	[illegible]	[illegible]	雪
[illegible]	天津	七六九·一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	[illegible]	[illegible]	曇
	芝罘	七六一·六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南西	[illegible]	[illegible]	曇
	青島	七七一·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	[illegible]	[illegible]	晴
	上海	七六八·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東南東	[illegible]	[illegible]	曇
	厦門	七六八·八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	[illegible]	[illegible]	曇
	福州	七六四·七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	[illegible]	[illegible]	曇
	南京	七六七·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	[illegible]	[illegible]	曇
	漢口	七六八·五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	[illegible]	[illegible]	雨
	沙市	七六一·〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	[illegible]	[illegible]	雨

○天氣概況　昨日揚子江域ニ低氣壓ノ發生セシモノ江ニ沿ヒテ東行シ來リ昨夜東海ニ入リ今朝濟州島ノ西方海上ニ存在ス此低氣壓ハ從來揚子江域ニ發生セシモノニ比スレハ著シク發達セルモノニシテ中心ノ示度既ニ七百五十五粍ニ降リタルカ如シ又昨日臺灣北部ニ顯レタル低氣壓ハ北東ニ進ミ今朝沖繩島ノ西方海上ニ在リ而シテ昨日本邦ニ連亘シタル大高氣壓ハ東方ニ移動シ今朝東北地方ヨリ大平洋ニ亙リテ存在ス

全國概シテ曇天ニシテ九州北部及朝鮮海峽ニテハ風雨強ク韓國ニテハ北東風強ク雨天ニシテ滿洲ニテハ降雪ス又昨日本州南東部ニ小低氣壓發生シ今曉降雨ヲ催セリ

○全國天氣豫報

自三月二十九日午後六時
至三月三十日午後六時　二十四時間ノ天氣豫報　二十九日發

第一區　北東ノ風、概ネ曇
第二區　北西ノ風、概ネ晴
第三區　第二區ニ同シ
第四區　北西ノ風、概ネ曇
第五區　北西ノ風、概ネ曇後晴
第六區　第五區ニ同シ
第七區　北西ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模様アリ
第八區　第二區同シ
第九區　北西ノ風、概ネ曇ナレトモ雪模様アリ
第十區　北西ノ風、概ネ晴ナレトモ雪模様ノ處アリ

○東京地方天氣豫報

北西ノ風、曇後晴

○東京氣象

三月二十八日

氣壓（海面ノ度）　平均　七六九·六粍
氣溫　平均　七·七度（平年ヨリ〇·九度低シ）
　最高　一三·一度
　最低　一·二度
濕度　平均　七二·〇%
水蒸氣張力　平均　五·七粍
雲量　平均　七·九
日照時間　四·五時
風　平均速度　二·八米
　最大速度　五·四米
　最多方向　南
降水　總量　—
　一時間最大量　—
蒸發　總量　二·〇粍
記事　朝露霜及夜暈露アリタリ

○地震

東京ノ地震報告左ノ如シ

三月二十八日　午後四時二十七分四十一秒　微（感覺ナシ）

（以上中央氣象臺）

○廣告

○圖書發行

本局編纂
一法令全書　明治四十二年第貳號　全一册　代價郵稅共金十八錢

但シ郵送ヲ要セサルモノハ金四錢ヲ減ス

右本月二十五日發行本局直賣ノ外左記官報販賣所ニ於テ販賣ス

明治四十二年三月　印刷局

官報販賣所

販賣區域	位置	
東京府、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、神奈川縣、埼玉縣、山梨縣	東京市京橋區銀座一丁目	大日本圖書株式會社
大阪府、兵庫縣、和歌山縣、鳥取縣	大阪市西區靱中通一丁目	玉手弘通
京都府、奈良縣、滋賀縣	京都市上京區柳馬場通二條下ル	合資商報會社
靜岡縣、愛知縣、三重縣、岐阜縣	名古屋市東區京町四丁目	合名會社永東書店
廣島縣、岡山縣、島根縣、山口縣	廣島市大手町二丁目	早速勝三
香川縣、高知縣、愛媛縣、德島縣	丸龜市大字富屋町	木村許一郎
福岡縣、長崎縣、佐賀縣	福岡市中島町	石田忠兵衛
熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣	熊本市新町二丁目	長崎次郎
新潟縣、長野縣	新潟市本町通四番町	高橋モト
石川縣、富山縣、福井縣	金澤市片町	宇都宮源平
北海道、宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣、秋田縣	仙臺市東三番丁	佐々木重兵衛

○賜金竝從軍記章拜受者居所不明

左記ノ者居所不明ノタメ明治三十七八年戰役中姫路豫備病院ニ於テ勤務セシ功ニ依ル賜金竝ニ從軍記章ヲ交付シ能ハサルニ付キ本人又ハ心當ノ者ハ至急申出ツヘシ但シ本人死亡シタルトキハ其遺族ヨリ戶籍謄本ヲ添ヘ申出ツヘシ

明治四十二年三月　姫路衞戍病院

大阪市北區曾根崎中一丁目百十四番地ノ二	元陸軍看病人	小林勇次郎
同市東區谷町五丁目三十九番地	同	西村武良
兵庫縣赤穗郡上郡村ノ內山野里村二十六番地	同	谷金藏
岡山縣淺口郡連島村大字西之浦三番地	同	眞鍋太一郎
大阪市南區天王寺大通三丁目四千百四十四番地	同	田中鎗藏
兵庫縣赤穗郡鹽屋村ノ內木ノ谷村	元[illegible]夫	中川直吉
神戶市中山手通一丁目百十五番地	元補助婦	魚田さと

○檢定濟教科用圖書燒失

檢定年月日	圖書名	卷册	著作者
三七、三、一六	理科教科書	全四册	阿多廣介 原田長松

發行者　東京府東京市麻布區東町三十一番地　阿多廣介

右檢定濟教科用圖書ハ去月十八日製本現品及紙型共燒失シ新學年ノ需用ニ應シ難キ趣屆出テタリ

明治四十二年三月　文部省

○開館

當館ハ來ル四月中毎日開館ス

明治四十二年三月

東京高等師範學校附屬
東京教育博物館

○伊能忠敬測地事蹟ニ關スル書類等蒐集

本院ニ於テ伊能忠敬翁ノ測地事蹟調査ニ從事セルコトハ既ニ本月二十七日官報廣告欄內學事ノ部ニ揭載セル所ナルカ其遺書遺物ノ散逸セルモノ甚タ多ク殊ニ調査ノ根本材料タル測量野乘ノ如キ其斷片スラ發見スルヲ得サルハ頗ル遺憾ニ堪ヘサル所ナリ故ニ世間同翁ノ自筆文書地圖器械類ハ勿論翁或ハ門弟ノ事蹟ニ關スル書類ヲ藏シ或ハ其所在ヲ知悉セラルヽノ諸彥ハ左ノ事項ヲ領知シ以テ本院ノ調査ニ裨補ヲ與ヘラレンコトヲ希望ス

一所藏ノ物件ハ其品名ト共ニ成ルヘク內容ノ大略ヲモ併テ報道アリタキコト
一借用シ得ラルヘキモノハ本院ニ送付ヲ請ヒ閱覽調査ノ上直ニ返戻スヘキコト但シ郵送ノ費用ハ本院ニ於テ支辨ス
一借用シ得ヘカラサルモノハ調査員出張ノ上取調フヘキコト

明治四十二年三月

東京上野公園內
帝國學士院

○森林主事特別任用試驗

當署ニ於テ明治三十六年十二月農商務省令第十三號森林主事特別任用規則ニ依リ來ル四月二十七日ヨリ森林主事特別任用試驗ヲ執行ス志願ノ者ハ左記各項ヲ了知シ同二十二日マテニ到着ノ日取ヲ以テ願書差出スヘシ尙ホ詳細ハ當署又ハ管內小林區署ニ就キ承合スヘシ但シ書面ノ照會ニ應セス

明治四十二年三月　宮城大林區署

一試驗ハ左ノ科目ニ就キ之ヲ行フ
　一　現行法令（刑法、刑事訴訟法ノ大意、森林法、國有林野法）
　二　作文（片假名交リ文及往復文）
　三　筆算（算數學全部）
　四　珠算（加減乘除）
　五　筆寫（楷行）
一志願者ハ來ル四月二十六日午後四時マテニ當署ニ出頭名刺ヲ差出シ試驗委員ノ指揮ヲ受クヘシ
一現ニ官公職ヲ奉スル者ハ所屬長官等ノ認可書ヲ願書ニ添付スヘシ
一願書及履歷書ハ左ノ書式ニ依リ證明書ハ左ノ例ニ傚フヘシ

試驗願（用紙美濃紙字體楷行ノ者ニテ明瞭ニ記載スヘシ）

族籍職業
氏　名
生年月日

私儀森林主事奉職志願ニ付御試驗被下度別紙履歷書及證明書等相添ヘ此段奉願候也

年　月　日
現住所
氏　名　印

宮城大林區署長
山林技師三木隆太郎殿

履歷書（用紙等同上）

族籍職業
氏　名
生年月日

學　事
一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ何官私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月退學
一何年何月ヨリ何地官公私立學校ニ入リ何學科ヲ修メ何年何月卒業云々

職　業
一何年何月何日官公私立何學校敎員トナリ何年何月何日辭職云々
一何年何月何日何官廳ニ於テ何々拜命何年何月何日マテ何々ノ事務ニ從事シ何年何月何日辭職云々
一何年何月何日何地何會社ニ傭ハレ（給料何圓）何々ノ業務ニ從事シ何年何月解傭

賞　罰
一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ニ依リ賞又ハ罰ヲ受ク

破產、家資分散又ハ身代限處分ノ有無
一何年何月何地ニ於テ身代限ノ處分ヲ受ケ何年何月債務ノ辨濟ヲ爲シタルコト又ハ破產若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ何年何月復權シタルコト
一破產若ハ家資分產ノ宣告又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ

（身分ニ關シ辭令書等アルモノハ其寫ヲ添付スヘシ）

右之通相違無之候也

年　月　日
右　氏　名　印

證明書（例）

族籍、身分、職業
氏　名
生年月日

一兵役　何々（又ハ關係ナシ）
一破產若クハ家資分散ノ宣告又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ（又ハ何年何月何々ノ宣告又ハ處分ヲ受ケ何年何月復權又ハ債務ノ辨濟ヲ了セリ）

右證明ス

年　月　日
何市町村長氏名　印

第7725号　本文

第7725号 本文

○貯金通帳亡失及盜難等

左記貯金通帳亡失及盜難等ノ事故ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十二年三月

郵便爲替貯金管理所

記番號		交付局所名		預ケ人氏名	
ほいいろ	六九三五	河内	八尾	松浦	米太郎
るわ	二四八四	和泉	尾崎	成子	ミツ
ゐはす	四一三七	攝津	大阪夫婦橋	藤野	花子
ゐはそ	一七一六	同	大阪本田	梅田	吉松
ゐはひ	三六八	和泉	堺大濱	松村	秋子
同	三六七	同		松村	朝子
ゐいめ	一二八三	攝津	大阪竈屋町	竹村	伊三郎
ゐち	一五七〇	同	大阪上福島	河野	フサ
ゐはゐ	一四九五五	同	大阪高麗橋	長畑	敬一
ゐはを	五一八九	同	大阪生玉	今井	範雅
ゐいせ	一一八〇	和泉	佐野	野中	喜助
にけ	八三三九	讃岐	觀音寺	長谷川	粂子
にはと	二九二	同	家浦	萩田	万吉
にを	九二八	同	丹生	柴田	シゲヨ
ぬにぬ	九一五	播磨	辻川	西岡	禎次
ぬほと	三八二	攝津	神戸北長狹	齋藤	次男
ぬほち	三〇六三	同	兵庫入江橋	桝田	和三郎
ぬゐま	一一三三	同	灘住吉	中野	ゐや
ぬほず	四八七	播磨	江井ケ島	林	みつゑ
かほは	六〇七	加賀	中海	岡田	いさ
かぬ	八六九五	同	大聖寺	谷口	よし
といは	一三五八	山城	嵯峨	藪	捨吉
ちいや	一五一〇〇	丹後	新舞鶴	結城	祐之助
ちろれ	五四六	山城	深草	高橋	義貞
ちろた	三五三	丹後	餘部	新田	禮造
つちす	九一〇	土佐	前濱	山本	慶五郎
すさ	七九二	備前	味野	岩崎	多三郎
すいろ	五四九	同	日比	垣内	豐
つちち	八五五	土佐	上八川	大前	佐五郎
にの	四六九	伊豫	多喜濱	日野	恒一
さむ	一一〇九	紀伊	和歌山新通	小畑	幸一郎
つはめ	二四七〇	阿波	船戸	吉田	鶴雄
すゆ	一二六〇	備中	撫川	宗田	平七
よゐ	一〇八六	近江	鳥居本	畑	林次郎
すゆ	一二五九	備中	撫川	宗川	秋太
ににゑ	二一一七	伊豫	大町	鹽出	トミ子
同	二一一六	同		鹽出	チヨ
ほろに	二三〇七	和泉	鳳	部	あう
ぬす	二三〇六	攝津	西ノ宮	紅野	篤
かはれ	一二五一	加賀	金澤野田寺町	山幡	義一
とぬ	一四六七	山城	京都下立賣千本	淺見	辨之助
同	一四七〇	同		角田	龍政
ちけ	二九〇七	同	京都室町丸太町	舟崎	シモ
よに	三二五四	近江	八幡	並河	秀暉
同	三三五五	同		並河	正一
つちあ	二〇一	土佐	大井	有澤	靜子
さいさ	七七〇	紀伊	本宮	關	秀之助
同	七七一	同		關	きみゑ
つはに	五一五〇	阿波	八幡	井原	眉峰
つはめ	一四一二	同	船戸	平尾	フミヱ
ふろに	二五六〇	因幡	河原	西川	留吉
かろひ	三九〇九	越中	富山四十物町	森本	重吉
つはめ	一四〇六	阿波	船戸	十川	音市
つにろ	七七	同	白地	石井	熊市
つはめ	二七八五	同	船戸	岩佐	忠通
同	一〇〇三	同		田所	國輝
るぬ	七八〇一	大和	上市	長巳	富太郎
るいゐ	一七五	同	名柄	吉川	久治
ゐろを	五五六	同	風屋	北村	正治郎
ると	一三五九	同	五條	城山	才藏
ほろゐ	一九七八	同	柳生	田中	彌三郎
ぬほや	七六一六	攝津	神戸小野柄	中谷	はつ子
とひ	一九二五	山城	宇治	辻	德兵衞
すはた	一三三	備中	與井	藤井	安江
よお	四四二〇	近江	鳥居本	金塚	つね
くはね	一二八九六	安藝	宇品	山下	好子
くはれ	一三六二	同	熊野	山中	ナツヨ
くはす	五六五	同	伴	財原	五六
滿り	一二三八	滿洲	柳樹屯	高家	德治
滿そ	七三七	同	大連	稻葉	君太郎
滿ら	三四一	同	四平街	鍬形	米藏
滿や	八八七	同	公主嶺	芳原	啓太郎
まり	五〇二一	大隅	加治木	中原	秀志
恩まん	四一八	同		坂元	直吉
まろさん	八七三	日向	木城	津江	友彌
まろみ	九五				
「ますろ	一二〇」	同	安永村預所	脇田	政八
ひろら	七〇三	肥後	豐田	樺島	淺太郎
ひはふ	六〇一	同	岩野	皆越	丸市
そほり	二七	肥前	濱ノ浦	茄原	正範
ひいめ	一二	肥後	田上	喜多長	勘七
滿いか	三四七	滿洲	瓦房店	新原	磯太郎
くにわ	一二〇七	備後	土生	村上	リン
まにわ	五二八	大隅	財部	久永	フヂヱ
恩て	一七四六九	郵便爲替貯金管理所		長竹	長松
てれ	五〇四二	筑後	吉井	段浦	榮造
てね	四五九一	豐前	椎田	末吉	秀吉
ていす	三六二二	筑前	篠栗	有隅	トミ
てにる	四四七	同	天道	宮島	平七
てにさ	二三五七	同	山野	福澤	タネ
のゐ	五二二九	周防	宮市	林	政子
そむ	一七六九	肥前	嬉野	永井	晴彦
もの	六八	琉球	國頭	平良	親一
てにみ	三八三	豐前	傳法寺	大西	長次郎
てち	三二五九	同	香春	花田	シナ
いゐら	一八六	武藏	淀橋元春日	武内	庄次郎
いほい	二六八一	同	神田末廣町	米澤	義男
いろめ	二〇三三	同	本鄕一	石原	とし
いろを	六〇四一	同	麻布六本木	宮本	昇
いろま	三一九一	同	本鄕元町	藤井	良明
同	三一九二	同		同	雪子
同	二二〇五	同		同	良春
同	二二三六	同		同	ゐね子
いろひ	二四七七	同	深川西町	林	登寳與
れは	一一〇一五	常陸	土浦	大塚	信雄
れ祢	一八二五	同	菅谷	大畑	晉六郎
ゆいほ	二二四八	甲斐	龍王	金丸	保
きま	二三一五	上野	新町	有坂	クニ
きゆ	二九六二	同	大胡	芹澤	みき
きま	三四二〇	同	新町	小泉	四郎
同	二九三一	同		小泉	トミ
らはの	一一〇〇	十勝	豐頃	佐竹	武繼
らろき	二五八	膽振	追分	本山	幸太
らはの	一一五	十勝	豐頃	佐竹	竹平
恩ら	九四五	郵便爲替貯金管理所		加藤	直次郎
らはに	四八九九	十勝	帶廣	川邊	一雄
らか	二〇四九七	後志	小樽	川尻	久次
わは	四七七二	尾張	一ノ宮	眞野	一
むふ	一八四二	信濃	丸子	中村	溜市
むはる	五〇五	同	柵	安達	兼吉
めろほ	二二九〇	遠江	掛塚	上村	よし
めろふ	一四九七	伊豆	田子	森	ちか
めにほ	三九一	遠江	濱松高町	鈴木	清次郎
めわ	四七九四	駿河	吉原	内海	淺次郎
めにら	三六	同	市野	伊藤	隆平
たいみ	一三五七	岩代	本鄕	武内	哲雄
たはゑ	一八	磐城	永田	宗像	政三
あいき	二五一	武藏	松伏	增田	保造
みにを	六八六	羽後	千代田	佐藤	岩太
ゐの	七〇五	下野	小俣	島田	クラ
みはゐ	四〇八	羽前	吉田	井上	武雄
みゐ	二八八五	同	楯岡	那須	富佐子
同	二一五三	同		竹川	福造
みはし	九九七	羽後	木橋	佐藤	いゑめ
まろ	八〇三二	陸奥	弘前	田邊	健藏
まも	五〇五	同	佐井	折戸	三太郎
あや	一五八一	武藏	羽生	小林	金藏
あか	一六六三	同	草加	須賀	フク
まろる	八一	陸奥	賀田	笹	賢策
をわ	二〇八八	下總	行德	大畑	やゐ
同	二〇八七	同		清澤	さだ
同	二六九〇ノ二	郵便爲替貯金管理所		宇田川	のぶ
同	二七七三	下總	行德	松丸	茂雄
同	二六五二	同		飯塚	はる
同	二六九一	同		中野	貞
同	二六二六	同		石井	彌太郎
同	二六二五	同		福田	ふく
同	二六二三	同		山野	あき
同	二六二二	同		飯田	すぎ
同	二六一四	同		堀	芳藏
同	二五三一	同		中村	すい
同	二四九九	同		宮崎	峰三郎
同	二三三七	同		松永	やく
同	二三四〇	同		中村	みき
同	二三四三	同		福田	爲吉
同	二四二五	同		福田	すい
同	二三四七	同		高橋	爲吉
同	二二一一	同		清澤	とみ
祢いち	一三五七二	越後	新潟	小山	新治
祢い	一八二四	同	堀ノ内	山田	福藏
祢と	六六九三	同	長岡	三浦	右一郎
けいと	一一四八	羽後	鹿渡	勝田	ミヤ
らあ	四三九八	石狩	瀧川	國井	末
けいと	一二一六	羽後	鹿渡	勝田	シキノ
らつ	二五五一	後志	余市	高島	いし
けいと	一五四九	羽後	鹿渡	勝田	元太郎
けろい	五	同	鶴川	伊藤	嘉市
らむ	四一九四	天鹽	增毛	小林	幸作
しふ	一三六五	陸前	岩ケ崎	高橋	德郎
りろれ	四三二三	武藏	横濱戸部	播磨	勇
をいむ	六三一	上總	横田	羽山	幾藏
をろせ	九五二	同	市宿	榊原	孝三
をく	四四七〇	下總	府馬	高岡	亮三
りき	二一二三	相模	松田	中村	伍六
りいに	三四七八	同	山北	庵原	民雄
をわ	二七四六	下總	行德	宇田川	やく
同	二七四八	同		平野	すゞ
同	二七五五	同		松丸	清隆
同	二八二四	同		山下	松藏
同	二七四七	同		平野	やの
同	二〇七六	同		平野	のふ
同	二七四五	同		地引	たけ
同	二七四四	同		日下	芳藏
ぬろ	一二六三五	美濃	大垣	松浦	精市
ぬいな	三五四	同	坂下	小幡	德市
ぬせ	一八三九	同	谷合	江崎	又之助
恩ぬ	五一〇	郵便爲替貯金管理所		山口	虎治郎
えいく	四二七	陸中	盛岡材木町	七戸	芳男
恩ぬ	八六四六	郵便爲替貯金管理所		伏屋	清吉
ぬな	二三九七	美濃	高田	大橋	おいと
いろゐ	一二五五六	武藏	深川高橋	松丸	ヨシ
いほせ	一九七	同	本所押上町	藤井	倉之助
りいゆ	五七五二	同	横濱龜橋	稻葉	時次郎
しよ	二〇六一	陸前	若柳	菅原	清三
恩し	一四八	郵便爲替貯金管理所		高橋	留吉
ぬには	一六	越後	曾地	篠田	嘉久治
同	三七	同		篠田	ヨチ
しろゐ	一二六七	陸前	米岡	小松	テキヨ
わろる	六七二	三河	三好	野々山	彌藏
みま	一一三八	羽前	溫海	三浦	作太郎
ほゆ	二五五六	攝津	大阪松島	近岡	スヱ
ほろゐ	三〇一四	河内	神山	中島	ミツ
ゐはま	四二八	攝津	大阪天保山	山口	ハン
にら	二五六二	讃岐	土庄	大森	周藏
ぬにく	二一八一	但馬	香住	山守	力松
ぬゐり	三三二	播磨	大門	藤井	清
ぬにの	一二五〇	同	明樂寺	横山	平左衞門
ぬろよ	一九〇〇	同	三方	築谷	秋治
ぬいれ	一〇二二	同	二見	岸	榮吉
かし	四四〇〇	加賀	金澤英町	二木	淸一
かいし	一四二二	同	別宮	沼	三次郎
恩ち	二七二四四	郵便爲替貯金管理所		中野	助造
といね	一七一	山城	京都堀川佛光寺	廣瀨	源助
ちた	四〇七一	丹後	久美濱	中川	太滋
ちはせ	五三六	山城	京都佛光寺東洞院	西川	正五郎
よつ	七六〇六	近江	草津	永元	直
恩す	三五九	郵便爲替貯金管理所		山元	宗市
すいち	五〇三八	備中	井原	鳥越	久吉
すろめ	三〇〇八	備前	日生	吉祿	麻貴
すさ	七三九	同	味野	岡本	小里
すろゐ	五五五	美作	西川	山崎	艷子
すゐ	一一四八	備中	苫部	高杉	大治郎
さろゐ	一一二四	紀伊	日足	中前	サダ
かろ	一三七四五	越中	富山	澁谷	爲太郎
つろて	三九九九	阿波	觀音寺	横山	伊平
せた	二一一八	越前	梅浦	高橋	伊助
ほろす	二〇八八	大和	砂茶屋	道上	ナツ
ほいいり	四六五	同	初瀨	森川	ツ子
せたい	一八一五	越前	梅浦	小林	キク
ほいふ	四一三一	攝津	大阪木津川	德井	與三次郎
せはい	四一八一	越前	松岡	柳原	繁藏
ほいいて	二五一九	攝津	大阪東雲町	林	米吉
同	二五一六	同		山田	芳枝
かれ	二三二五	能登	飯田	富田	庄作
同	二二八七	同		持木	乙松
とり	二〇三九元	山城	京都三條堀川	柏原	茂八
ねすい	一六九三元	伊豫	土居預所	渡邊	馬太郎
さる	一九四二	紀伊	高野	天野	亮範
かれ	五二四一	越中	新湊	姬野	傳助
同	五〇四	同		且味	スズ
同	三八七一	同		澁谷	善造
同	二二五二	同		釣	まつい
同	二三六一	同		釣谷	はつ
同	二三五六	同		釣谷	まつい
同	三七三三	同		棚田	梅代
同	四三九七	同		靑木	ふに

○證券保管通帳亡失

左記證券保管通帳亡失ニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便爲替貯金管理所ニ通報スヘシ

明治四十二年三月

郵便爲替貯金管理所

記番號		預ケ人氏名	
恩ひ	一五二七五	井上	由松

○免狀遺失

第六號　乙種三等狩獵免狀　佐用郡平福村ノ内平福村七百三十一番地　木村　文太郎

第九號　同上　美方郡村岡町ノ内村岡町八十一番屋敷　西村　辨三郎

右孰モ遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十二年三月

兵庫縣

第一二一三號　乙種三等狩獵免狀　佐伯郡四和村字栗栖　山須　唯二

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十二年三月

廣島縣

○購買入札

一堅木炭　三千九百六十貫目

本所納

右來ル四月六日當局兩國出納事務所ニ於テ入札執行

一堅木炭　一万百三十貫目

水戸小山高崎間及小山宇都宮日光間納

右來ル四月十四日當局計理課ニ於テ入札執行

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ前記各課所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上入札當日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ東部鐵道管理局長長谷川謹介擔任ス

明治四十二年三月三十日

東部鐵道管理局

一洋紙類　十點

一引裂「チッキ」　三點

一手帳及厚紙表紙綴帳簿類　二十三點

一通券外二點

一耐水紙外六點

一木炭及松薪　四點

以上新橋納

一松薪及木炭　四點

國府津靜岡間納

一木炭及松薪　四點

飯田町甲府間納

以上入札保證金實價總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月十三日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ中部鐵道管理局長古川阪次郎擔任ス

明治四十二年三月三十日

中部鐵道管理局

一松木炭　一點

神戸納

右當局計理課ニ於テ入札執行

一地金類　八點

湊町納

右當局湊町出納事務所ニ於テ入札執行

以上入札保證金實價總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ前記各課所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月十三日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ西部鐵道管理局長岩崎彥松擔任ス

明治四十二年三月三十日

西部鐵道管理局

一橋上用及轉轍器用枕木　九點

岩越線又ハ顯釜日光間納

右當所ニ於テ入札執行

一橋上用及轉轍器枕木　九點

新潟長野間納

右新津派出所ニ於テ入札執行

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ前記各所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月十四日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ鐵道院若松建設事務所長富田保一郎擔任ス

明治四十二年三月三十日

鐵道院若松建設事務所

第百四十號　鐵葉鈑　六百枚

第百四十一號　洋蠟燭　九万本

第百四十二號　苛性曹達　六千瓩

第百四十三號　豚毛　百六十瓩

第百四十四號　白木綿切（丙種）　五千瓩

第百四十五號　平鑢　五千本

第百四十六號　方鑢　四千本

第百四十七號　中圓鑢　三千六百五十本

以上入札保證金各自入札金高百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ來ル四月十三日マテニ營業證明書携帶出廠入札心得書、契約書案、見本及明細書熟覽ノ上同十四日午前十一時マテニ當廠ニ入札スヘシ即時開札ス但シ入札書ヲ郵送シ又ハ開札ニ立會ハサルモ妨ナシ其手續ハ入札心得書ニ詳ナリ

此契約ハ大阪砲兵工廠提理加藤泰久擔任ス

明治四十二年三月三十日

大阪砲兵工廠

一石炭　六万四千貫匁

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿圓位ニ切上ク）入札者ハ二年以上其業ニ從事スル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテ（執務時間内）ニ當廠ニ就キ入札人心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上來ル四月十三日午前十時限當廠ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ大阪陸軍被服支廠長三井淸一郞擔任ス

明治四十二年三月三十日

大阪陸軍被服支廠

一耐火煉化石（一號）　三万箇

一絲屑　五万基

一竝「コークス」　百二十万基

一石綿製紙　二万基

一耐火煉化石（四號）　五万箇

一石油　三万基

一木炭　八十万基

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十（圓未滿切上ケ圓止トス）

入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月十七日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分同課ニ於テ開札ス

此契約ハ横須賀海軍工廠會計部長櫻孝太郎擔任ス

明治四十二年三月三十日

横須賀海軍工廠會計部

一無水「アルコール」	千瓩
一「アルコール」	五百瓩
一亞鉛製白粉	二万瓩
一唐之土	一万五千瓩
一茶象皮	三千瓩
一洋蠟燭	六十五万本
一生木綿	四十五万米
一「ヤマトメタル」	五千瓩
一「テレメン」油	五千瓩
一生荏油	三万瓩
一白絞油	十一万五千五百瓩
一亞鉛地金	七万瓩
一錫地金	五万瓩
一銅地金	三十五万瓩
一鉛地金	一万二千瓩
一小豆革	千枚

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來繼續シ且ツ現ニ其營業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上來ル四月十三日マテニ營業證明書ヲ差出シ同十四日午前十一時限入札スヘシ同時當部ニ於テ開札ス

此契約ハ吳海軍工廠會計部長鳥山頼二擔任ス

明治四十二年三月三十日

吳海軍工廠會計部

○工事請負入札

第一號　盛岡工兵大隊及同衛戍病院豫備汽罐据付管弁類新設工事

第二號　盛岡騎兵第二十三第二十四聯隊汽罐据付管弁類新設工事

以上入札保證金各自見積金高百分ノ五以上、契約保證金請負金高百分ノ十、入札者ハ滿二年以來其業ニ從事シアル旨竝ニ金高千圓以上ニ在リテハ明治四十一年六月十九日陸軍省令第十三號ノ資格アル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル總テノ資格證明書ハ入札前日マテニ、入札保證金ハ入札當日午前九時マテニ當部ニ差出スヘシ

右請負望ノ者ハ入札前日マテニ當部若クハ當部盛岡出張所ニ就キ入札心得、契約書案、設計書、圖面及現場等熟覽ノ上來ル四月六日午前十時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ臨時陸軍建築部仙臺支部長西村貢之助擔任ス

明治四十二年三月三十日

新潟縣中頸城郡高田町
臨時陸軍建築部仙臺支部

○商業登記

足立煙草元賣捌合名會社登記事項中左ノ通更正及支店設置ノ登記ヲ爲シタリ

一支店東京府北豐島郡上練馬村字神明ケ谷戸六千三百四十七番地トアルヲ東京府北豐島郡上練馬村大字上練馬六千三百四十七番地ト更正ス

一明治四十二年三月八日東京府南足立郡千住町三丁目六番地ニ支店ヲ設置ス

右明治四十二年三月十三日登記

浦和區裁判所大宮出張所

足立煙草元賣捌合資會社解散及淸算人選任登記

一足立煙草元賣捌合資會社ハ明治四十二年三月八日總社員ノ同意ニ因リ解散ス

一淸算人ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡鳩ケ谷町大字鳩ケ谷百五十三番地　石田彥一郎

右明治四十二年三月十三日登記

浦和區裁判所大宮出張所

加須倉庫株式會社ニ關シ左ノ登記ヲ爲シタリ

一各株ニ付拂込タル株金額ヲ金五十圓ト變更ス

右明治四十二年三月十三日登記

幸手區裁判所加須出張所

株式會社變更登記

中之瀨株式會社登記事項中左ノ通變更ス　一取締役土屋淸太郎ハ明治四十二年二月十九日退任中田吉藏稻葉順次郎渡邊吉藏野崎作太郎ハ同日重任シ靜岡縣賀茂郡稻生澤村立野三十五番地松本甚兵衞ハ取締役ニ選任セラレ同日就任ス　一監査役松本甚兵衞ハ明治四十二年二月十九日退任渡邊藤太郎ハ同日重任シ靜岡縣賀茂郡下田町千九十一番地鈴木崎次郎ハ監査役ニ選任セラレ同日就任ス

右明治四十二年三月二日登記ス

下田區裁判所

株式會社登記第一號

株式會社川西銀行登記事項中商號株式共立會社ト更正ス

右明治四十二年三月十三日登記

上田區裁判所本郷出張所

新潟水電株式會社登記事項中目的ヲ左ノ如ク變更ス

一目的　水力及火力ニ依リ電燈及電力ノ供給電氣器具ノ販賣貸付ノ業ヲ營ムヲ目的トス

明治四十二年三月十三日登記

新潟區裁判所

株式合資會社大丸吳服店　社員杉山義雄ハ出資金三万圓ヲ下村昇之助ニ讓渡シ退社京都府紀伊郡伏見町字京町八丁目下村昇之助ハ右三万圓ヲ讓受ケ之ヲ出資トシテ入社　代表社員杉山義雄退社ニ付社員下村昇之助代表社員ニ歸任

合資會社寺田商會　本店ヲ大阪市東區備後町三丁目ニ移轉

合資會社品川商店　明治四十二年三月九日淸算結了

合資會社金鷄肥料商會　社員播本鶴松ハ出資金一千百七十八圓ヲ社員三田久兵衞ニ讓渡シ退社社員三田久兵衞ハ之ヲ讓受ケ其出資額ヲ金二千三百五十圓ト變更　社員高垣德太郎ハ出資金二千二百六十圓ヲ社員西村益孝ハ出資金二千四百三十五圓ヲ各熊谷辰二郎ニ讓渡シ何レモ退社大阪市北區東堀川町熊谷辰二郎ハ之ヲ讓受ケ計金四千六百九十五圓ヲ出資シ無限責任社員トシテ入社

商號双月庵營業菓子商營業所東區大阪市東區今橋四丁目宮谷淳ハ讓受ニ依リ營業ト共ニ商號取得

右明治四十二年三月十日登記

救命具合資會社　社員神谷喜右衞門ハ大阪市西區九條町六百六十五番地ニ社員納庄廣次ハ兵庫縣加古郡神野村ノ内神野村ニ各移轉

右明治四十二年三月十一日登記

大阪區裁判所

三運合資會社設立登記　商號、三運合資會社　本店、神崎郡山田村ノ内牧野村三百九番地　目的、繩莚叺ノ賣買　設立ノ年月日、明治四十二年三月五日　社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任、金三千圓有限責任神崎郡船津村四百九番屋敷繩田熊太郎、金三千圓無限責任同郡同村千四百四番千四百五番ノ一合併地尾田德次、金三千圓無限責任姬路市竹田町八番屋敷上村秀八　存立ノ時期又ハ解散ノ事由、滿二十箇年、社員二名以上ノ同意ヲ以テ解散ス

右明治四十二年三月十一日登記

姬路區裁判所田原出張所

總久株式會社役員變更登記　取締役溝端平太郎、溝端淸吉、前田力太郎　監査役春名仲太郎、高畑冨太郎任期滿了ニ付改選ノ結果各再選就任シタリ

右明治四十二年三月十三日登記

龍野區裁判所佐用出張所

宇多津發稡株式會社ハ明治四十二年三月五日淸算結了ス

右明治四十二年三月十三日

丸龜區裁判所

商業登記變更

飛驒電燈株式會社登記中監査役任期滿了ニ付改選ノ處左ノモノ當選重任ス

永田吉右衞門　土川宗左衞門　日下部九兵衞

右明治四十二年三月十三日登記

高山區裁判所

高岡吳服株式會社登記變更

監査役任期滿了ニ付改選ノ上、高岡市横田町三千七百九十番地岡本嘉七、同市小馬出町五十五番地野村與八郎各就任

明治四十二年三月十二日登記

高岡區裁判所

會社解散及淸算人選任登記

山陽材木株式會社ハ株主總會ノ決議ニ因リ明治四十二年二月二十八日解散ス

一淸算人氏名住所

廣島縣豐田郡大草村大字大草六十四番邸　古川三作
同縣同郡大河村大字中河内五十番屋敷次五　川本喜太郎
同縣同郡戸野村大字宇山一番屋敷　根木守人

明治四十二年三月十二日登記

竹原區裁判所白市出張所

株式會社長門貯金銀行登記事項中變更　山口縣厚狹郡高千帆村五百九番屋敷出張店　同縣同郡厚南村三百四番屋敷出張店ヲ各支店ト變更ス

右明治四十二年三月十二日登記

山口區裁判所伊佐出張所

株式會社長門貯金銀行船木支店登記事項中左ノ通變更　山口縣厚狹郡高千帆村第五百九番屋敷株式會社長門貯金銀行高千帆支店山口縣厚狹郡厚南村第三百四番屋敷株式會社長門貯金銀行厚南支店

右明治四十二年三月十二日登記

船木區裁判所

合名會社永保舍ハ明治四十二年二月二十八日總社員ノ同意ニヨリ解散ス

一愛媛縣越智郡波止濱町大字波止濱五百八番地天野通保、同縣同郡同町同大字四百二十八番戸八木雄之助ヲ淸算人ニ選任

右明治四十二年三月十三日登記

今治區裁判所

米子煙草合名會社本店及支店移轉ニ付左ノ通變更ス　明治四十二年三月五日總社員ノ同意ニ依リ本店ヲ鳥取縣西伯郡米子町大字西倉吉町四十九番地ニ移轉ス　第一境支店ヲ鳥取縣西伯郡境町千百七十四番一地ニ移轉ス

右明治四十二年三月十二日登記

溝口區裁判所根雨出張所

株式會社西州銀行大村支店登記事項中左ノ通變更ス

一各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ十七圓五十錢ト變更ス

右明治四十二年三月十二日登記

大村區裁判所

興產株式會社登記事項中左ノ通變更ス

一各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金十圓ト變更ス

右明治四十二年三月十一日

柳河區裁判所

明治四十二年三月八日大阪電燈株式會社門司支店登記事項中左ノ通變更ス

增加資本ノ總額二百四十万圓　資本增加決議年月日　明治四十一年九月二十八日　各新株ニ付拂込タル株金額十二圓五十錢

右明治四十二年三月十三日登記

小倉區裁判所門司出張所

山鹿製糸株式會社登記事項中第二回株金拂込ニ依リ左ノ通變更ス

一各株ニ付拂込タル株金額ヲ金二十圓ト變更

右明治四十二年三月十三日登記

山鹿區裁判所

株式會社設立

商號株式會社高城商榮會　本店北諸縣郡高城村大字高城町三十一番戸　目的金錢貸附業　設立年月日明治四十二年三月三日　資本ノ總額十五万圓　一株ノ金額五十圓　各株ニ付拂込タル金額十三圓　公告ヲ爲ス方法所轄裁判所ノ公告ヲ爲ス新聞紙ニ揭載ス　取締役ノ氏名住所北諸縣郡高城村大字高城町三十番戸後藤嘉太郎同郡同村大字大井手二番戸中村金右衞門　同郡同村大字穗滿坊二千八百八十七番地瀨崎四郎平同郡同村大字高城町十三番戸森富太郎同郡同村大字同二十番戸國安忠次郎　監査役ノ氏名住所北諸縣郡高城村大字穗滿坊十九番戸伊集院忍同郡同村大字高城町五十三番戸楠元武吉　存立時期設立ノ日ヨリ滿三十箇年

右明治四十二年三月十一日登記

都城區裁判所高城出張所

土崎製瓦合資會社登記事項中左ノ如ク追加ス

一明治四十二年三月三日會社ノ目的タル事業成功ノ不能ニ因リ解散ス

一同日左者淸算人ニ當選就任ス

秋田縣南秋田郡土崎港町古川町乙十二番地　佐々木寅吉
同港町相染新田村二百四十一番地　越後谷惣左衞門

右明治四十二年三月十三日登記

秋田區裁判所土崎出張所

株式會社秋田銀行横手支店變更登記

一取締役會決議ニ基キ明治四十二年三月一日各新株ニ付金五圓宛拂込結了シ各新株ニ付拂込ミタル金額二十圓トス

右明治四十二年三月九日登記ス

横手區裁判所

明治四十二年三月十一日鳴海合資會社有限責任社員鳴海イシハ其出資持分全部金五十圓ヲ社員鳴海俊吉ヘ、同鳴海治七ハ同上金五十圓ヲ社員鳴海作兵衞ヘ讓渡シ何レモ退社セリ依テ鳴海俊吉出資持分ヲ金五百圓ニ鳴海作兵衞出資持分ヲ金五百五十圓ニ變更ス

右明治四十二年三月十二日登記

弘前區裁判所黑石出張所

北海道アセチリン瓦斯株式會社登記事項中左ノ通變更

一明治四十一年八月三十日取締役山崎孝太郎死亡ニ因リ抹消ス

一明治四十二年二月二十八日取締役藤山常一辭任ニ付補缺選擧ノ處石狩國夕張郡登川村字夕張炭山番外地勝田莊太郎當選就任ス

一明治四十二年二月二十八日監査役任期滿了改選ノ處東京市京橋區三十間堀四番地庭山幹次郎當選再任ス

右明治四十二年三月十二日登記

札幌區裁判所由仁出張所

共成株式會社余市支店登記事項中左ノ通變更ス

一明治四十二年三月二日新株各株ニ付金十二圓五十錢宛拂込ヲ了シタルニ因リ各新株ニ付拂込タル株金額ヲ金二十五圓ト變更ス

右明治四十二年三月十一日登記

小樽區裁判所余市出張所

釧勝興業株式會社登記事項中左ノ通變更ス

一明治四十二年三月一日株主臨時總會ノ決議ニ因リ目的ヲ鑛物ノ採掘販賣、牧畜、造林、製材、運送、電氣ノ供給、商品ノ製造販賣及代理商ト變更ス

右明治四十二年三月九日登記ス

釧路區裁判所

株式會社第一銀行鎭南浦支店登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十二年二月二十八日四日市支店ヲ三重縣四日市大字濱町九十五番屋敷ヘ移轉ス

右明治四十二年三月八日登記

鎭南浦理事廳

支配人登記

一支配人ノ氏名住所　臺南廳臺南市戊十五番地　英國臣民　吳標梅

二主人ノ氏名住所　横濱市山下町八十五番地　英國臣民　スチアート、エルフ井ンストン

三主人ノ營業　一般ノ商品ノ輸出入問屋及代理商

四支配人ノ用ユヘキ商號　加記洋行

五支配人ヲ置キタル場所　臺南廳臺南市辛八十九番地支店

右明治四十二年三月八日登記

臺南地方法院

支配人登記

一支配人ノ氏名住所　臺南廳臺南市戊十五番地　英國臣民　吳標梅

二主人ノ氏名住所　横濱市山下町八十五番地　英國臣民　スチアート、エルフ井ンストン

三主人ノ營業　一般ノ商品ノ輸出入問屋及代理商

四支配人ノ用ユヘキ商號　エルフ井ンストン、エンド、コンパニー

五支配人ヲ置キタル場所　臺南廳臺南市辛八十九番地支店

右明治四十二年三月八日登記

臺南地方法院

會社解散登記

一甲仙埔採腦拓殖合名會社ハ明治四十二年二月二十八日社員總會ノ決議ニ因リテ解散セリ

支配人解任登記

一甲仙埔採腦拓殖合名會社支配人渡邊國重ハ明治四十二年二月二十八日解任セリ

右明治四十二年三月五日登記

臺南地方法院蕃薯藔登記所

株式會社登記簿第一冊第十一號

一商號　株式會社正隆銀行
一本店　清國營口元神廟街
一支店　大連羽前町八百十五號地
一目的　銀行事業

第7725号　本文

一設立ノ年月日　明治四十一年一月十五日
一資本ノ總額　銀五十四万圓
一一株ノ金額　銀五十圓
一各株ニ付キ拂込ミタル株金額　銀五十圓
一公告ヲ爲ス方法　關東都督府ノ公布式ヲ以テスル新聞紙
一取締役ノ氏名住所
清國營口老爺閣西大街　李序園
清國營口老爺閣東西北街　潘玉田
清國營口永世街　王魁元
清國營口新市街南本街　渡邊享
清國營口新市街南本街　平岡佳吉
清國營口元神廟街　深水十八
兼支配人
一監査役ノ氏名住所
清國營口西北街　高鶴友
清國營口老爺閣西大街路南　李悟川
清國營口新市街南本街　林陸軒
清國營口老爺閣西大街路南　飯塚松太郎
清國營口新市街青柳街　岡部次郎
清國營口老爺閣東大街　吉澤淺太郎
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿三十箇年
明治四十二年三月五日登記
大連民政署

○法人登記

營利ヲ目的トスル法人登記簿（株式會社ニ準スル部）第二册第五九號
一名稱　金田鑛業株式會社
一本店　東京市芝區高輪南町二十七番地
一目的　鑛物ノ採掘精製販賣
一設立ノ年月日　明治四十二年二月二十八日
一資本ノ總額　金一百万圓
一一株ノ金額　金一百圓
一各株ニ付キ拂込ミタル株金額　金二十五圓
一公告ヲ爲ス方法　所轄登記所ノ公告スル新聞紙ニ掲載シテ之ヲ爲ス
一取締役ノ氏名住所
東京市麻布區麻布本村町百六番地　毛利五郎
同市同區麻布宮村町七十一番地　田島信夫
同市芝區下高輪町十四番地　大村德敏
一監査役ノ氏名住所
東京市芝區高輪南町二十七番地　兼常定誠
山口縣周防國佐波郡防府町大字三田尻町五百十九番地　杉相次郎
一存立ノ時期又ハ解散ノ事由　存立ノ時期設立ノ日ヨリ明治六十二年二月二十七日迄向滿二十箇年

華族會館登記事項中左ノ如ク變更ス
一理事伯爵正親町實正ハ明治四十二年三月十一日辭任シ同月十二日左記ノ者理事ニ就任セリ
東京市神田區駿河臺東紅梅町九番地　男爵吉川重吉
右明治四十二年三月十三日登記
東京區裁判所

○產業組合登記

產業組合登記
無限責任健田村大貫信用組合登記事項中左ノ通變更
一監事改選再任ス
右明治四十二年三月十三日登記
北條區裁判所南朝夷出張所

無限責任篠原信用購買販賣組合ハ其目的中ノ第三ヲ組合員ノ生產シタル農產物ヲ買入又ハ其委託ヲ受ケ販賣スルコトト變更シ及理事增員左者就任セリ　野洲郡篠原村大字長島三百七十八番地森幾治郎同所大字小南九十六番屋敷森井竹治郎同所大字小堤三百九十九番地柏木榮太郎
右明治四十二年三月十一日登記
大津區裁判所中里出張所

有限責任新宮購買組合ハ明治四十二年三月一日解散シ清算人ニ東牟婁郡新宮町八百二十六番地永田哲雄同町二十三番地領本庄七同町百十八番地奧田耕作就任ス
右明治四十二年三月十一日登記
新宮區裁判所

產業組合設立登記
一名稱　無限責任房後信用販賣購買生產組合
一組織　無限責任
一事務所　廣島縣高田郡船佐村大字房後六百九十番地
一目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸附シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ竝ニ本組合員ノ生產物ノ委託販賣ヲナシ且產業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シ之ヲ本組合員ニ賣却シ尙產業ニ必要ナル器物ヲ備ヘ置キ之ヲ組合員ニ使用セシムルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十二年一月十九日
一出資一口ノ金額　金五圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金五十錢ニシテ明治四十二年三月一日拂込ミ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外左ノ各號ニ依リ出資ノ拂込ヲナス
一　出資各口ニ付明治四十二年四月一日ヨリ同月二十五日迄ニ金五十錢ヲ拂込ム事
二　出資各口ニ付明治四十二年十一月一日ヨリ同月二十五日迄ニ金一圓ヲ拂込ム事
三　出資各口ニ付明治四十三年四月一日ヨリ同月二十五日迄ニ金一圓ヲ拂込ム事
四　出資各口ニ付明治四十三年十一月一日ヨリ同月二十五日迄ニ金一圓ヲ拂込ム事
五　出資各口ニ付明治四十四年四月一日ヨリ同月二十五日迄ニ拂込殘額全部ヲ拂込ム事
一理事ノ氏名住所
廣島縣高田郡船佐村房後四十七番邸　三上彥六
同縣同郡同村同所百十一番地ノ一　吉貞角市
一監事ノ氏名住所
廣島縣高田郡船佐村房後九百四十五番地　京極正
同縣同郡同村同所千百四十三番地　山岡卯吉
一存立ノ時期　滿二十箇年
右明治四十二年三月十一日登記ス
三次區裁判所北出張所

產業組合設立登記　名稱、有限責任立川信用購買販賣組合　組織、有限責任　事務所、鳥取市立川町四丁目百二十五番地　目的、一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便ヲ與フル事、二組合員ノ產業竝ニ生計ニ必要ナルモノヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣却スル事、三組合員ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スル事　設立許可年月日、明治四十二年二月二十五日　出資一口金額、金十圓　出資拂込方法第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外、一出資各口ニ付毎月二十五日金二十錢以上拂込ム事、二出資各口ニ付毎年一月六月各二十五日金一圓以上宛拂込ム事、三第一回拂込後ハ一箇年以內ニ全額ヲ拂込ム事　理事、監事住所氏名理事ニ鳥取市立川町四丁目十番十三番十四番十五番第一合併地吉村甚次同市同町同丁目四十二番屋敷吉村德藏、同市同町同丁目百四十六番地瀧山久藏　監事ニ鳥取市立川町四丁目十二番地井上安太郎、同市同町同丁目十八番地井上幸榮　存立時期、二十箇年
右明治四十二年三月十一日登記ス
鳥取區裁判所

名稱無限責任有田村西部信用購買販賣組合組織無限責任　事務所佐賀縣西松浦郡有田村四百六十三番地　目的組合員ニ產業ニ必要ナル資本ヲ貸附シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ竝ニ農事及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣却シ併テ組合員ノ委託ヲ受ケ其生業物ヲ販賣ス　設立許可ノ年月日明治四十一年七月十六日出資一口ノ金額金十五圓出資拂込ノ方法出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金五圓五十錢トシ以後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付金三圓宛毎年十二月末日ニ拂込ムモノトス　理事ノ氏名住所佐賀縣西松浦郡有田村四百六十三番地舘林源右衛門　同所四百五十四番地淵上梅太郎同所四百五十五番地池田仁三郎同所四百七十四番地淵上松右衛門　監事ノ氏名住所佐賀縣西松浦郡有田村坂二千十一二番地舘林亀一同所四百六十六番地淵上末市存立時期設立許可ノ日ヨリ滿十箇年
右明治四十二年三月四日登記
伊萬里區裁判所有田出張所

有限責任東院內村購買販賣組合登記事項中理事佐藤必二郎辭任ニ付抹消其後任及佐藤治市死亡ニ因リ補缺選擧竝ニ監事任期滿了改選ノ所左記ノ者當選就任ス　理事宇佐郡東院內村百三十四番地佐藤榮藏同郡同村大字大副三百三十番地佐藤實　監事同郡同村百六十五番地村岡鐵藏同郡同村大字日岳三百十六番地惠良與市同郡同村大字原口九百三十七番地吉野福藏同郡同村二百六十二番地佐藤作太郎
右明治四十二年三月十二日登記ス
中津區裁判所齊藤出張所

無限責任小國信用組合登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十一年十一月二十八日總會ノ決議ニ因リ存立時期ヲ十五箇年ト變更ス
右明治四十二年三月十三日
福島區裁判所掛田出張所

有限責任水原購買組合登記事項中左ノ如ク名稱及目的ヲ變更ス
一名稱　有限責任水原信用購買組合
一目的　一　組合ノ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二　農事及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合ニ賣却スルコト
右明治四十二年三月十二日登記
福島區裁判所松川出張所

產業組合變更登記
無限責任日立木購買組合登記事項中左ノ通變更ス
一監事任期滿了ニ付明治四十二年二月二十八日組合總會ニ於テ左記ノ者當選就任ス
相馬郡日立木村大字赤木字鬼越七十番地　靑田富藏
同郡同村大字日下石字一北田四百七十八番地　靑田俊助
同所字町場百十六番地　岩崎捨五郎
右明治四十二年三月十三日登記
中村區裁判所

無限責任舟田信用購買販賣組合登記事項中左ノ通變更ス
一監事任期滿了ニ因リ明治四十二年三月十日總會ニ於テ左記ノ通選任ス
西白河郡五箇村大字舟田字舟田八十四番地　國分吉藏
同所字同九十六番地　大輪市五郎
右明治四十二年三月十五日登記
白河區裁判所

○禁治產宣告

千葉縣印旛郡船穗村船尾百三十番地平民農業　橫尾虎吉
明治九年十二月二十三日生
右ニ對シ父橫尾平作ノ申立ニヨリ當區裁判所ハ明治四十二年三月六日禁治產ヲ宣告シタリ
明治四十二年三月十五日
千葉區裁判所
判事　丸山敏夫

○準禁治產宣告

福岡縣筑紫郡日佐村大字五十川六百六番地平民農業　谷平太郎
右ニ對シ妻谷ムメノ申立ニ因リ本月六日準禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十二年三月十三日
福岡（福岡地方裁判所管內）區裁判所
判事　久保謙一

○公示催告

本籍及最後住所東京市本所區菊川町二丁目五十七番地平民
不在者　大倉作次郎
出生明治元年一月一日
右ニ對シ利害關係者大倉藤助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十二年九月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲ス可シ
明治四十二年三月十五日
東京區裁判所
判事　內田貞輔

茨城縣多賀郡南中鄕村大字小野矢指六十二番地
不在者　村田松次郎
安政四年五月十日出生
右ニ對シ利害關係人村田いねヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十二年十月十日午前八時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十二年三月十五日
太田區裁判所
判事　神尾肇

新潟縣中頸城郡高田町大字水大二平民運送業
申立人　上田三吉
一貨物引換證　二通
證券番號第十八號
一運送品種類數量　大々下瓶三十一箇
一到着地　越後國高田町
一荷送人住所氏名　東京市尾張土管商會
一荷受人住所氏名　越後國高田町大倉組鎭高稱住合同事務所
一荷物引換證宛名　越後國高田町上田三吉
一荷物引換證發行人　東京市內國通運株式會社
一荷物引換證作成地　東京市
一荷物引換證作成ノ年月日　明治四十一年九月十六日
證券番號第二十號
一運送品種類數量　大々下瓶十五箇
一荷物引換證作成年月日　明治四十一年九月十七日
其他ハ前項第十八號證券ト同一ナリ
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ因リ該證券所持人ハ明治四十二年九月三十日マテニ當區裁判所ニ證券ヲ提出シ其權利ヲ屆出ツ可シ若シ右期日マテニ屆出及提出ヲ爲サヽルトキハ其證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ此旨公示催告ス
明治四十二年三月十五日
高田區裁判所
判事　河邊久雄

一貨物引換證書　一通　番號阪ル五七號
內國通運株式會社
明治四十二年三月十日
但◎ヨリ子十本
◎タラ二箇計十二箇
價格金　三百九十圓
荷送人　大阪市北市商店
荷受人　岡山縣苫田郡津山町大字元魚町岩田儀一郎
引渡地　津山驛內國通運株式會社大阪支店長勝木相定津山取引店井上奴伊治
右證書ニ付岡山縣苫田郡津山町大字西今町十八番地合名會社土居銀行津山支店業務擔當社員土居通憲ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ所持人ハ明治四十二年九月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ權

第7725号　本文

第7725号 本文

利ヲ届出且證書ヲ提出スヘシ若シ右期日マテニ届出及提出ヲ爲サヽルトキハ其證書ノ無效ノ宣告ヲ受クヘシ此旨催告ス

明治四十二年三月十三日

津山區裁判所
判事　山根治

廣島縣安藝郡仁保島村五百五十二番次一番屋敷平民不在者　小松平松文久元年二月二十八日生

右ニ對シ妻小松エ非ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十二年九月二十日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ

明治四十二年三月十一日

嚴原區裁判所
判事　松岡一輝

○華族世襲財産

一記名整理公債證書、記名軍事公債證書、記名特別大日本帝國政府五分利公債證書合額面六万圓　子爵加藤克明所有

右世襲財産ト爲シタキ旨願出アタル趣宮内大臣ヨリ通達セラル依テ該財産ニ對シ故障アル向又ハ公債證書記番等承合セラレタキ向ハ來ル四月二十九日マテニ當銀行ニ申出テラルヘシ

明治四十二年三月二十三日

日本銀行

○東京郵便局外國郵便締切時限

明三十一日横濱マテ汽車便送同地ヨリ土佐丸ヲ以テビクトリア經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

		東京局	市内各局
通常	普通	三十一日午前十時	三十一日午前六時半
	書留	同日午前九時半	同上
小包		三十日午後七時	三十日午後七時
爲替	聯合	同日午後四時	同日正午十二時
	特別	同日正午十二時	同日午前九時半

（備考）小包ハ北米合衆國、ポートリコ及加拿陀宛トス

四月一日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「モンゴリア」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

		東京局	市内各局
通常	普通	一日午後七時半	一日午後五時
	書留	同日午後七時	同上
價格表記		同上	同上
小包		同上	同上
爲替	聯合	同日午後四時	同日正午十二時
	特別	三十一日午後四時	三十一日午後四時

（備考）露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

同三日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「ベレロフォーン」號ヲ以テビクトリア經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

		東京局	市内各局
通常	普通	三日午後七時半	三日午後五時
	書留	同日午後七時	同上
小包		同日午後五時	同上
爲替	聯合	同日正午十二時	同日午前九時半
	特別	二日正午十二時	二日午前九時半

（備考）小包ハ北米合衆國及ポートリコ宛トス

○同上締切豫告

四月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一布哇經由歐米諸國宛　七、十七、二十四日頃締切ノ筈
一ポートランド經由同上　九日頃締切ノ筈
一シアトル經由同上　十四、二十八日頃締切ノ筈
一加拿陀經由同上　十八日頃締切ノ筈
一タコマ經由同上　二十一日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）宛ハ毎週火、木、土曜日ニ上海、香港竝ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

酒田丸　明三十一日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行
常陸丸（歐洲行）　同日正午十二時横濱出帆四月三日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行
土佐丸（米國行）　同日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行（歐米各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス）
鹿兒島丸　同日午後四時横濱出帆神戸行
弘濟丸　四月一日午前十時横濱出帆同三日午前十時神戸出帆上海行
松山丸　同日午後四時横濱出帆神戸行
廣島丸　同二日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行
熊野丸（濠洲行）　同三日正午十二時横濱出帆同六日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行
旅順丸　同四日正午十二時横濱出帆四日市、神戸行
安藝丸　同五日午前十時横濱出帆同九日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行（米國線復航）
兵庫丸　同日午後二時横濱出帆八丈島、父島、母島、沖湊、東湊行
高砂丸　同十四日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行

○同上神戸等出發表

古倫母丸　四月二日未明神戸出帆孟買行
相模丸　同日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行
立神丸　同四日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、元山、淸津、浦潮斯德行
竹島丸　同九日午前十時神戸出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行
毎日（午後十一時（直航）青森發翌朝五時函館著
　　午後六時（直航）青森發翌朝六時室蘭著
西京丸　毎月神戸發正午（三日 十八日）門司著（四日 十九日）基隆著午前（七日 二十二日）

右ハ神戸鐵道棧橋繫留ニ付キ同所ニテ切符購入乘船ノ便アリ

○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

韓國行

大禮丸　四月一日午前九時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、淸津行
溫州丸　同日午前九時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川行
安平丸　同日午前九時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川行
群山丸　同三日午前九時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川行
福州丸　同五日午後三時大阪出帆翌六日午前十時神戸出帆門司（下關）、仁川、鎭南浦、安東縣行

淸國行

鐵嶺丸　四月一日正午十二時大阪出帆翌二日午前十時神戸出帆門司、大連行
開城丸　同四日正午十二時大阪出帆翌五日午前十時神戸出帆門司、大連行
大信丸　同七日正午十二時大阪出帆翌八日午前十時神戸出帆門司、天津行（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ横付ス）
天草丸　同八日正午十二時大阪出帆翌九日午前十時神戸出帆門司、大連行

臺灣行

臺中丸　四月一日午後三時横濱出帆同四日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行
福岡丸　同七日正午十二時横濱出帆同十二日午前八時神戸出帆、門司、基隆、安平、打狗行
さくら丸　毎月一日、十一日、二十一日午後二時神戸出帆門司、基隆行（但シ本月ニ限リ一日神戸發ヲ二日ニ延期）
臺南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行
蘇州丸　毎月十五日、三十日午前六時神戸出帆門司、基隆行（船客ヲ搭載セス）
大義丸　毎月十五日、三十日午前六時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　明三十一日午後五時敦賀出帆四月二日浦潮斯德著土曜日午後二時浦潮斯德出發歐洲行急行列車ニ連絡ス

○附錄　今三十日發刊敍任及辭令一頁

第7725号 付録

官報第七千七百二十五號附錄

明治四十二年三月三十日

○敍任及辭令

本欄敍賜ノ項ニ「七級（年金一〇〇）旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ　功七級金鵄勳章竝ニ年金百圓及勳八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勳八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩瀚ニ渉ルヲ以テ其要略ノミヲ揭ク其他皆此例ニ倣フ

陸海軍軍人軍屬ニシテ前項ノ賞與ヲ受ケタル者ハ總テ明治三十七八年從軍記章ヲ授與セラル

○明治三十九年四月一日

敍賜 勳等	敍賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
瑞八等	七〇	砲兵輸卒	久保田　宗市
同	同	砲兵上等兵	高橋　久次郎
同		輜重輸卒	宮本　房五郎
同		砲兵一等卒	原　善助
	賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
	五〇	歩兵一等卒	安藤　佐太郎
	三九	輜重輸卒	久保木　銀次郎
	同	歩兵二等卒	吉田　常吉
同		歩兵一等卒	大矢　勇吉
同		輜重輸卒	山本　國太郎
同		砲兵二等卒	戸川　若松
同		歩兵二等卒	鯖淵　小四郎
同		歩兵一等卒	佐藤　吉太郎
同		輜重輸卒	佐藤　辰之助
同		同	寺尾　小作
同			內林　源太郎
同			松浦　竹三郎

本欄敍賜ノ項ニ「七級（年金一〇〇）旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ　功七級金鵄勳章竝ニ年金百圓及勳八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勳八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩瀚ニ渉ルヲ以テ其要略ノミヲ揭ク其他皆此例ニ倣フ

○明治三十九年四月一日

敍賜 勳等	敍賜	陸軍官等位勳功爵	氏名
	―		
瑞六等			大池　惣助
同			迫間　房太郎

付録